

# アルゼンティンの生活



国際協力事業団

国際協力事業団	
---------	--

受入 月日 '84. 4. 10	701
登録No. 03511	22.2
	ESD

## まえがき

日本とは、言語、気候、風土はもとより、法律、風俗、習慣など事情が異なるアルゼンティンで生活するには、いろいろな知識を身につけることが必要です。

法律や手続きのことを知らなかったため罰せられたり、権利を失ったりすることがあり、また、習慣などを知らないため、思わぬ生活上の不利益を被ることもしばしばあります。

この冊子は、当事業団ブエノス・アイレス支部渋谷職員の労に負うところが多く、主としてアルゼンティンのブエノス・アイレス地域に渡航される移住者の方々のために、到着して現地に落つくまでに必要とされる基礎的な知識を集録してみました。

アルゼンティンで快適な生活をおくるうえでお役に立てば幸いです。

昭和58年3月

移住事業部長

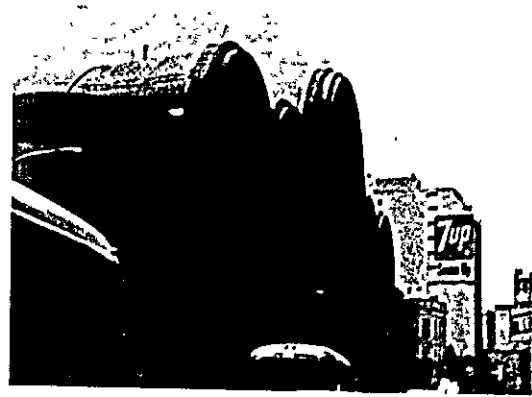
# 目 次

1. はじめに .....	1
2. アルゼンティン国とは .....	2
3. 亜国々土、人口等について .....	6
4. 亜国の産業 .....	8
5. 亜国各州の主な産業 .....	14
6. 教育、文化関係 .....	16
7. 交通事情 .....	20
8. 一般生活関係 .....	30
9. 亜国小史 .....	35
10. 亜国の国花 .....	48
11. 街路樹 .....	49
12. 日本から亜国へ .....	51
13. 在亜日本大使館領事部関係事務 .....	57
14. 運転免許証 .....	61
15. 仕 事 .....	63
16. 邦人関係小史 .....	65
17. 移 住 .....	72
18. 各州の出先の所在地 .....	75
19. 各国領事部 .....	76
20. 主な機関及び団体 .....	76
21. 県人会 住所 電話等 .....	77
22. 日系人医師 .....	79
23. ホ テ ル .....	80
24. レストラン .....	80
25. 日本食 中華レストラン .....	82
26. 亜国料理 .....	83
27. 劇 場 .....	84
28. 映 画 館 .....	85
29. タンゴ ナイトクラブ等 .....	85
30. みやげ品 .....	87
31. 日系旅行者 .....	88
32. 日本食品取扱店 その他 .....	89
33. 緊急 通報 等 .....	89
34. コラム 欄 .....	90
35. 地 図 等 .....	93



移住者の顔

笠戸丸移住者で垂田においてただ1人健在で悠々自適の生活をしている、小牧カルさん



垂田最大のアパスト市場  
(果樹・野菜類)



国会議事堂

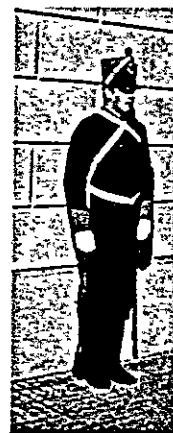


サンマルティン像 (サンマルティン広場)

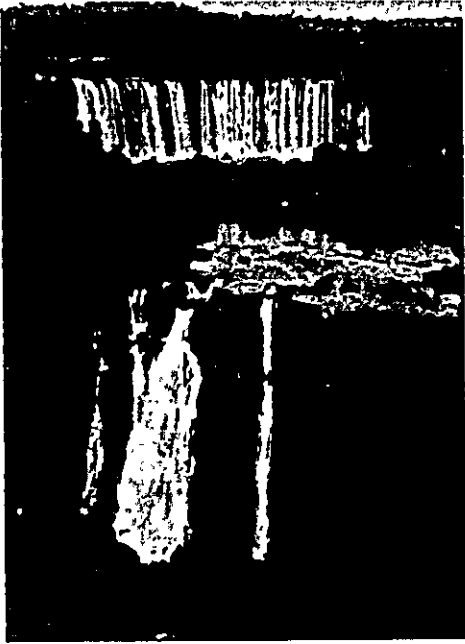
外国からの賓客が献花を行う



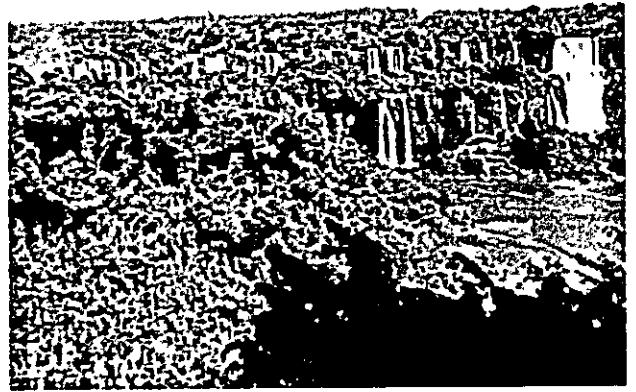
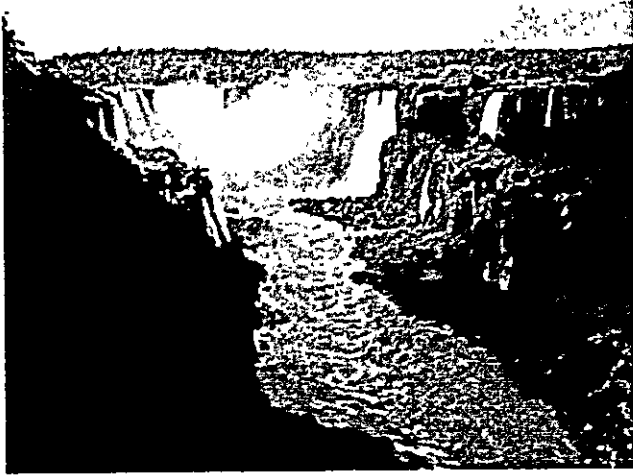
サンマルティン像



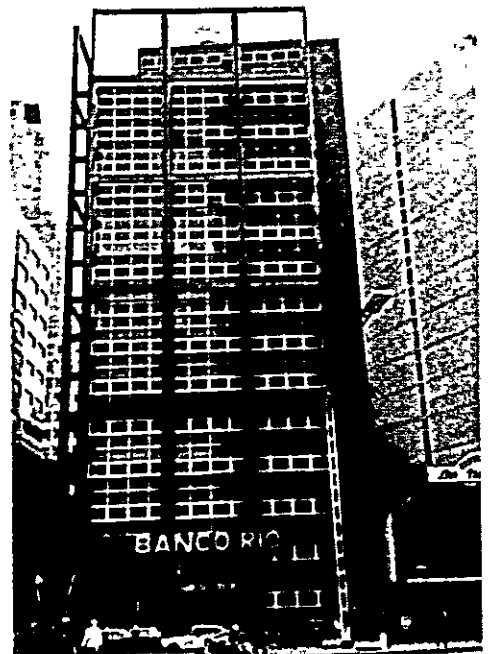
政庁の護衛兵

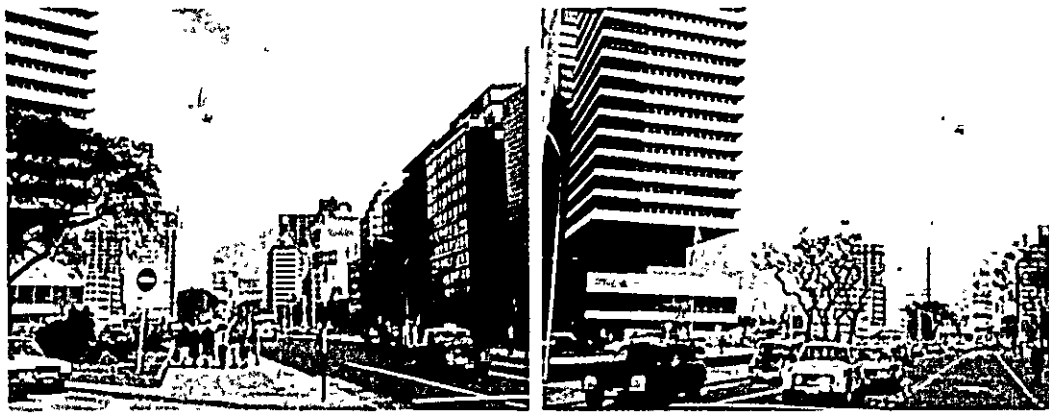


ミネオネス州イグアスの滝



国際協力事業団ブエノス・アイレス支部  
事務所 8階 (Banco Rioの上)





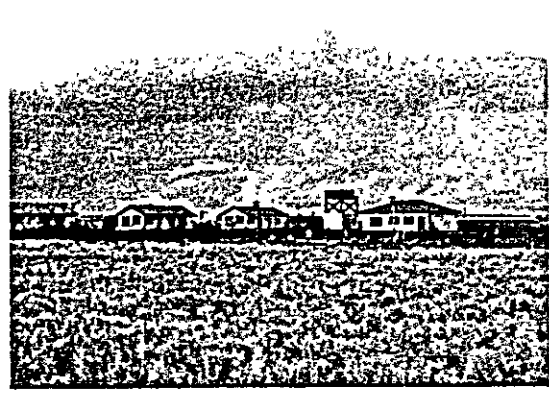
国際協力事業団フェノス・アイレス支部の近くの大通り



事務所の窓から



事務所の近くの風景



国際協力事業団園芸センター



移住10年後に建てたS氏の家

常農はバラ、いちご、そ菜、菊、養蜂等多角経営



S氏の雇川者の住居

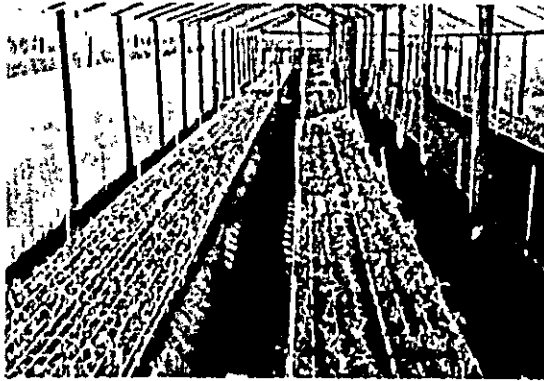


S氏宅で いちご栽培仲間を呼んでのアサード会

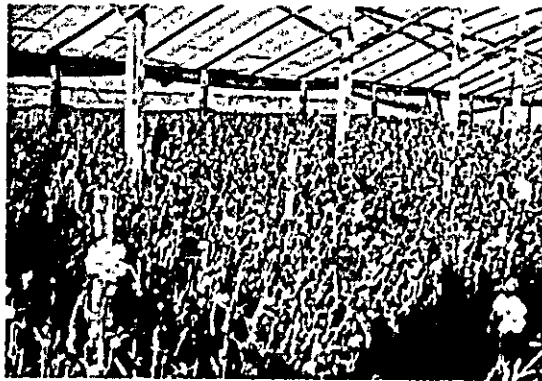




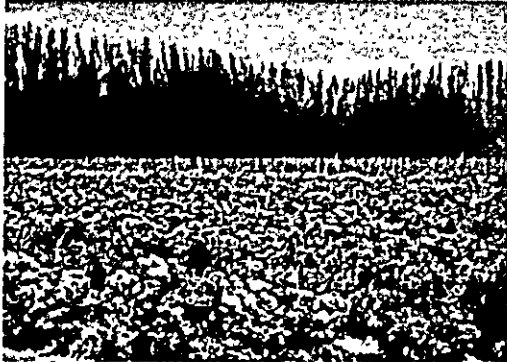
カーネーション



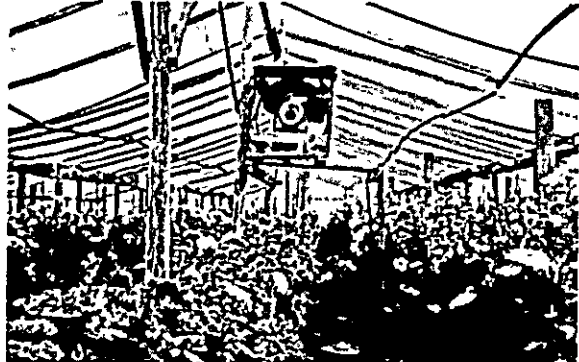
カーネーション



露地栽培 バラ



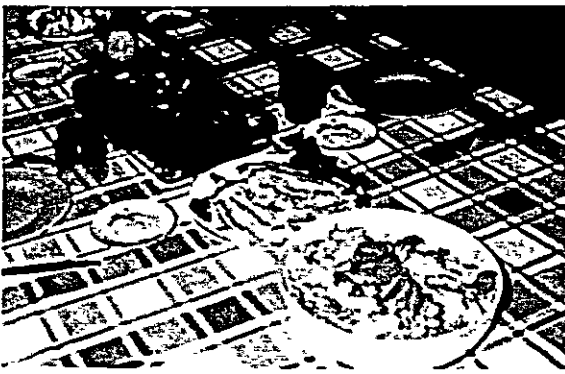
菊



a

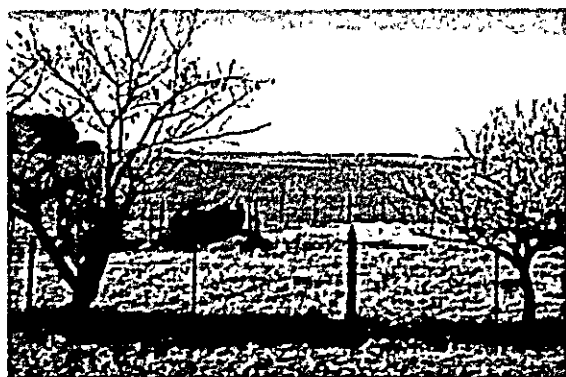


b



- a. 米産16年のK氏の住宅と蜂密関係の店  
右は鉢物の温宇、苗木も売っている
  - b. K氏の委託養葛
  - c. K氏の昼食。これに御飯と飲物がつく
- K氏はその他養蜂もやっている。

さくら牧場風景 (鈴木芳造氏)



牧場の朝



街頭の花売り



街頭の花売り

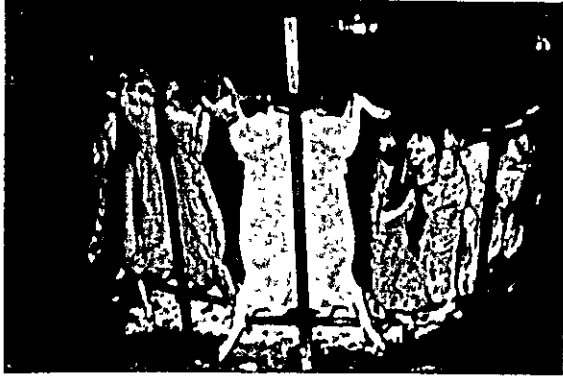


フロリダ街



キオスコ (煙草屋)

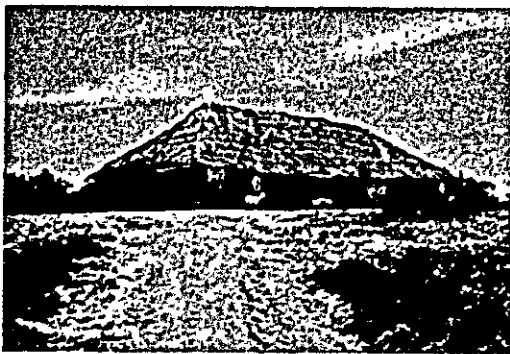
肉料理店にて



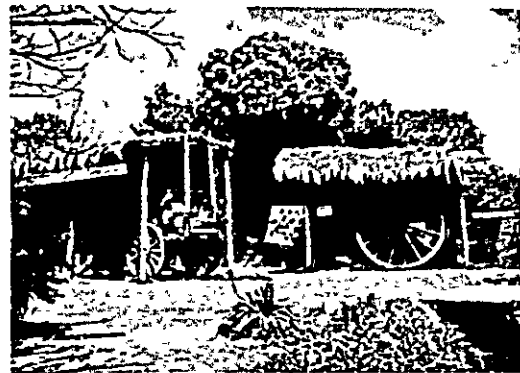
フォルクローレ



インディオの家



150年前のとりで



150年前の馬車



ガウチョ (牛飼い)



たねり (トーロ)



ガウチ (牛飼)

メンドサ州アンデス移住地のトマト



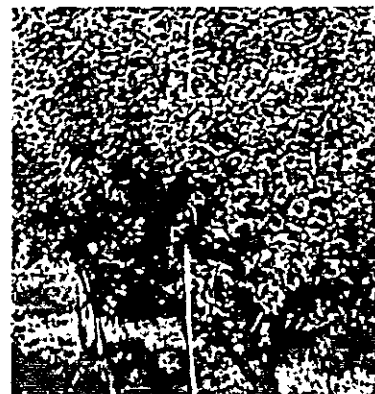
ミシオネス州のハイナ、フル

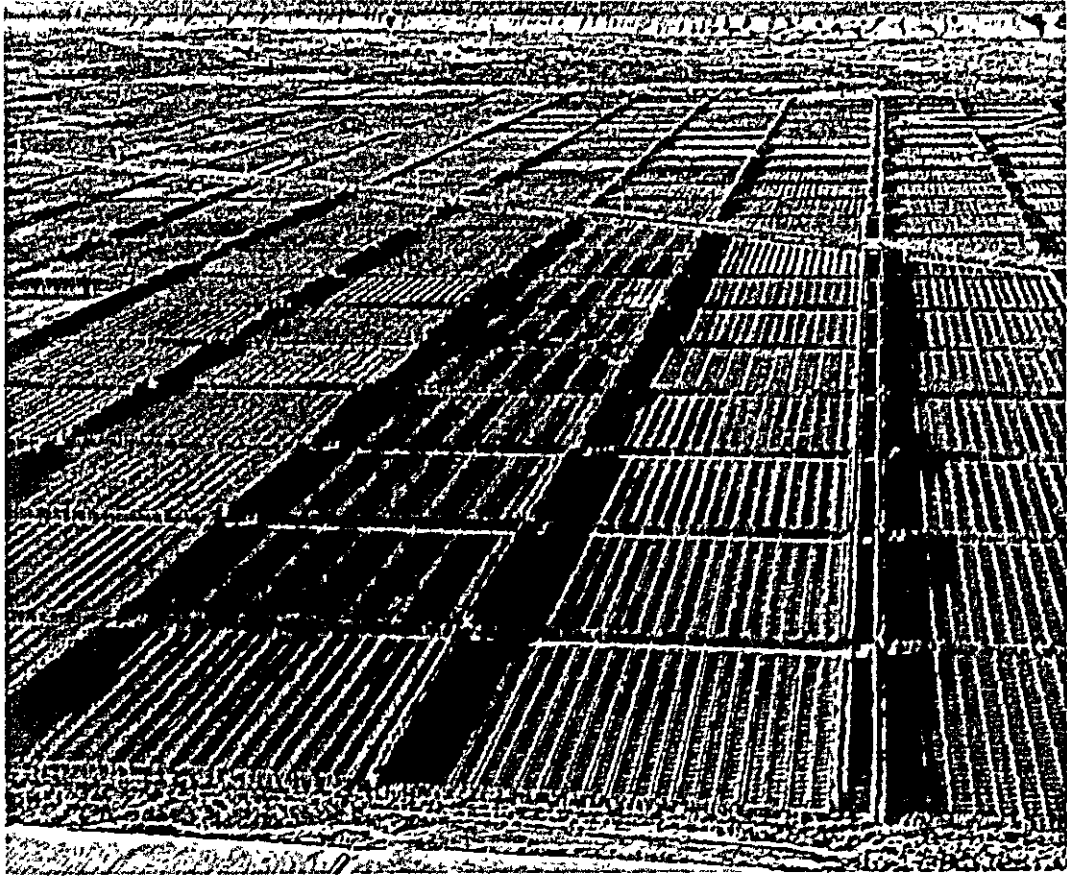


ミシオネス州の茶畑



リオネグロ州のリンゴ



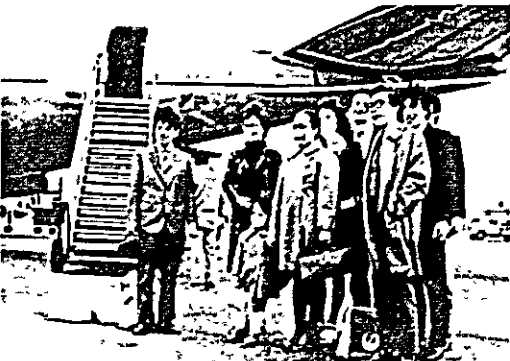




カピルド(旧政庁)



ブエノスのおきわりさん



1973年7月15日 初の航空機による移住者到着  
1家3名 単身4名(内花嫁2名 雇用者2名)

## 1. はじめに

アルゼンティン国(亜国)は、日本から一番遠い国であり、従来日本では、なじみの薄い国でもあった。昭和57年4月2日以来、同年6月14日までの間、南緯52度の点に在るマルビーナス(MARVINAS)諸島(フォークランド諸島)における亜国、英国との紛争は全世界に大きく報道され、一躍亜国の存在が、世界にクローズアップされることとなった。では亜国は一体どういう国なのであろうか、勿論詳細に紹介し尽し切れないが、この程度は亜国に関心のある日本人は知ってもらいたいと思われることを紹介してみることとした。現在亜国は対外債務を約390億ドルかゝえ、経済的に大きな困難に直面しているが、将来性のある極めて豊かな国である。これはこの国の開発如何にかゝっており、世界的に脚光を浴びてくるのも時間の問題ではないかとさえ思われる。

## 2. アルゼンティン国とは

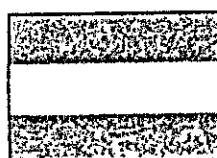
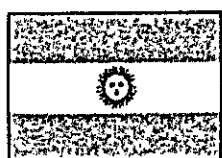
### 1. 正式国名：Repubrica Argentina

(アルゼンティン共和国)

ARGENTINAはラテン語で銀ということの意味します。

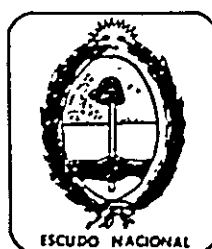
### 2. 国旗：1812年2月27日、マヌエル・ベルグラノー(MANUEL BELGRANO)

将軍は白と青の2色の旗を作製し、ロサリオ(ROSARIO)市の河岸に築いた砲台に掲揚、将兵に対し、国家に対する忠誠を誓わせました。ベルグラノー将軍が逝去した1820年6月20日を国旗記念日とし国の祭日となっています。軍隊や官庁、学校等公共機関に掲げる国旗は、白地の真中に輝ける太陽のマークがしるされています。



### 3. 国の紋章：1813年5月13日に制定され、太陽、月桂樹2つの手、それによって支えるインカの帽子、地は国旗、太陽は輝ける亜国の前途、月桂樹は栄光、2つの手は友愛と団結、帽子は自由と共和を表わしており、国の象徴としました。

又ブエノス・アイレス(BUENOS AIRES)市はじめ各州、各都市等においても、それぞれ特徴のある紋章を有しています。



### 4. 位置：南アメリカの最南方、チリー国と隣接せにあり、南緯約22度～55度の線(但し南極を除く、フェゴ島を含む大陸部分のみ)西経約54度～72.5度に位置し、ブエノス・アイレス市の国会議事堂の正面左端を零の地点としているので、方向及び距離等は総て、その地点を基としている。従って北方にはパラグアイ国、ボリビア国西方にチリー国北東部にブラジル国ウルグアイ国が接している。

### 5. 地勢：北西部のボリビア国とチリー国が接している点から、チリーとの国境線に沿って、大陸部南端まで、アンデス山脈が走っており、北部の亜熱帯地方中央部のパンパ(PAMPA)地方(パンパ湿地帯とパンパ乾燥地帯に分けられる)南緯40度以下のパタゴニア(PATAGONIA)地方に大きく分けられる。

アンデス山脈を分水嶺とし、多くの河川が存在し、太西洋まで流れている。亜熱帯-中央部の



地味豊沃な地域である。パンパの乾燥地帯—パタゴニアの南緯40～45度の線は、かんがいを要するが、地味は良好である。パタゴニア地方は、雨量が少く地味も肥えていない。但し、フェゴ(FUEGO)島は、地味が良好なところもある。又常に強い西風があり、砂漠地も多い。

6. 気 候 : 北部の亜熱帯は、湿度も多く気温も高い、平均気温も高く、雨量も多いアンデス地方は、夏は気温も高くなるが冬は、零下以下に下る。雨量は北西部を除くと比較的少ない朝晩の寒暖の差が激しい。

中央部は気温が温暖であり、その代表的なパンパ・ウメダ(PAMPA UMEDAD)は、比較的雨量も多い、アンデス方面からパタゴニア上部にかけてのパンパ・セッコ(PAMPA SECO=乾燥地帯)は雨量が少い。パタゴニア地方は雨量が少く、低温地帯で平均気温も低い、春夏秋冬は日本とは正反対であり、南風は強く強い、北風は気温もありやわらかい。アンデス地方及パタゴニアの一部には積雪があるが、他の地方は殆んどない。又雹害や霜害、風害は、アンデス地方中央部、パタゴニア地方上部に意外と多い。霜害は亜熱帯地方にも生ずる。

7. 独立年月日 1816年7月9日

8. 言語 : スペイン語(但しスペインの一地方の言語が主体でカステジャーノと呼ばれる)

9. 宗教 : カトリック。(憲法第2条に連邦政府は、ローマ・カトリック使徒教義を支持するとあり又77条には、大統領または副大統領はローマ・カトリック使徒教団に所属していなければならぬことを規制している。但し信教は自由であり、法律によって規制されていない。外務省内にカトリック宗教局とカトリック外宗教局がある。)

プロテスタント、ユダヤ教、回教等もありそれぞれ教会を有している。ユダヤ教徒は60万名とも言われており、カトリックの祝祭日にも営業を行っている。

10. 通貨 : ペソ(Peso) 1982年9月現在煙草1コ20.000ペソ位でインフレが激しい

11. 政 体 : 立憲共和制(昭和57年現在軍事政権)

12. 元 首 : 大統領(Presidente)

13. 省 庁 : 内務省(Ministerio de Interior)

外務・宗教省(Ministerio de Relación Exterior de Culto)

司会省(Ministerio de Justecia)

国防省(Ministerio de Defensa Nacional)

経済省(Ministerio de Economia)

文化教育省(Ministerio de Cultura y Educacion)

労働省(Ministerio de Trabajo)

社会事業省(Ministerio de Acción Social)

経済省所属

経済企画調整庁(Secretario Planificación y Cooperacion Economia)

大蔵庁(Secretario de Finanza)

工業開発庁(Secretario de Desarrollo Industrial)

農牧庁 ( Secretario de Agricultura y Ganaderia )  
商業貿易庁 ( Secretario de Comercio y Exterior )  
運輸・公共事業庁 ( Secretario de Transporte y Obra Publico )  
エネルギー庁 ( Secretario de Energia )  
鉱山庁 ( Secretario de Minería )  
通信庁 ( Secretario de Comunicacion )  
海洋庁 ( Secretario de Intereses Maritina )

14. 国会 上院 下院の2院制 ( 現在閉鎖中である )

15. 連邦首都: ブエノス・アイレス市

16. 司法 : 国家の事件のみを取扱い、大審院、控訴院 ( ブエノス市所在 ) 及び地方裁判所による。大審院は判事5名にて構成、控訴院はブエノス・アイレス ( BUENOS AIRES ) 市、レシステンシヤ ( RESISTENCIA ) 市 ( チャコ州 )、パラナ ( PARANA ) 市、コルドバ ( CO RDOBA ) 市、ロサリオ ( ROSARIO ) 市に所在、判事はブエノス市は5名他は3名によって構成される。以上の判事は大統領が上院の承認を得て決定する ( 現在は軍事政権であるので、上院の承認はなく軍事評議会による )。

ブエノス市及び各州、直轄領 ( フェゴ - TIERRA DEL FUEGO - 島 ) には、高等裁判所と下級裁判所があり、国家的事件以外は、総て取扱い自治権を有している。

17. 軍 事

大統領のもとに陸軍、海軍、空軍がある。長官は何れも大将の位であるが、直訳的には中将である。これは、サン・マルティン ( SAN MARTIN ) 将軍 以外には大将ではないという考えからでているとのことである。現役での大将は、亜国には陸、海、空の3名のみである。

総兵力 約17万5千

陸 軍	8 万
海 軍	3 万 3 千
空 軍	2 万
予 備	4 万 2 千

( マルビーナス ( MARBINAS ) 紛争では、約2万位動員されたものと思われる。 )

陸軍は 全国が6師団 旅団3 山岳部隊2 その他連隊等がある。

海軍は 士官約500名 艦船の総屯数約35万屯

空軍は フランスのミラージュ、国産のブカラ等を保持

註、兵役は義務 ( 1年及至14ヶ月の間 ) 制であるが、18才に達したら全員が徴集される訳ではない。又高校、大学の在学者は最長2年まで、徴兵延期が出来る。

○ 国境警備隊 ( Gendarmeria Nacional ) ----- 司令官は陸軍から出ているが、その以下、士官、下士官、兵共独特の養成学校があり、そこで訓練を受け、国境線25.728kmの各所に配置され守備している。

○ 水上警備隊 ( Prefectura Naval ) 司令官は海軍出身であるが他は国境警備隊と同様である。主として国境の接している河川の各所に配置され守備についている。

#### 18. 国民性 風俗 習慣等

生活にバイタリティがあり現在インフレと低賃金、それに失業が加わっているにかゝらず、何とかやっている。餓死したという話も聞いたことがない。楽天的で陽気、それに悠長なのである。但しブエノス市は、世界の首都や都会と同様無性格なところもあり、矢張り気ぜわしい点もある。又自尊心の強い面もあり、一見冷たそうにも見えるが意外と打解け方が早い。又親切でもある。マルビーナス諸島における英国との紛争やサッカー、自動車競争、ボクシング等に一時熱狂もするが、さめるのも早い。約束事を確実に守らないこともありそれに余り責任を感じない。

ジョークがうまく、又口論もするが、いくら激しくなっても、手出しはしない。短気な人は両手を後ろで組んで、顔だけ相手の顔に近づけて口論する。セスチャもたっぷり使うので体全体で話をしているような感じである。どんな理由があっても、裁判や警察等では早く手を出した方が負けの判定を受けるのである。やくざ、不良のたぐいは殆んど存在しないので街はその点全く安心である。酔っ払って街を歩いている人は全く見かけない。若しあれば、パトロールが警察に保護することもある。酔っ払い運転もないが、正常の時の自動車運転が荒っぽく、衝突事故も多い。

イタリア系の人達は、自動車を買えば早く走らせなければ損だと思っているのかスピードを出し過ぎるのである。その割には仕事はそう早くもない。一般の俸給生活者は二つ以上の仕事を持っている人が多い。1つは生活の為、1つはレジャーや自動車等を購入する為である。例えば、銀行マンが各種の店の帳簿や会計書類をみてやるとか、等々である。

服装は一時派手なものが流行するが、又元にかえり地味となる。食物の趣味も中々かえようとしないところがある。従って、野菜等についても新品种のものには中々取りつこうとはしない傾向にあり、保守的なのである。地方は昼夜の時間があり、冬は2時間夏は3時間位休む。午後店を開けるのは午後4時位でその間全く閉散となる。夜の食事の時間が遅く、レストランや一般家庭でも午後8時以降であり、その為午後5時頃軽食をとる。月～木は、他の家を余り訪問しないし、又突然訪問する習慣もない。訪問する場合は予め電話等で連絡をとる。土、日の訪問の場合、金曜日に連絡とるのが一般である。

週休2日制のところが多く、(官庁、銀行、大会社、大学を除く学校等)土、日の天気の良い日は郊外に出て、家族で焼肉やスポーツを楽しむ人達が多く極めて健康的である。反面どこの家庭でも、夜ふかしが大好きで、レストラン等では夜の12時頃食事している人達も大勢いる。それで朝は意外と早く、官庁等は午前8時から仕事が始まるが昼も継続して仕事をするため、退庁時間が早いので、それで調節をとっているのであらう。一般においても、同じことが言える。外に恋人が出来ても、親の公認を得られない場合、中々家の中に入れてもらえない。そういう場合、家の門で立話をせざるを得ない。

○ 亜国北部 パラグアイ国等で産出される独特のお茶(ジェルバ・マテ茶)を、小さなひょうたん型のつぼに入れて、お湯に砂糖を入れて、銀又はニッケルのストローで常飲するの

もごく一般的な習慣である。パラグアイ国では冷水を入れて飲む習慣があり、亜国でも受飲している人も見かける。

### 3. 亜国々土、人口等について

1. 総面積	3,761,274 km <sup>2</sup>
大陸領土	2,791,810
ブエノス・アイレス市	200
フェゴ島(ディラ・デル・フェゴ)	21,263
マルビナス諸島	11,718
南大西洋諸島	969,464
内訳 亜国領南大西洋諸島	(964,250)
南ジョージヤス諸島	(4,164)
南サンドウヰイチ諸島	(300)
南オルカダス諸島	(750)
2. 距離	
1) 南北の最長距離(大陸部)	3,799 Km
2) 東西の最長距離( " )	1,423
3) 海岸線( " )	4,725
4) " (南極諸島)	11,235
3. 国境線	
1) チリ一国	5,308 Km
2) ブラジル	1,132
3) ボリビア	742
4) パラグアイ	1,699
5) ウルグアイ	887
	計 25,728 Km
4. 高さ(大陸部)	
0 m ~ 100 m	23.90%
101 ~ 200	21.02
201 ~ 500	19.35
501 ~ 2,000	25.45
2,001 ~ 5,000 以上	10.28

## 5. 山の高さ

Aconcagua (メンドサ州)	6.959 m
Bonete (ラ・リオハ州)	6.872
Tupungato (メンドサ州)	6.800
Monte Pissis (ラ・リオハ州)	6.779
Mercedario (サン・ファン州)	6.770
Llullaillaco (サルタ州)	6.723
Lincancaur (サルタ州)	6.620
Incahuasi (カタマルカ州)	6.620
Galan (カタマルカ州)	6.600

## 6. 湖

1) Argentina (サンタ・クルス州)	1.415 km <sup>2</sup>
2) Viedoma (サンタ・クルス州)	1.088
3) Colhue Huapi (チュブ州)	803
4) Nahuel Huapi (リオ・ネグロ州、ネウケン州)	550
5) Buenos Aires (サンタ・クルス州) 亜国領のみ	881

## 7. 河川

1) Parana (ラ・プラタ河支流)	1.800 Km
2) Uruguay ( " )	1.100
3) Salado del Norte ( " )	2.000
4) Bermejo-Teuco ( " )	1.000
5) Pilcomayo ( " )	850
6) Colorado	860
7) Negro	635

## 8. 各州の面積と人口

1) ブエノス・アイレス州	307,571 km <sup>2</sup>	10,613,025 人
	(日本の面積とやゝ同じ)	(1979年統計)
2) カタマルカ州	100,967	180,860
3) コルドバ州	168,766	2,452,524
4) チャコ州	99,633	589,758
5) コリエンテス州	88,199	605,149
6) チューブ州	224,686	270,404
7) エントレ・リオス州	78,781	861,643
8) フォルモサ州	72,066	304,234
9) フフイ州	53,219	401,392

10) ラ・パンパ州	14 344 40 km <sup>2</sup>	1 959 211 人
11) ラ・リオハ州	8 968 0	1 442 70
12) メンドサ州	14 882 7	1 148 800
13) ミシオネス州	2 980 1	536 655
14) ネウケン州	9 407 8	2 152 99
15) リオ・ネグロ州	20 301 3	374 798
16) サルタ州	15 477 5	637 815
17) サン・ファン州	8 965 1	427 712
18) サン・ルイス州	7 674 8	196 612
19) サンタ・クルス州	24 394 3	132 887
20) サンタ・フエ州	13 300 7	2 411 200
21) サンティアゴ・デル・エステロ州	3 525 4	584 635
22) トウクマン州	2 252 4	948 956
23) ウスワイア(直轄領)	2 126 3	211 00
※ 南太西洋諸	1 693 2	2 012
亜国領南極大陸	9 642 50	142
ブエノス・アイレス市連邦首都	200	2 983 000

総人口(1979年調査) 27,241,000

註 人口増加率は約13.5%

亜国人は、スペイン系、イタリア系及び、スペイン人と土着人(インディオ)との混血系が殆んどである。(約90.5%)又アラブ系約70万人、ユダヤ系約70万人、インディオ約65万人等がいる。その他ヨーロッパ系であり、アジア系は少い。

#### 9. 土地利用状況

1) 農耕地 牧場地	約 2,980 万ヘクタール
2) 植林地及び天然森林地	約 6,330 万ヘクタール
3) 農物可能地	約 13,710 万ヘクタール
4) 非利用地(山地、沼沢地等)	約 4,900 万ヘクタール

## 4. 亜国の産業

### 1. 農業生産高

品目	年度	1978年~79年	1979年~80年	1980年~81年
小麦		8,100千屯	8,100千屯	7,780千屯

とうもろこし(マيس)	8.700千吨	6.400千吨	13.215千吨
そおるご(高粱)	6.200	2.960	7.520
米	326	266	296
えん麦	676	522	433
大麦(ビール用)	470	286	170
〃〃(牧草用)	84	53	47
ライ麦	210	202	155
きび(小麦)	310	188	251
綿の種子	329.6	276	—
ひまわり	1.430	1.650	1.275
亜麻	600	743	585
落花生	470	206	167.1
オリーブ	106	82	93.2
大豆	3.700	3.500	3.900
油桐	58.3	81.0	—
綿	173.7	145.5	74.
さとうきび	1.500	1.440	1.850
亜麻(織物用)	9.800	8.800	9.000
ホップ(ビール用)	227	170	140
マンジョカ	183	221.7	—
煙草	70	62	51.5
紅茶	125	153	142.5
アルファルファ(牧草)	2.650	2.272	2.184.9
アルファルファ(種子)	13.400	12.000	10.803
牧草用とうりゃん	18.2	11.0	—
バナナ	144	146.2	—
桜桃	27	3.0	2.8
すもも	71	69	69.5
あんず	25	21	12.2
桃	282	238	216.3
レモン	280	301	396
みかん	255	224	214
りんご	972	958	1.040
マルメロ(メンバージョ)	19.5	17	17.6
オレンジ	670	706	704

く る み	10.8千屯	11.3千屯	5.6千屯
パ ル タ(アグアカテ)	6	3.2	—
な し	160	155	142
ボメーロ(グレープフルーツ)	145	134	164
ぶ ど う	3.500	3.250	2.700
に ん に く	81.000	95.000	69.000
アルカウシル(あざみ)	53.500	55.600	58.800
ア ビ オ	33.500	26.600	—
さやえんどう	35	49	35.6
背 豆	12	18.6	14.5
さ つ ま い も	322	302	—
た ま ね ぎ(1期)	90	88.8	60.4
た ま ね ぎ(2期)	200	189	132.6
い ち ご	720	840	1.200
ガルバンソ(豆)	2.700	4.400	3.900
レンテハ(豆)	12.4	16.8	13.4
メ ロ ン	70	68	58.2
じゃがいも(時期)	43	133	97
じゃがいも(時期はずれ)	1.8	1.2	1.3
じゃがいも(2次時期)	1.331	1.111	1.836.7
じゃがいも(3次時期)	110	117	—
じゃがいも(4次時期)	8.8	9.4	—
ベミエント(唐辛子の1種)種子	11.8	6.2	2.3
＃ (生)	35.000	41.700	42.900
＃ (乾燥)	4.200	2.800	—
さ や 豆	23.6	31.2	33.4
背豆の1種	3.5	4.0	3.4
豆の1種	232	146	—
す い か	172	172	112.5
トマト(西北部)	153	146	81
トマト(ブエノス及び南部)	348	400	302.3
か ぼ ち ゃ	315	364	274



## 2 牧畜生産高

区分	年度	1977年度	1978年度	1979年度
○家畜飼育頭数				
牛		61,058.8 千頭	データなし	56,864 千頭
馬		3,073.5	データなし	データなし
綿羊		35,219.6	データなし	データなし
豚		3,551.7	データなし	データなし
○屠殺頭数				
牛		14,748 千頭	16,449 千頭	15,617 千頭
馬		データなし	データなし	データなし
綿羊		8,295	8,168	7,862
豚		2,768	2,417	2,829
○食肉生産量				
牛	国内消費用	2,309 千屯	2,481 千屯	2,394 千屯
	輸出用	605	712	698
馬		データなし	データなし	データなし
綿羊	国内消費用	90	92	98
	輸出用	42	38	31
豚	国内消費用	235	212	259
	輸出用	7	2	1
3 酪農品				
蜂蜜		35,000 屯	36,000 屯	—
鶏		170,000 千羽	187,000 千羽	—
鶏卵		275,167 千打	306,000 千打	—
あひる等		2,310 千羽	2,715 千羽	—
牛乳		5,056 千ℓ	5,277 千ℓ	—
牛皮		18,000 千屯	17,150 千屯	—
綿羊皮		9,600 千屯	9,300 千屯	—
羊毛(スイス型良質)		168,000 屯	—	—
羊毛(普通)		152,575 屯	—	—
4. 魚類(淡水魚を除く)				
		1978年	1979年	
○総漁獲高		504,046 屯	550,261 屯	
○主な種類の漁獲高				
1) マルルーサ		341,161	369,629	
2) 片口いわし		16,012	19,826	
3) まぐろ		49	—	

4) 鯛	12,941 吨	9,838 吨
5) 鯖(かつをも含む)	379	532
6) コルナリット(白い小魚)	513	1,014
7) コルビーナ	4,544	4,449
8) ベヘレイ(海のもの)	227	184
9) ベスカディジャ	3,601	5,905
10) さめ	32	20
11) 他 の 魚	61,300	47,662
12) い か	59,001	86,614
13) 芝 え び	41	48
14) 車 え び	3,251	4
15) か ら す 貝	69	3,686
16) ほ た て 貝	725	25
17) 他		825

○ 淡 水 魚

総 漁 獲 高	15,077 吨	16,081 吨
魚種別漁獲高		
ド ラ ード	66	173
ス ル ビ ー	741	1,613
ベ ー レ イ	564	817
Bagarito	221	224
ボ ガ	280	256
サ バ ロ	12,037	11,103
パ テ イ	620	793
他	548	1,102

工業生産高

	1977年	1978年	1979年
1) 石油	24,994.3 千 $m^3$	26,251.0 千 $m^3$	27,435.3 千 $m^3$
2) 天然ガス	11,663.0	11,504.0	12,815.0
3) ガソリン	5,696.0	6,029.8	6,387.3
4) ディーゼルオイル	900.2	954.4	994.0
5) ガスオイル	6,639.3	6,526.0	6,810.7
6) 軽油	9,258.5	9,026.6	9,272.3
7) 電力	27,259.3 100万kwh	28,911.8 100万kwh	33,061.7 100万kwh
8) 石炭	5,333 千吨	4,358 千吨	7,182 千吨

9) 硫酸(硫黄)	231.8千吨	234.4千吨	263.5千吨
10) ポーランドセメント	5,893.0千吨	6,123.2千吨	6,998.4千吨
11) 粗鉄	1,385.0千吨	1,819.2千吨	1,942.2千吨
12) 鉄鋼	2,673.7千吨	2,787.7千吨	3,192.9千吨
13) 金属板	2,794.1千吨	2,562.5千吨	2,955.6千吨
14) たんにん	104.8千吨	97.2千吨	96.3千吨
15) ぶどう酒	2,280,000千ℓ	1,940,000千ℓ	2,478,000千ℓ
16) 砂糖	1,661.9千吨	1,291.5千吨	1,310.5千吨
17) 冷蔵庫	198,000台	128,000台	209,000台
18) テレビジョン	330,000台	350,000台	390,000台
19) 自動車類	235,356台	179,160台	252,882台
20) トラクター	25,845台	5,939台	10,610台
21) 紙原料	320.8千吨	325.0千吨	412.1千吨
22) 紙ダンボール紙等	810.3千吨	756.3千吨	794.2千吨

## 貿易

### 1. 貿易収支(単位100万ドル)

区分	年度	1977年	1978年	1979年
輸出		5,651.8	6,399.5	7,809.9
輸入		4,161.5	3,833.7	6,700
差引		+1,490.3	+2,565.8	+1,109.9

### 1980年度(100万ドル)

区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸出	6,995.68	6,374.34	5,874.31	7,018.63	6,249.65	7,086.46
輸入	7,512.73	7,786.57	7,607.20	8,374.00	9,152.43	10,294.58
差引	-517.05	1,412.23	-1,732.89	-1,355.37	-2,902.78	-3,208.12

註 1980年度 1981年度は大巾な入超となっている。

### 日本との貿易収支

区分	年度	1978年	1979年
輸出		3,805.56	3,954.49
輸入		2,672.76	3,563.30
差引		+1,132.80	+391.19

### 1980年度

区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸出	2,057.2	1,805.7	1,658.1	1,149.8	1,130.7	1,610.3
輸入	6,732.4	6,257.8	6,865.8	8,296.4	7,660.4	11,590.7

差 引      -46,752    -44,521    -52,077    -71,466    -65,297    -99,804

1980年度～1981年度は飛躍的日本からの入超となっている。貿易の自由化で、車輛類、機械類、電気関係品等が大巾に輸入された為である。

#### 亜国から日本への輸出品

- 肉類、馬肉（生鮮 冷凍） こうりゃん、あわ、きび、ひえ、蜂蜜、飼料（とうもろこし、こうりゃん、ふすま）羊毛、綿花、原皮、等々

#### 亜国の日本からの主な輸入品

- 重化学工業品、金鉱品、機械機器、電気機械、通信機器、輸送機械、精密機械、

## 5. 亜国各州の主な産業

### 1. ブエノス・アイレス州

牛 小麦 大麦 ライ麦 もろこし（高りゃん）メイズ 牧草 油性植物（オリーブ 日まわり、落花生 大豆 リーノ 油桐 他）じゃがいも そ菜 果樹（なし りんご 桃 柑橘 ぶどう etc）酪農（牛乳 チーズ等） めん羊 養鶏 養豚 漁業 食油製造 織物 植林及び加工 蒸溜所 製粉 皮加工 冷凍 岩石加工 鉄工 化学工業 自動車工業品 鉄道 航空 農業機械類 機械類 造船所

### 2. コルドバ州

牛 養鶏 養豚 山羊 牧草 もろこし 牛乳 チーズ類 小麦 果樹 そ菜 メイズ ジャがいも 煙草 油性植物類 冷凍 石材加工 鉱物 ウラニウム 化学工場 自動車機械工場

### 3. サンタ・フェ州

牛 小麦 えん麦 米 メイズ 綿 もろこし 牧草 油性植物 果樹 そ菜 養豚 冷凍 酪農（牛乳 チーズ類） 植林及び加工 石材業 蒸溜所 精粉業 皮革工場 鉄工場 自動車機械工業 化学工業 造船所

### 4. ミシオネス州

植林 紅茶 マテ茶 林業（製材業等）煙草 油性植物類 亜熱帯果樹（バナナ等）そ菜（マンジョカも含む） 牛 養豚 メイズ 米

### 5. コリエンモス州

果樹（特に柑橘類） 米 綿 メイズ 牧草 もろこし マテ茶 油性植物類 煙草 牛 羊 蒸溜所 淡水魚 植林

### 6. フオールモサ州

綿 メイズ えん麦 もろこし 油性植物類 牧草 果樹（柑橘類） 煙草 そ菜 亜熱帯果樹（バナナ類）食油工場 植林製材工場 牛 酪農製品工場 織物

7. チ ャ コ 州  
綿 小麦 煙草 油性植物類 メイズ そ菜 果樹(柑橘類) 牧草 植林及び加工 牛  
養豚
8. フ フ イ 州  
煙草 砂糖 大麦 えん麦 メイズ 綿 そ菜 羊 米 植林及び加工 牛 酪農製品工場  
鉄鉱石 石油 鋳業 鉄工場 石材業
9. サ ル タ 州  
煙草 さとうきび 米 えん麦 そ菜 牧草 もろこし ぶどう及び醸造所 植林及び加工  
メイズ 果樹(柑橘類等) 亜熱帯果樹(バナナ等) コーヒー 牛 羊 山羊 豚 養鶏  
石油 鋳物 鉄鋳物 ウラニウム
10. トウクマン州  
さとうきび 小麦 えん麦 綿 煙草 メイズ ジャがいも 油性植物類 果樹(柑橘類)  
牛 羊 山羊 養豚 養鶏 米 林業 酪農(牛乳 チーズ類 化学工業 織物工業 機械工  
業 鉄鋳
11. ラ・リオハ州  
ぶどう及び醸造所 油性植物類 果樹(柑橘類) 食油工場 牛 羊 山羊 石炭 ウラニウ  
ム 鋳業 石材工業
12. カタマルカ州  
ぶどう及び醸造所 メイズ 油性植物類 牛 羊 山羊
13. サン・ファン州  
ぶどう及び醸造所 果樹(桃 なし等) ジャがいも そ菜 牛 羊 養豚 食油工場 油性  
植物類 鋳物 石材業
14. メンドサ州  
ぶどう及び醸造所 果樹(桃 なし等) くるみ 乾果 ジャがいも 大麦 えん麦 メイズ  
そ菜 油性植物類 食油工場 蒸溜所 石油 鋳物 鉄鉱石 ウラニウム
15. サン・ルイス州  
油性植物類 小麦 ライ麦 メイズ もろこし ジャがいも 牧草 果樹(桃 なし) 牛  
羊 酪農(牛乳 チーズ類) 鋳物 石材業
16. ラ・パンパ州  
小麦 ライ麦 えん麦 もろこし メイズ 牧草 油性植物類 牛 羊 酪農(牛乳 チーズ  
類) 鋳業 林業
17. サンチャゴ・デル・エステロ州  
綿 もろこし メイズ ジャがいも 牧草 果樹(柑橘類) そ菜 牛 羊 豚 林業 蒸溜  
所 鋳石
18. エントレ・リオス州

- 小麦 えん麦 もろこし メイズ 牧草 油性植物類 ジュース工業 果樹(柑橘類) 牛  
羊 養鶏 米 林業 冷凍工場 河魚
19. ネウケン州  
果樹類(りんご 桃 なし ぶどう等) 牛 羊 山羊 メイズ 牧草 そ菜 石油 飲物  
林業 川魚
20. リオ・ネグロ州  
果樹(りんご 桃 なし ぶどう等)醸造所 牧草 メイズ 羊 漁業 川魚 石油 鉄鉱石  
石灰
21. チュブ州  
石油 鉱業 機械工業 鉱業 石材工業 果樹(ぶどう等) そ菜 羊 蒸溜所 漁業 織物  
業
22. サンタ・クルス州  
羊 もろこし 牧草 ジャがいも そ菜 果樹(ぶどう等) えん麦 牛 羊 石油 石炭  
淡水魚 漁業 冷凍工場
23. 直轄領 ウスワイア  
石油 石炭 化学工業 漁業 海草工場 冷凍工場 林業 織物 林業 牛 羊 そ菜

## 6. 教育 文化 関係

1. 小学生 約370万人(1年~7年制)  
小学校々数 約25,700校(幼稚園をも含む)
2. 中学校 約106万人(1~5年 普通中学及び商業、1~6年 工業及びブエノス・アイレス中学、オットウクラセ工業、カルロス・ベリグリニ商業、その中、ブエノス・アイレス中学及びカルロス・ベリグリニ商業校卒業生は、ブエノス・アイレス大学及び他の大学に無試験で入学出来る。オットウクラセ工業は大学無試験入学の特点はないが、ブエノス・アイレス中学及びカルロス・ベリグリニ商業と共に入学試験があり、むずかしい。
3. 大学及び専門学校生 約35万人  
大学校数 39校(内訳 国立12校 州立4校 私立23校)
4. 教育事情
  - 1) 小学校は義務教育であり、入学年齢は、6才であるが、その年の6月30日迄6才の誕生を迎える児童は3月に5才でも入学出来る。
  - 2) 小学校でも落第があり、14才まで卒業しないと退校させられ特殊学校に行くことになる。この学校は年齢の過ぎた者、又外国人(年齢に関係なく)も入学している。又精神薄弱の為

の特殊学校も存在する。

3) 中学校は、前記3校を除くと殆んど入学テストがない。中学校も落第制度がある。普通中学校を卒業すると、パチジェラット(得業士)の資格を得るが、専門の資格でない為、社会に出ても、余り重要視されない。従って大学の課程に進学する者が多い、商業学校はペリット・メリカンティル(准会計士)の資格を得、国家会計士(コンタドール・ブーブリコ)の補助や事務職としても需要が多いが、大学に進学する者も多くいる。工業学校は、各課程のテクニッコ(技能者)の資格を得、インヘニエロ(国家技師)の補助も出来、需要も多く、独立していくものもあるが、大学へ進学するも多い。

4) 大学課程は5~6年であるが医学系はそれに3年加わることになる。

大学の中途退学は社会に出ても、何等認めることにはならないので、卒業して資格を御得する必要がある。

5) 寄宿舎制度は私立を除いて、行われていない。

6) 月謝は、私立を除き徴集されていない。各学校に、コペラドーラ(学校維持協会)が存在し維持費を徴集しているが少額である。給食もそれによってまかなわれているところがある。

大学は少額ながら月謝を徴集しているがコペラドーラは存在しない。

## 5 図 書 館

10万冊以上の蔵書を有する図書館は全国に10カ所、殆んどはブエノス市にあり国立図書館は約70万冊現在ブエノス市パレルモ公園内に建設中の図書館には約100万冊の蔵書を有する予定である。

## 6. 美術館 博物館

全国に98館あり、ブエノス市で名の知れているのは次の通り(ラ・プラタは別格)

1) ラ・プラタ自然博物館 ラ・プラタ市

2) 国立美術館 ブ市 パレルモ公園内

3) 大統領庁 H. Yrigoyen 219 火~金 9h ~ 16h

4) 自然博物館 Angel Gallardo 470 火木日 13~17

5) ボッカ芸術博物館 Pedro Mendoza 1835 9~12 15~18

(有名なキンケラマルチンの絵が展示されている)

6) サルミエント帆船博物館

Darcena Norte Frente al Yocht クラブ

土日 祝祭日 14~17

7) 海軍関係 Av. Santa Fe 702 水~日 14~18

8) 気象関係 Bolivar 65 月~金 1230 1830

9) 革命記念博物館 Bolivar 65 火~金

10) 植物茶草 Junin 956 1-p 月~金 9~12

11) 南極 Cerrito 1248 月~金 7~ 9.30 土 7~14

- 12) 人 種 Moreno 350 木～金 13～17  
 13) 歴 史 Defensa 1.600 木～日 14～18  
 14) 国 立 銀 行 B. Mitre 326 1-p 月～金 12～16  
 15) 国 際 漫 画 Av. de Mayo 628 毎日 9～20  
 16) スペイン美術 Juramento 2291 火～日 15～19.45  
 木 10～13 15～19.45  
 17) 海 軍 記 念 館 Lavalle 1171  
 18) 中央銀行記念館 Reconquista 266  
 19) 演 劇 記 念 館 Av. Cordoba 1199  
 20) 航 空 博 物 館 Aero Parque (ホールヘ・ニューペリー空港)  
 21) 警 察 記 念 館 Charcas 2850  
 22) 郵 政 記 念 館 L.N.Alem y Sarmiento  
 23) そ の 他 Mitre, Saavedra, Torcecato に関する博物館やブエノス市近郊に、

ハドソンに関する博物館が存在する。又各州都市には、それぞれ特色のある博物館が存在している。

#### 7. 動物園 植物園

動物園 (Jardin Zoologico)

Las Heras y Av. Sarmiento

植物園 (Jardin Botanico)

両園共規模が大きく、世界の珍しい種類のもものが集められており管理もゆきとどいている。

#### 8. 文 盲 率

男 6.3% 女 7.7%

義務教育でありながら文盲率が先進国に比較して多いのは、隣国から季節農業労働等で出稼ぎに来てその儘定着し、教育をさせない家庭が多いので、それも含まれている。

#### 9. 教育費は、亜国全体の予算の16%程度

#### 10. 亜国におけるノーベル賞受賞者

△ 1936年 平和賞 サアベドラ・ラーヌス (チャコ戦争調停)

△ 1946年 生理、医学賞 B.A.ウーサイ

△ 1970年 化学賞 L.F. ルロアール

△ 1980年 平和賞 エスキベル

#### 11. 言語、スペイン語………高級のホテルや1部の人以外一般庶民は殆んど英語を使用しない。

#### 12. 新 聞

- 1) ラ・ブレンサ (朝刊)  
 2) ラ・ナション ( " )  
 3) クラリン ( " ) 広告面も多い  
 4) クロニカ ( " ) 労働者系



- 5) ラ・ラソン (夕刊)
- 6) エル・クロニスタ・コメルシャル (朝刊) 商業紙
- 7) メルカンテイル ( # ) 商業紙
- 8) ブエノス・アイレス・ヘラルド ( # ) 英字紙
- 9) その他

註	ブエノス市	新聞発行種類	46
	ブエノス州	" " "	67
	エントレ・リオス州	" " "	12
	コルドバ州	" " "	9
	メンドサ州	"	6
	他州は、1~4	亜国合計	176種類

### 13. 週間誌一般及び雑誌

- 1) ヘンテ
- 2) 2000 Tv. ラジオ用
- 3) ラ・セマーナ
- 4) Siete Dias

註① 出版社は大小50社位あり、種類も100種類も越えている。

② 一般誌の他、技術 住宅 スポーツ 婦人 T. V. ラジオ 映画 農業 児童 歴史  
Etec

### 14. TV. ラジオ

ブエノス市	Canal	7. 9. 11. 13
ラ・プラタ市	"	2
マル・デル・プラタ	"	8. 10
Trenque Laquen	"	12.
ロサリオ	"	3. 5
サン・ラファエル・バリローチ	"	6

他は、2~13までCanalと契約亜国全土に及んでいる。

ラ ジ オ

ブエノス市	LRA	Nacional Buenos Aires
	LR1	El Mundo
	LR2	Argentina
	LR3	Belgrano
	LR4	Splendid

その他8局、計12局24時間放送している。全亜国では151局の放送網がある。

## 短波放送

ブエノス市 14局

メンドサ市 2局

国营ニュースは、TELAM (Bolivar 531 34-2161)がある。

## 7. 交通事情

一般庶民の足として、1. 中型バス 2. タクシー 3. レミス(ハイヤー)及びレンタカー  
4. 長距離用大型バス 5. 市内地下鉄 6. 鉄道 7. フェリー 8. 航空機等のようなものがある。

### 1. 中型バス

中型の(24~25人乗)バスが市内縦横に走っており、2町~3町間隔位にて停留所がある。バスの正面上部に番号と主要停留所(場所)が明記されており、停留所にも停留柱に番号が掲示されているワンマンカーであり、運転は少々荒っぽい。切符は乗車の時購入しなければならない、小銭をもっていると便利である。一定区間(12km)は料金は同じであるので近郊に行く場合以外は、行先を別に運転手に告げる必要はない。子供連れ(特に赤ん坊)や、婦人、年寄り、障害者等には席を譲るのが習慣である。

中型バスはエセイサ国際空港、ブエノス市の衛生都市近郊まで延びている。料金は安く、極めて便利であるので、長く滞在する人、永住する人は、これに乗ることに願われることである。車体は会社別に各種の色彩をほどこしている。

### 2. タクシー

タクシーは上部黄色、下部は黒で、正面上部にTAXIと明示されている。現在ブエノス市は、Taxiがはん淫しており、夜半でも困ることはない。流しとTaxi駐車場があり、流しの場合は手を上げるとそばに寄ってくる。自動ドアではないので、自分で開閉せねばならない。自動車の型は古いが多い。行先は通りの名前と番地を告げるか大きな目印しのような建物の名前を言う方がよい。ブエノスの街は、殆んど100m四方に区画されており、番地もそれによって付されているので、運転手は殆んど間違うことはない。料金は、メーター制でありメーター器に明示されている分のみ支払えばよい。チップは必要としない。夜半から明け方までの料金と、パウル(後方のトランク等の荷物入れ)に荷物を入れる場合は割増料金を支払わねばならない。又、ブエノス市境界から出て郊外に行けば、明示された料金の2倍とられることになるので、予め運転手と相談するとよい。運転手の服装は長距離バス以外は各自まちまちで手袋も帽子もネクタイもつけていないのが殆んどである。中型バスの中には正装をつけているものもある。

タクシーは、個人タクシー、会社、個人数台をもって運転手を雇っているのがあるが、明示されて

おらず、車内にも運転手等の名は明示されていない。従って、車内でものを紛失したら現われることはまずないので注意を要す。

### 3. レミス(ハイヤー)及びレンタカー

これは会社がはっきりしているので信用度は高い。但し、Taxiと比較すると料金が割高である。

エセイサ(EZEIZA)空港、アエロバルケ(AERO PARQUE)空港、長距離バス発着所、主要駅等にそれぞれ出先を設けている会社がある。これは地方都市も同様である。行先、又は車を借りる期間によって、キチンと料金が定められている。運転手の服装も清潔で身だしなみが良い。

又親切でもある。荷物を運んでもらったりした以外は別にチップの必要はない。

空港や、長距離バス発着所、主要駅等にドアボーイがいる場合があるので、その場合、若干のチップを払うのが習慣である。だからといってその習慣に従う必要はない。

但しレミスやレンタカーを依頼する場合、ブエノスに順れた知人や関係会社の人に頼むのが、安全である。

### 4. 長距離バス

長距離バスの発着所は、昭和57年9月現在行先或いはバス会社によって、ブエノス市内数ヶ所に分散しているが、近い将来1ヶ所にする計画が、ブエノス市によってすゝめられている。長距離バスは、ゆったりして割合快速である。車内にて飲物等のサービスや、トイレのついているバスもある。又約2時間位ごとに、レストランのあるところで15分位停車、食事時間には30分〜45分位停車する。

#### 1) A.B.L.O.GRAL.URQUIZA... Salta 1491 26-7151

San Francisco, Chilecito, La Rioja (リオハ州都)行

#### 2) Empresa Godoy S.R.L. La Rioja 55 88-0740

Formosa (フオールモーサの州都), Clorinda (パラグワイ国アスンション市の向い), Puerto Pilcomayo, Asuncion (パラグワイ国)行

#### 3) "EL Condor S.A. La Estrella S.A. ... Juan de Garay 1302, Santiago del Estero との角 26-2137

Azul, Olavaria, Gral. Lamadrid, Laprida, Gral. Pringles, Cnel. Suarez, Sierra de Ventana (観光に良い), Tandil (観光に適す、石材が出る), Rauch Juarez Necochea (漁港、日系人が養蜂を行っている), Tres Arroyos, Monte del Hermoso, Pta. Alta (海軍の基地), Bahía Blanca (穀類輸出港 漁港), J. de Los Andes, San Martin de Los Andes (観光地), San Carlos de Bariloche (観光地), Gral. Roca (りんご産地), Villa Regina (りんご産地), Allen, Cipolletti (りんご産地、及び加工地), Neuquen (りんご石油の産地、チャニナル移住地が近くに存在する), El Chocon (大ダムが存在する), San Clemente de Tuyu, Santa Teresita, San Bernard, Lacila, Mar del Plata, Chapadmalal, Miramar (海岸線、温泉地、海水浴、釣、観光地、カジノ等々)

Chascomus (湖があり、ペヘレイが釣れる), Dolores, Maipu, Pilar, Pta. Mogotes 等々行

4) Sudamericanos S.R.L. ... B. de Irigoyen 1370 23-8200

Brasil, Balivia, Chile, Peru, Paraguay, Ecuador, Venezuela

5) Empresa Rojas S.A.C. ... Cangallo 2760 87-9115

S.A. de Giles, C. Areco, Salto, Chacabuco, Rojas; Junin, L.N. Alem, Vedia, Alberdi, Rufino, Laboulaye, J. Daract, Mercedes, San Luis (サン・ルイス州の州都), Encon, San Juan (サン・ファン州の州都), Lincon, Gral. Pinto, Ameghino, Gral. Villegas, Gral. Pico, Realico, Huinca Renanco, V. Huidobro (コルドバ州), Bowen, Gral. Alvear (附近にアンデス移住地存在する), San Rafael (メンドサ州), Ascension, Arribenas, Gral. Arenales, Teodelina, Villa Canas, V. Tuerto (サンタフェ州) 等々行

6) T.A.C. ... B. Mitre と Ecuador の角 89-0664

Gral. Alvear, San Rafael, Mendoza (メンドサ州の州都) ぶどう、桃等の産地

7) Expreso Azul ... Bme. Mitre 3050 86-7103

Rosario (穀物の輸出港), Santa Fe (サンタフェ州の州都)

Parana (エンテレリオ州の州都), Esquina, Goya, Corrientes (コリエンス州の州都), La Paz, Sunchales, Ceres, Gualeguay, Victoria, Diamante, Zarate Brazo Largo (サラテ大橋), Nogoya, Crespo 等々行

8) Empresa Liniers ... Cangallo 2760 87-2568

Lujan (大寺院がある), Suipacha, Chivilcoy, Alberdi, Bragado, 9 de Julio, Carlos Casares, Pehuajo, Carlos Tejedar, Trenque Lauque, 30 de Agosto, Tres Lomas, Ing. Thompson, Salliqueo, Bolivar, Urdampilleta, Pirvano, Daireaux, Bonifacio, Guamini Carhue, Lago Epecuen, Gral. Villegas, Tres Algarrobos, Lobos, Roque Perez, Saladillo, 25 de Mayo, Azul, Tapalque, Gral. Alvear, Sirras Bayas, Olavaria, Gral. Belgrano, Monte, Abbott, Rivera, Santa Rosa (バンバ州の州都), Huanguelen, Gral. Viamonte, 等々行

9) Costera Criolla ... Lima 1563 26-3018

La Plata (ブエノス州の州都), Mar del Plata, Miramar, Necochea, Punta Alta, Bahia Blanca, Santa Teresita San Bernardo, Mar de Ajo, Ayacucho, Tandil, Cordoba (コルドバ州の州都、亜国第2の都市), Villa Carlos Paz, Cosquin, La Falda, La Cumbre, Capilla del Monte (コルドバ州、保養、観光地、湖もあり、釣が出来る) 方面。

- 10) Rio de La Plata S.A. ... La Rioja 30 89-3220  
 La Plata, Magdalena (陸軍の基地), Punta de Indeo, Veronica, Chascomus,  
 Dolores, General Lavalle, San Clemente de Tuyu, Santa Teresita, Las  
 Toninas, Mar del Tuyu, Mar de Ajo, San Bernardo, La Lucila, Gral.  
 Madariaga, Ostende, Villa Gesell
- 11) La Internacional ... La Rioja 55 88-0740  
 Santa Fe, Resistencia (チャコ州の州都), Formosa, Asucion (Paraguay)
- 12) Expreso Singer ... Mitrey Ecuador 89-8168  
 Campana, Gualegaychu, C. de Uruguay, Ubajay, Concordia (柑橘の産地),  
 Curuzu cuatia, CR. Yapeyu (サンマルティン将軍の出生地), La Cruz, Alvear,  
 S. Tome, Virasoro, Apostoles, Posadas (ミシオネス州の州都), Obera  
 (茶の産地), S. Ignacio (古跡あり), J. America (近くに製紙工場), Puerto Rico  
 (近くに、ガルアペー移住地が存在する), Monte Carlo, El Dorado, Esperanza,  
 Wanda (植林地帯で製紙工場がある), Cataratas (大瀑布がありイグアスの滝一観  
 光地), Puerto Iguazu 等々方面行
- 13) La Union ... Sgo. del Estero 1380 26-5163  
 Sgo. del Estero (サンチャゴ・デル・エステロ州都), Rio Hondo (温泉地) 方面行
- 14) Empres Anton ... Salta 1486 27-0915  
 V. Gesell, Pinamar, Ostende, Madareaga 方面行
- 15) Cacorba SAT ... Lima 1485 23-3100  
 Cordoba, Villa Carlos Paz, La Falda 行
- 16) Micro Mar ... Gral. Idornos 964 28-2119  
 Mar del Plata, Miramar, Balcarce (じゃがいもの産地), Loberia
- 17) Chevallier ... Catamarca 41~47 88-0078  
 亜国の主要なところ全般
- 18) Don Otto S.A. ... Lima 1563 26-2915  
 Bahia Blanca, Pto. Madryn (ニッケルの大工場あり、漁港) Trelew, Comodoro  
 Rivadavia (大油田地帯), S.C. Bariloche, Rio Gallegos, Esquel, Pto.  
 Deseado (漁業基地), Las Heras 等々方面
- 19) Expreso Tigre - Iguazu S. R. Bne. Mitre と Ecuador の角 89-6168  
 Apostre, San Jose, Posadas, San Ignacio, J. America, Mante Carlo,  
 El Dorado, Esperanza, Catalatas, Pto. Iguazu 方面行
- 20) Pluna ... AV. Cordoba 461 311-4871  
 Porto Alegre, Camboriu, Sao Paulo, Rio de Janeiro (ブラジル) 方面行

21) Cooperativa El Valle Ltda ... Pavon 1109 Salta の角 23-2771  
 Bahia Blanca, Rio Colorado (コルフォ植民地に近い), Choele Choel, Gral.  
 Roca, Neuquen, S.C. Bariloche, S.M. Los Andes 方面行

22) Manuel Tiend Leon S.A. ... Ecuador 82 89-0661  
 貸切バス

23) Buenos Aires Tur S.R.L ... Lavalle 1444 40-2304  
 貸切バス

- 註① 貸切バスは、以上2社の他にもある。 ④ 大きな荷物は車内に入れることは出来ない。  
 ② バスの切符は予め購入しておくこと。 ⑤ 出発は正確に定時に出る。  
 ③ 荷物の関係もあって、発車10分位まで ⑥ チップ等は必要としない。  
 でにバスの前に行っていること。

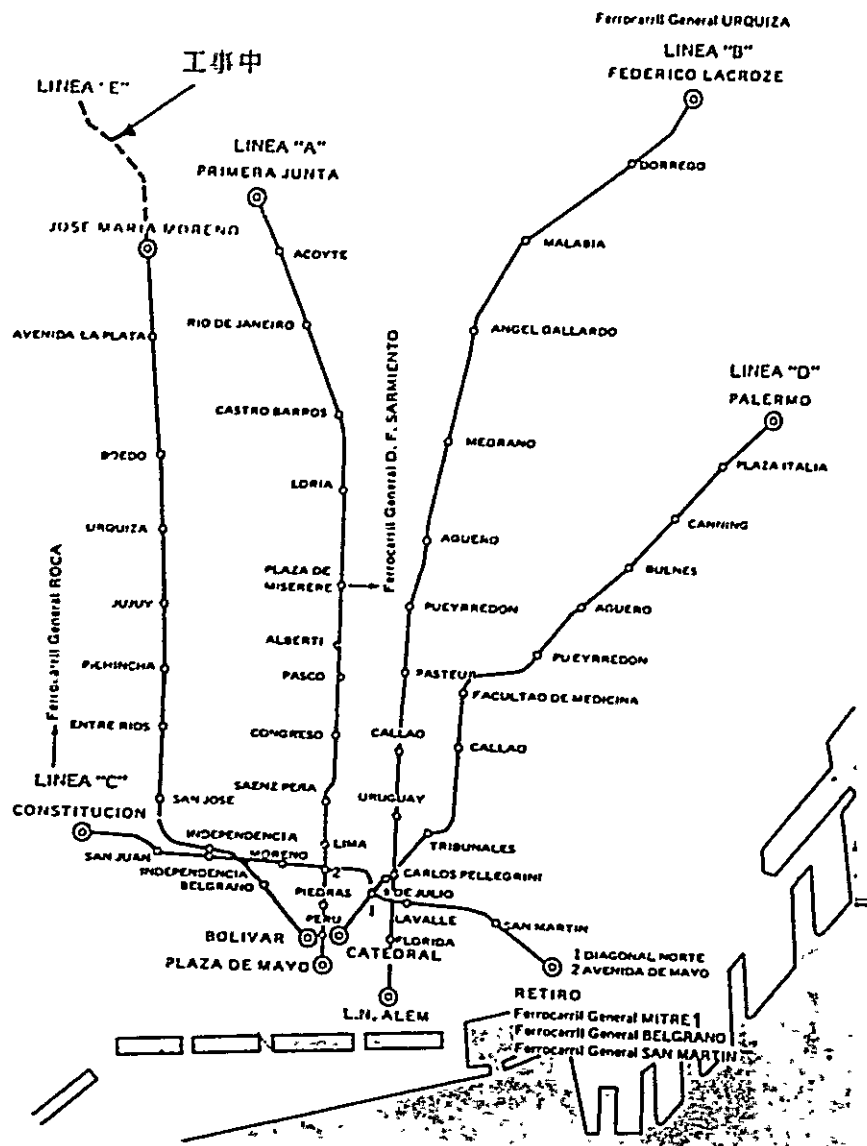
5. 地下鉄

経営：ブエノス市

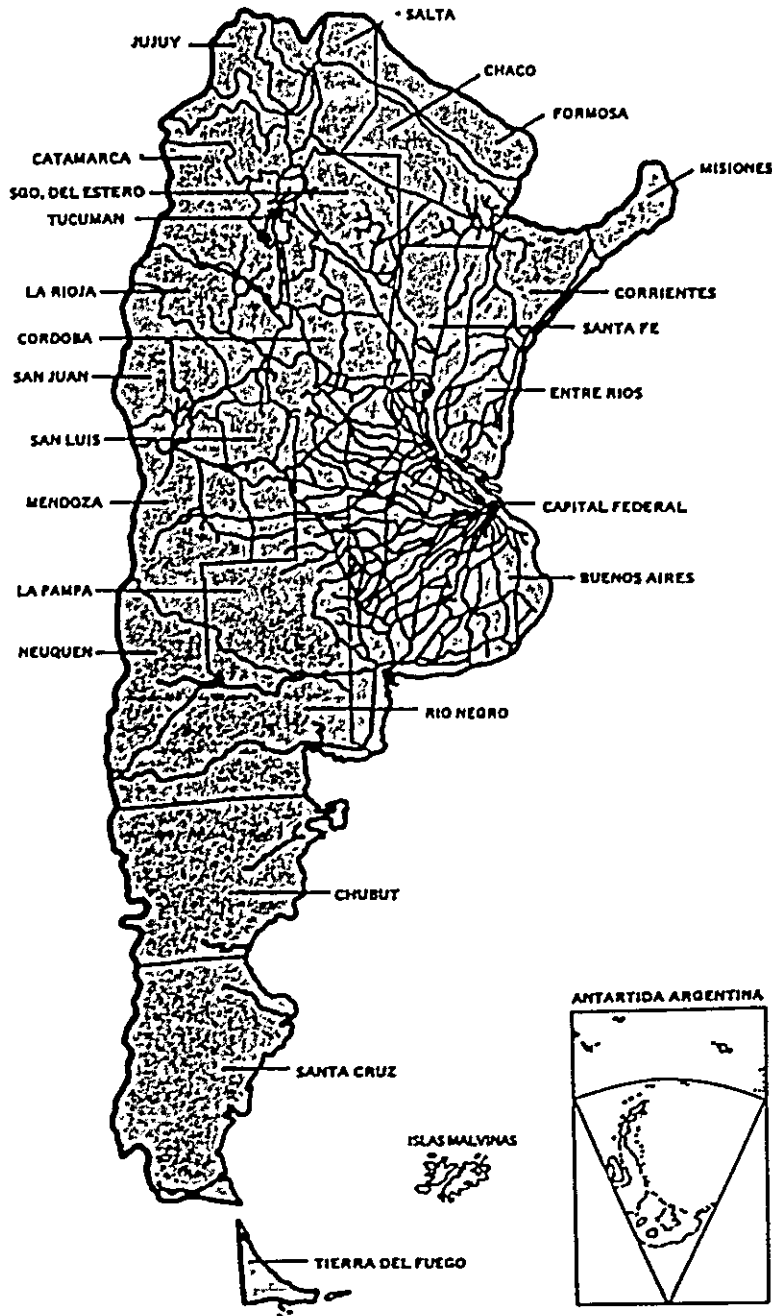
- A線 プリメラ・フンタ～  
 プラサ・デ・マーショ
- B線 フェデリコ・ラクロセ～  
 レアンドロ・N・アレン
- C線 コンスティティション～  
 レティロ
- D線 パレルモ～カテドラル
- E線 ホセ・マリア・モレノ～  
 ポリバル

地下鉄は構内のコイン売場にて、コインを購入そのコインを使用して、プラットホームに入る。乗りかえしても全線コイン1枚で済む。鉄道の主要駅レティロ、コンスティティション、オンセフェデリコ・ラクロセの4つの駅に通じている。又何れも中心街の下を通っているので、願れば極めて便利な交通機関である。掃除もされているので清潔でもある。

RED DE SUBTERRANEOS DE LA CIUDAD DE BUENOS AIRES



## RED NACIONAL DE FERROCARRILES



## 6 鉄 道

1) 経営：垂国政府

2) 全線 34,284 Km

(1979年調)

3) 旅客扱いの主要駅

- ① レティロ駅…コルドバ、サンタ・フェ、ロサリオ方面、ボリビア国行等及び近郊駅が3駅並んでおりそれから発車する汽車はそれぞれ行先が違う。
- ② コンステティション駅…バリロチエ、リオ・ネグロ、ネウケン方面 ラウンソン、パイアブランカ、ネコチェア、マル・デル・プラタ等及び近郊
- ③ オンセ駅…メンドサ、サン・ルイス、チリー国方面及び近郊
- ④ フェデリコ・ラクロセ (FEDERICO LACROZE) 駅…コンコルディア (CONCORDIA)、ポサーダス (POSADAS)、パラグアイ国方面及び近郊

4) 客車の種類：①近郊の場合ウニカ (UNICA) といって

等級がない。②2等車 ③1等車 ④ブルマン (PULMAN) ⑤寝台車 ⑥食堂車

注 A. 寝台車と食堂車を利用する場合、チップを払うのが習慣となっている。

B. 座席は広くとっており、ブルマン寝台車は清潔で乗りどこ地も悪くない。

## 7. フェリー

ブエノス市南ドック港から、ウルグアイ国モンテビデオ市 (首都) 及び、コロニヤ (ウルフアイ国) に1日1回それぞれ出港し入港している。

会社名： Flota Argentina de Navegacion Fluvial Cia. Av. Corrientes 389 32-3546

船名 1) Ciudad de Buenos Aires

2) " de Parana

その他にコロニヤ行の水中翼船がある。

#### 8. 航空機

1) 空港名 : エセイサ空港 ( エスピゴン - ESPIGON ) 国際線詳細省略

2) アエロバルケ空港 ( ホルヘ・ニューベリー - JORGE NEWBERY )

国内線及びボリビア国サンタ・クルス線 パラグアイ国アスンシオン線

ウルグアイ国線 サン・パウロ線

#### 3) 2、の航空機関名

① Aerolineas Argentinas ( アンゼンティン航空 ) 国営

② Austral 民営

③ Linea Aerea de Estado ( L.A.D.E. ) 空軍経営

④ Aerochaco 民営

⑤ Arco 民営

⑥ Pluna ウルグワイ国々営

⑦ Lineas Aerea Privadas Argentina S.A. 民営

#### 4) 行先

① Buenos ~ Montevideo ( Punta del Este — ウルグワイ国 )

( ア航空, Pluna )

② Buenos ~ Asuncion ( パラグアイ国 )

③ " Santa Cruz ( ボリビア国 )

④ " San Paulo ( ブラジル国 )

⑤ " Santiago de Chile ( チリー国 )

② ~ ⑤はアルゼンティン航空のみ

⑥ Buenos ~ Rosario, Santa Fe, Cordoba, Tucuman,

Salta, Concordia, Paso de Los Libre, Iguazu, Posadas, Resistencia,

Corrientes, Formasa, Bahia Blanca, Santa Rosa, Vidma, Trelew.

Neuguen, Bariloche Esquel, Comodoro Rivadania, Rio Gallegos, Rio

Grande, Mar del Plata, Santiago del Estero, La Rioja, Catamarca,

Jujuy, Rio Cuarto, San Rafael, Mendoza, San Juan

⑥は、アルゼンティン航空と Austral.

⑦ Resistencia ~ Formosa, Salta, Tucuman, Mendosa, Santa Fe, Cordoba,

Posadas ~ Iguazu ( Aerochaco )

⑧ Buenos ~ Villa Mercedes ( Austral 航空のみ )

⑨ Buenos ~ Tandil, Necochea, Bahia Blanca, Pehuajo, General Pico,



Junin, Colonia (ウルグワイ国)

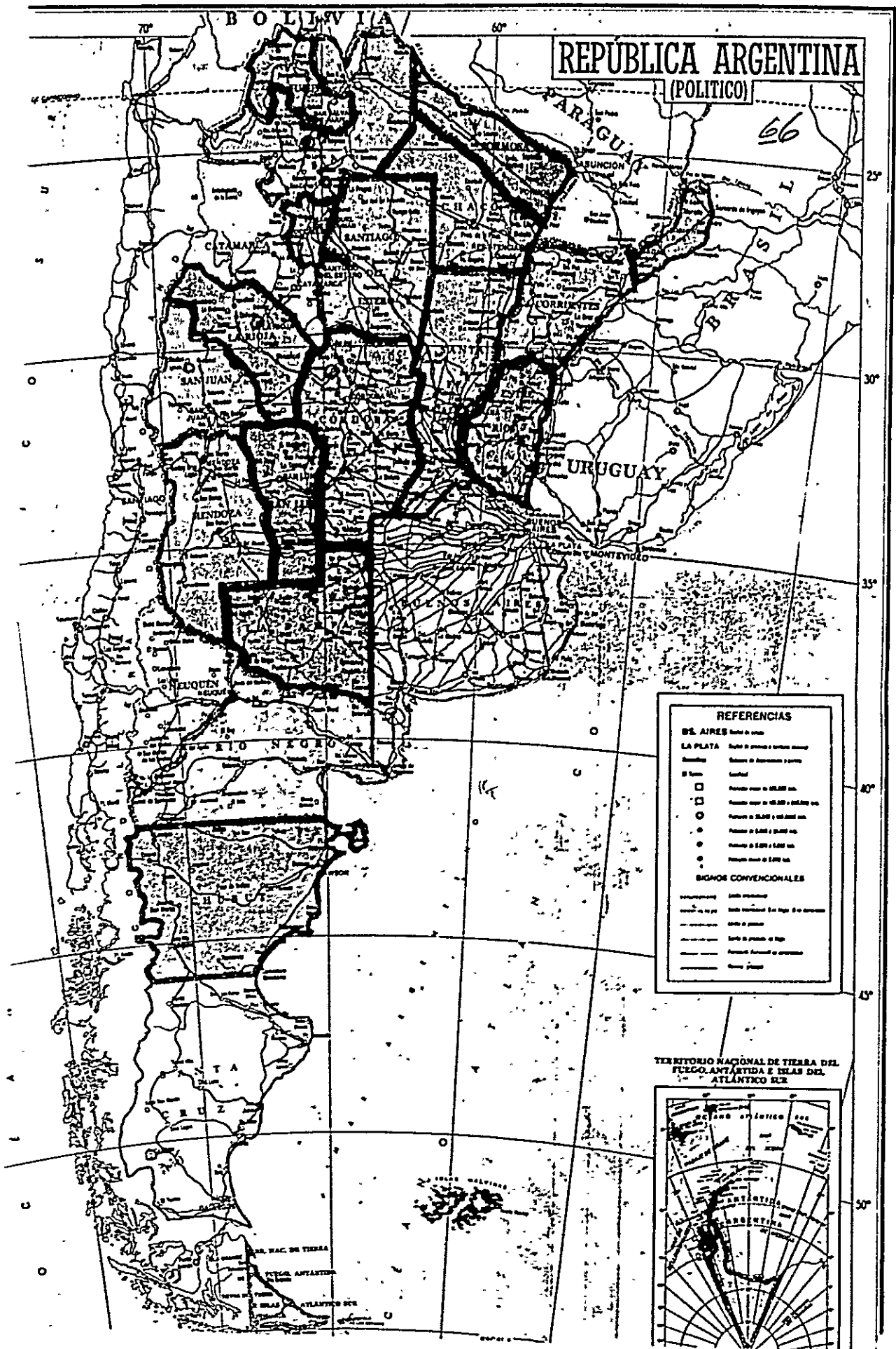
⑩ Buenos ~ La Plata, Mar del Plata, Bahia Blanca, Viedoma, Neuquen, Bariloche, Esquel, Trelew, Comodoro Rivadavia, Puerto Deseado, San Julian, Santa Cruz, Rio Gallego, San Antonio Oeste, Jose de San Martin, Cutral - Co, Zapala, Perito Mareno, Goberador Gregores. Lago Argentina, Rio Grande, Ushuaia, 以上はL.A.D.Eのみ

⑪ Buenas ~ Colonia (ウルグワイ国)

Colonia <sup>バス</sup> Montevideo

以上はArcoのみ

その他、小型飛行機会社、又は個人が、空港内に事務所を出しており、定期便のない所へ、客の注文に応じ、常時、軽飛行機(エタクシー)を飛ばしている。



航空会社 (○印ブエノスまで運航、△未運航)

1. ○アルゼンチン航空 (Aerolineas Argentina)

Peru 22 30-<sup>8551</sup><sub>8559</sub> Paseo Colon 185 30-<sup>2071</sup><sub>2081</sub>

2. ○オウストラル (Austral)

AV. Rogue S. Pena 737 46-7227 Maipu 198 31-6531

3. ○L.A.D.E (Lineas Aereas del Estado) Peru 714 34-<sup>7071</sup><sub>7075</sub>

4. ○Aerocheo Peru 22 30-<sup>8559</sup><sub>8551</sub>

5. ○LAPA (Linea Aerea Privada Arg.S.A.) Lavalle 65 393-<sup>8296</sup><sub>8099</sub>

6. ○Arco Lavalle 465 394-<sup>2629</sup><sub>5829</sub>

1~6 亜国の航空会社

7. ○Aero Peru (ペルー航空) AV.Santa Fe 840 31-<sup>6431</sup><sub>6434</sub>

8. △Aeromexico (メキシコ航空) Av.Roque Saenz Pena 1128 35-<sup>0359</sup><sub>4992</sub>

9. ○Air France (フランス航空) Paraguay 610 32-<sup>7331</sup><sub>7351</sub>

10. ○Avianca (コロンビノ航空) Av.Santa Fe 865 32-<sup>3621</sup><sub>3625</sub>

11. ○British Caledonian (英国航空) Av.Cordoba 650 392-<sup>8043</sup><sub>8051</sub>

12. ○Canadian Pacific (カナダ航空) Av.Cordoba 656 392-<sup>3732</sup><sub>3762</sub>

13. △China Airline (台湾航空) M.T.de Alvear 590 10p 32-<sup>0664</sup><sub>1438</sub>

14. △Linea Aereas de Alvear (イスラエル航空) Maipu 463 3p 392-<sup>6937</sup><sub>7752</sub>

15. ○Ecuatoriano (エクアドール航空) Av.Santa Fe 816 31-3018

16. ○Alitalia (イタリア航空) Suipacha 1111 28p 32-<sup>4080</sup><sub>4089</sub>

17. △Air New Zealand (ニュージーランド航空) M.T.de Alvear 590 10-p 32-<sup>0664</sup><sub>1438</sub>

18. △Cathay Pacific Airway (香港航空) Austria 2568 1p 392-9811  
393-8875

19. ○Eastern (米国航空) Suipacha 1111 23p 32-<sup>3641</sup><sub>3640</sub>

20. ○Iberia (スペイン航空) Av.Roque Saenz Pena 947 35-<sup>2050</sup><sub>2056</sub>

21. ○K.L.M (オランダ航空) Florida 989 31-<sup>8921</sup><sub>8228</sub>

22. △JAL (日本航空) Av.Cordoba 860 392-<sup>7198</sup><sub>7213</sub>

23. △Korean Airlines (韓国航空) Av.Cordoba 669 3-p 32-0399  
31-9237

24. ○Lan Chile (チリー航空) Av.Cordoba 879 31-<sup>5334</sup><sub>5338</sub>

25. ○Lufthansa (西独航空) M.T.de Alvear 636 32-8171

26. ○Linea Aerea Paraguay (パラグアイ航空) Cerrito 1026 393-<sup>0319</sup><sub>1000</sub>

28. ○Lloyd Aereo Boliviano (ボリビア航空) Caclos Pellegrini 137 35-<sup>6961</sup><sub>4697</sub>

29. △Olymic Airway (ギリシャ航空) Alsina 875 35-<sup>6111</sup><sub>3505</sub>

30. ○Pan Am (米国航空) Av.Roque Saenz Pena 832 45-9861

31. △Philippine Airline (フィリッピン航空) M.T.de Alvear 590 10-p 32-<sup>0664</sup><sub>1438</sub>

32. ○Pluna (ウルグアイ航空) Lavalle 528 394-6210

33. △ Royal air Maroc (モロッコ航空) Maipu 812 392-4949  
4806
35. ○ SAA (南アフリカ航空) Av.Santa Fe 790 31-8184  
8185
36. ○ SAS (スカンジナビア航空) Florida 902 32-8161  
8169
37. ○ Swissair (スイス航空) Av.Santa Fe 846 31-8933  
8938
38. △ Air Portugal (ポルトガル航空) Cerrito 1146 42-4209  
4241
39. △ Singapore Airline (シンガポール航空) Av.Belgrano 485 8-p 33-3402  
3230
40. ○ Viasa (ベネズエラ航空) Carlos Pellegrini 1075 31-4192  
6031
41. ○ Varig Cruzeiro (ブラジル航空) Florida 630 35-5431  
5031
42. △ Air Canada (カナダ航空) Esmeralda 983 4p 32-2916
43. △ Airindia (インド航空) Av.Belgrano 485 8p 33-6367
44. △ Alia (ジョルダン航空) Pavon 4080 921-2011
45. △ Ansetta (オーストラリア航空) Reconquista 341 6p 32-9701  
8326
46. △ British Airway (英国航空) Av.Cordoba 657 10p 392-6037  
5031
47. △ CSA(チェコスロバキア航空) Florida 520 6-p 393-9744
48. △ Lanica (ニカラグア航空) M.T.de Alvear 590 10p 32-0664
49. ○ Air Lings Peru 440 7p 34-6753  
6174
50. ○ Aerotransporte Entre Rios Av.Leandro Alem 734 31-5480
51. ○ Copa Cia Panamena de Aveacion S.A Cerrito 1080 41-9167
52. ○ Laker Paraguay 880 8-p 31-0620

## 8. 一般生活関係

### ○ 食 事

1. 飲物として、ミルク、ミルクコーヒー、ミルク紅茶、マテ茶、ジュース類、(トマト、オレンジ等)
2. パン類、フランスパン、普通の食パン、黒パン、トーストパン、クロワッサン、味付パン等それにバター、ジャム、その他に卵の一品料理、野菜サラダ、パンケーキ、果物等々これが、ごく一般家庭の朝食で、マテ茶とパンだけというものもある。

### ○ 昼 食

1. スープ
2. 肉料理 野菜サラダ、ポテトフライ(他じゃがいもを利用したもの)
3. 魚料理 (宗教的關係か金曜日に食するところが多い)
4. めん類及び、小麦粉等を使用したもの

- 1) タジャリーネス(スパゲティ様なめん類)これは習慣かどうか分からないが、木曜日に食べる人が多い。
- 2) ニヨツキ(小麦粉を親指半分位に形良く練り上げたもの。
- 3) ラビオレス(ギョーザの小さいもの)
- 4) エンバナダ(ギョーザの大型のもので油で揚げたもの)
- 5) 太めのマカロニにマヨネーズをあえたもの。

#### ○ 夕 食

一般家庭では、土、日を除く夕食は、昼食に比して比較的簡単なところが多い。サンドウィッチや、クロワッサンと、ミルクコーヒーだけで済ますところもある。

#### ○ 飲 物

食事には飲物がつきものであり、ビーノ(ワイン)の白、黒、炭酸ソーダ、ミネラルウォーター、ビール、清涼飲料水、ジュース等であるが、昔は、ワインと水だけだった由である。

#### ○ 食事の合間

食事の合間にお茶の時間がある。午前は10時位、午後は5時位である。午後の場合は、夕食の時間が、午後8時以降になるので、軽食をとる人が多い。

#### ○ 光熱について

近年電力事情が良くなり、ブエノス市や地方都市は全く問題がなくなった。郊外にはまだ自家発電、ランプのところも存在している。国際協力事業団管轄の移住地は全部電気が通じている。都市ガス事情も年々良好になりつつある。それにプロパンガスも普及しており、石油事情も良好である。

炭や、薪を使用するのは、肉を焼く時が殆どである。ブエノス市内でも、未だプロパンガスを使用しているところがある。

電力は、国営(Agua y Energia Electrica)と半官半民である。Seguba社及びITALO社がある。地方では、州が電力を扱っているところも多く、又電気組合組織で運営されているところも多い。都市ガスは、ガス公社(Gas de Estado)が取扱っている。

#### ○ 上下水道

ブエノス市他地方の都市の水道事情は良好であるが、地方都市及び近郊では水質の悪いところもある。ブエノス市は、上下水道が殆んど完備しているが老朽化もあり、補修工事や新設工事もいたるところで行われている。便所は、地方でも、殆んど水洗化されている。一般の公衆便所は不衛生のところが多い。都市化されていない下水道の場合、家の近くに深い穴を掘り、そこに流すようになっている。

#### ○ 通信について

通信関係は経済省通信庁の管轄にあり、その下部に電話公社等がある。

電話：ブエノス市及び衛星都市の電話普及度は日に日に進んでいるが、それでも、まだまだ絶対数が不足している。現在日本の通信会社が電話器の設置、施設の工事等を行っている。それでも架設を依頼しても、簡単に架設されないのが現状である。従って地方では、まだまだである。

天候事情（殊に降雨等の場合）によっては通じない場合も多い。これは回線の老朽化の修復が遅々として進んでいないことにもよる。公衆電話を使用する場合、電話用のコインが必要である。公衆電話は、レストラン、喫茶店、茶屋等々に備えつけられているので、コインは、その店で購入すれば良い、又近年街の通りに電話ボックスが設置されており、その附近のキオスコ（煙草、菓子、等売っている小さな店）等でコインを売っている。1通話は3分間である。長距離は、公衆電話でかけられない。

国際電話は、自宅の電話か又は電話局でかけられる。その場合国際電話局番（000）に申込む、日本の場合のように直ちには通じないが長くても1時間位で通じる。

郵便：各地区に郵便局があるので、郵便局で出した方が安全である、現在インフレでもあるので、時々郵便料金に変更される。郵便事情は比較的良好であるが、時々事故もあり遅延する場合もある。地方では、郵便局に私書箱をもっている人が多い。

電報、テレックス：国内は、郵便局、国際の場合、郵便局の本局又は指定の郵便局、電々会社、ホテル等で取扱っている。

#### ○ 医 療

病院には、国立、州立、市立と私立があり、公営病院の診察料、入院料（食費も含む）、手術料は殆んど無料である。以前は全く無料であった。従って公営の場合、病院の運営が何れも苦しい状態にある。殆んど現役医師は公営病院にて患者を診ることが義務づけられているが極めて薄給である。但し、他の私立の病院又は自分の医院での収入に対する税金が免除される特典もある。私立病院は施設も良く、名の通っている医師もいるが、料金は高額である。私立の大病院（ホスピタル・エスパニョル、イタリア、ドイツ等々）は会員制をとっており、会費（保険料）を支払っている。

又共済制度も普及している。公務員や大会社には、所属病院があるが、月々保険料を支払っている、又普通の会社員や工員等々各種従業員は、共済制度に加入することが義務づけられている、各種予防注謝等幼年期に義務づけられており、小児マヒ、結核、天然痘、伝染病等々の発生率が極めて少い。救急病院も殆んど完備しているので、事故、急病等に対する対応も極めて良い。

#### ○ 薬 品

各地区（1～3町四方）に薬品店（ファルマシア）が存在する。簡単な薬（アスピリン等々）は医師の処方せんがなくとも売ってくれる。亜国は完全に医薬分業制度をとっているので、病気や、怪我の場合等の薬は医師の処方せんが必要とする場合が多い。薬品の輸入は自由であり無税でもあるので外国製品も多く販売されているが、亜国の製薬会社も秀れており、良い薬品を出している。

又外資系薬品工場も進出している。

#### ○ 国祭日（休日）

1. 1月 1日 正月
2. 3月～4月 復活祭（年により月、日が違ふ、3月21日以後の満月の次の日曜前金曜日）
3. 5月 1日 メーデー（労働祭）
4. 5月25日 革命記念日

5. 6月20日 国旗の日(国旗制定記念日)
6. 7月9日 独立記念日
7. 8月17日 サン・マルティン将軍祭(サン・マルティン逝去の日)
8. 12月8日 マリヤ受胎の日(宗教祭)
9. 12月25日 クリスマス

註 1月1日及び5月1日は、レストランやキオスコ(煙草屋)等も閉めるところが多い。

○ その他の祭日(但し、国に定めている休日ではない。)

1. 1月6日 宗教祭(子供の日)
2. 2月~3月 謝肉祭-カーニバルその年によって月日が異なる。
3. 3月~4月 復活祭前日の木曜日
4. 7月 フェノス市制記念日
5. 8月15日 宗教祭
6. 11月1日~2日 宗教祭(先祖供養の日)
7. その他母の日、父の日等もある。

○ 休 暇

1. 夏季休暇(バカション・デ・ベラノ VACACION DE VERANOと言う)

11月末日~3月末日頃迄の間に、それぞれの権利に応じて休暇をとる。自家営業者も、その時期の間に休暇をとり、店を閉める。全学校も、約3ヶ月近く休校となるが余り宿題もないようである。12月から2月迄の間は、政府高官、軍人等も必ず休暇をとるので、政治革命も休戦となる。官庁(裁判所、病院、警察、各公社、公団等々)銀行、各会社、商業、工業、農業に至るまで、それぞれに応じて休暇をとるので年間のうちで、この期間は、仕事が思うように進めることが出来ない。階級の如何にかかわらず、必ず休暇をとるので、普段の家庭生活を節約しても、この休暇の為に、資金を用意するのが習慣でもある。10数年前は、この他に、カーニバルを盛大にやる為前以って準備していた時もあった。クリスマスの日には休暇期にも入っており、家族のみにて、その日を祝い外部へ出たり、又派手に祝うようなことはしない。又クリスマスの贈りものの習慣も一般家庭では見受けることが少ない。

2. 冬季休暇(バカション・デ・インビエルノ VACACION DE INVIERNO)

主として学生の休暇であり、7月9日以降の2週間位である。この間学校は休校であり、地方旅行に出かける学生が多い。子供と同行して旅行をする為、休暇をとる親もいる。

○ 休日の伴う国祭日及び準国祭日以外の亜国の主なお祭り

月 日	内 容	場 所
1-23~31	漁 夫 の 祭	Mar del Plata (ブエノス、州)
1-日付なし	フ ェ ル ク ロ ー レ	Carmen de Areco ( " )
1- "	桃 祭	Mercedes ( " )
1- "	フ ェ ル ク ロ ー レ	Cosquin (コルドバ州)

1	自動車競争世界選手権	ブエノス・アイレス市
1	茶 祭	Campo Viera ( ミシオネス州 )
2-3~11	セメント祭	Olavaria ( ブエノス州 )
2-19	たばこ祭	Goya ( コリエンテス州 )
2-22	南大西洋祭	全 国
2-25	サンマルティン将軍誕生	全 国
2-日付なし	オリーブ祭	Cruz del Eje ( コルドバ州 )
2- "	タ ン ゴ	La Falda ( " )
2- "	謝肉祭セレナータ	La Rioja ( ラ・リオハ州 )
2- "	く る み 祭	Famatina ( " " )
2- "	小 麦 祭	Leones ( コルドバ州 )
2月~3月(日付なし)	謝 肉 祭	全国及びコリエンテス市及び州が有名である。
3月~4月	児童国際映画祭	La Plata ( ブエノス州 )
3月の最終土曜日	ひまわり草祭	Carlos Casares ( ブエノス州 )
4月の第3曜日	にん にく 祭	Medano ( ブエノス州 )
" "	ソルガム(もろこし)	Freyre ( コルドバ )
5-12~21	国際機器類展示	バレルモ公園(ブエノス市)
5-17	軍 人 の 日	全 国
5-24	オリーブ祭	Aimogasta ( ラ・リオハ州 )
5-日付なし	鉱 物 の 日	Jujuy ( フファイ州 )
7-31	製 鉄 祭	全 国
7-日付なし	農 牧 展	バレルモ公園(ブエノス市)
7- "	オ レ ン ジ 祭	Bella Vista ( コリエンテス州 )
7- "	ポ ン チ ョ 祭	Catamarca ( カタマルカ州 )
7- "	パ ナ ナ 祭	Clorinda ( フォルモサ州 )
7-	国際フロ-クロ-レ祭	Tartagal ( サンタ・フェ州 )
8-日付なし	ドロード(河魚)祭	Paso de la Patria ( コリエンテス州 )
9- 2	工 業 の 日	全 国
9-21	学 生 の 日	全 国
9-27	観 光 の 日	全 国
9-29	油 桐 祭	El dorado ( ミシオネス州 )
9-日付なし	競馬(グランプリ)	San Ishidro ( ブエノス州 )
9-日付なし	牧 畜 展	Rufino ( サンタ・フェ州 )
9- "	国際おもちゃ展	バレルモ公園 ( ブエノス市 )
9- "	ガラス工業祭	Berazategui ( ブエノス州 )



9 - #	セブー祭(牛)	Curuzu Cuatia (コリエンテス州)
10 - 1	スキー祭	Esquel (チュブ州)
10 - 1 ~ 9	木材家具装飾展示	Rosario (サンタ・フェ州)
10 - 5	道路の日	全国
10 - 7	航空工業の日	全国
10月	第1土曜日から 第2日曜日まで 花祭り	Escobar (ブエノス州)
10月	日付なし ビール祭	Villa gral. Belgrano (コルドバ州)
10月	日付なし 競馬(グランプリ)	パレルモ公園 - (ブエノス市)
10月	# 工業展	# #
10月	# 太陽祭(農牧展)	Sanf Suan (サン・ファン州)
10月	# テニス選手権	ブエノス市
10月	# ブエノス、アイレス市週間	ブエノス市
11月	# コルピナ(魚)祭	S. C. del Tuyu (ブエノス州)
11月	# 国際競馬(グランプリ)	San Ishidro ( # )
11月	# 釣	Parque N. Los Alerces (チュブ州)
11月	# 羊毛祭	Concordia (エントレ・リオス州)
12 - 2	マيس(メイス)祭	Chacabuco (ブエノス市)
12 - 11	タンゴの日 (カルロス、ガルドルの死去の日)	ブエノス市
12 - 日付なし	柑橋の日	Concordia (エントレ・リオス州)

その他メンドサ市で3月(日付なし)におけるぶどう祭(ベンデミヤ)11月(日付なし)

Bariloche(リオ・ネグロ州)で行われる。まず、鮭釣りの国際大会、11月(日付なし)ブエノス市で行われるポーロ、テニス国際大会、ゴルフ選手権大会等も有名である。又、いちご、マテ茶、鶏等のお祭りが各地方で行われる。

## 9. 亜国小史 亜国統計資料在アルゼンチン日 系人録(らぶらた報知)抜すい

1. 1516年スペインの探検家 Juan diaz de Solis によって、ラ・プラタ河、マルティン・ガルシア島(探検隊員の名前、死亡した為その島に埋葬された)が発見された。ソリスはその島の土人によって殺害された。

1492年にコロンブスによって、米国大陸が発見され、欧州全体に、世界探検の熱が高まっていた時代であった。

2. ポルトガル人であるエルナンド・マガジャネスはスペイン王に仕えており王の命により、ソリスの後を引継いで南アメリカ（南米）に向い、ウルグアイ（首都モンテビデオ）を発見右に亜国大陸をのぞみながら、南下、火の島（亜国大陸最南端に位置する）を発見、南端の海峡を通り太平洋に出た。その海峡がマゼラン海峡と言われる、マガジャネスはその以後太平洋を航海、現在のフィリピンに上陸その地において土人の為に殺された。
3. 1526年セバステアン・カボットは、ソリス河（ラブラタ河を当時ソリス河と言っていた）探検の為に来航、その際原住民（土人）から銀の細工物等もらい受けこゝには銀が豊富に産出されるものと思ひソリス河をラブラタ河（銀河）と命名したと言われる。カボットは更にラ・プラタ河をさかのぼり上流の地点に初めての植民地（Fuerte de Sancti Spiritus と命名）を建設したが1529年土人によって破壊された。
4. 1536年1月末頃当時スペイン王の皇太子の親友であったペドロ・メンドサは14隻の船隊と1500人の探検隊員及び船員を引連れて現在のブエノスアイレス市に上陸、1536年2月2日サンタ・マリア・デ・ブエン・アイレ（航海の女神と言われる）と命名し、居住区を建設した。メンドサの部下であるファン・アヨラは探検隊の1部を引連れパラナ河をさかのぼり、土人と戦いながら上流地に植民地を建設Corpus Christi と命名、更にパラナ河の両側を探検しながらさかのぼっていった。探検を一応終えて本隊に帰航中、土人の為に多数の部下と共に殺害された。
5. アヨラの1隊が期限を過ぎても本隊に戻って来ない為、ファン・デ・サラサルは多くの隊員と共にパラナ河をさかのぼり、現在のパラグワイ国の首都アスンシオンに上陸、土人の襲撃に備える為に周囲に防壁を築き居住区を建設1537年8月15日N.S.D.アスンシオンと命名した。
6. サラサルの部下の1人であった、ファン・デ・ガライは、探検隊員の1部と部下（殆んどが、スペイン人と原住民の間に出来た者でクリオージョと称する）と共に、アスンシオンから下航、現在のサンタ・フェ市を建設した。その後66名（殆んどクリオージョ）の部下と共に牛、馬を引連れ河を渡ったり陸路を経て、ブエノスに到着した。44年前メンドサによって建設されたブエノス市は殆んど隊員が、アスンシオンに行った為全く荒廃していた。ガライはブエノスに防壁を築き、前面16丁（1丁100m）奥行9丁の市街を建設1580年6月11日ラ・サンティシマイ・プエルト・デ・サンタ・マリヤ・デ・ブエノス・アイレスと命名した。
7. 1583年パラナ河を更に探検中のガライは休息のところを、土人の襲撃によって殺害された。当時の土人は、アラウカーノ族といって頭も良く、どう猛でもあった。又その他に、アイマラ族、ケチュア族、グワラニー族系統のインディオ族も多かった。
8. ガライが殺害される迄の間
  - 1553年7月15日 フランシスコ・デ・アギレによりサンチャゴ・デル・エステロ市の建設
  - 1561年3月2日 ペドロ・デル・カスティジョによるメンドサ市
  - 1565年5月31日 ディエゴ・デル・ピジャーロエルによるトクマン市

- 1573年7月6日 ジェロニモ・ルイス・デ・カブレラによるコルドバ市
- 1573年11月15日 前記ガライによるサンタ・フェ市
- 1580年6月11日 同じくガライによるブエノス・アイレス市
- 1582年4月16日 エルナンド・デ・レルマによるサルタ市等が建設された

#### 9. ガライの死後

- 1588年 エルナンド・アリアス・デ・サアベドゥラによってコリエンテス市が建設された。  
サアベドゥラは、クリオージョとして、アスンオンにて出生、原住民、クリオージョと土地を愛し正義感が強く頭も良く進歩的であった。原住民は彼を敬慕し、よく服従した。その原住民に対し、武力を以って屈服させるよりも宗教によって従わせるのが良いと悟り、スペインからカトリックの神父を導入ヘスイタ神父の建設した教区は48区原住民約10万人を越え、寺院、建築物、彫刻、音楽、織物、教育、印刷技術、活字の製作等々が興隆していった。又当時の行政等は、アスンオンにおいてとられていたが、サアベドゥラは1617年スペイン王の許可をとりつけ、パラグアイとリオ・デ・ラ・プラタ（現在の亜国）と行政を2分し、リオ・デ・ラ・プラタの州知事となった。
- 1634年 サアベドゥラはサンタ・フェにて死去
- 1613年 神父であるフェルナンド・デ・テレホとサナブリヤによって、コルドバ大学が創設された。
- 1700年 神父の手によって当時では革新的な印刷機が製作された
- 1725年～1751年にブエノス市に市議会の建物が建設された。この間有史的な事実が少いのは、スペインから入れた牛や馬が繁殖又自然に恵まれ、スペイン人もクリオージョや原住民も平和に暮らしていたのではないかと思われる。
- 1754年 スペインとポルトガル連合軍とグアラニー族との間に戦いが行われ（グアラニー戦争と言われる）1756年グアラニー族敗北。
- 1767年 グアラニー族を指導していたヘスイタの神父に対し、スペイン国王よりの追放令が発せられた。神父達は、ある者は処刑され、牢獄に入られたりし、教区より完全に追放され、当時神父達によって築かれた文化等も、グアラニー族と共に四散した。
- 1770年6月3日 マヌエル・ベルグラノー将軍の誕生。
- 1778年2月25日 ホセ・デ・サン・マルティン将軍の誕生。
- 1782年 フランシスコ・デ・ピエドマ パタゴニア地方の大西洋海岸を探検。
- 1801年4月1日 ブエノス市において、「エル・テレグラフ・デ・メルカンティル」という新聞が発行された内容は、商業、農牧、政治、経済、歴史、社会一般等々、創設者はフランシスコ・アントニオ・カベジョ及びメサ。
- 1806年6月25日 英国は、亜国のスペイン植民地征服の目的を以って、ベレスフォードを司令官とし、1600の将兵を以って現ブエノス市の近郊であるキルメスの河岸に上陸、当時のスペイン総督であったソブレモンテは部下と共にコルドバに逃げた。英国は、ブエノ

スに兵をすゝめ現在の5月広場(ブラサ・デ・マージョ)を占拠した。S.D.リニエルス(フランス人)は、4000人のクリオージョ軍を以って北方よりブエノス市に兵をすゝめた。現在の9月11日広場(ブラサ・オンセ・デ・セプティンブレ)に集結、(5月広場と9月11日広場の距離約2.8Km位)一挙に英国軍に攻撃ベレスフォードは無条件で降伏モンテビデオに退却。

- 1807年6月28日 一旦退却した英国軍は、英本国から、ホワイト・ロック將軍を司令官とした援軍1万2千人と合流、現在のラ・プラタ市(ブ州々都)の近郊、エンセナーダに上陸クリオージョである。レヒオン・デ・パトリシオスは、再度の英国軍の侵入に備え8000人のクリオージョ(ブエノス市民)をもって組織訓練してきた。ブエノス市に進撃してきた英国軍を再び5月広場で激戦の末敗北降伏せしめた。
- この時代本国のスペインでは、フランスのナポレオン軍に征服され、ナポレオンの兄ジョセフがスペインの王位につき統治を行った。スペインによって創設された南米、中米等の植民地では、新王に服することを拒否する傾向が生じた。又王位がスペインに返還され、フェルナンドが王位に復帰してからも、それに服従することを好まず独立の機運が高まってきた。北アメリカ合衆国の独立、フランス革命等も大なる刺激となり、益々独立の意気が昂揚していった。
- 1807年8月4日 4000人の市民は、ブエノス市議会の広場(5月広場に存在、現在博物館)に集り、逃亡しているソブレモンテ総督を罷免決議を行ひ、市議会解放を宣言した。  
新たに、リニエルスが市民によって総督に任命決議された。
- 1809年7月30日 スペイン王から新たに総督として任命されたシスネロがブエノスに到着、その為リニエルスは総督を辞任した。
- 1810年2月1日 \*ブエノス商業郵便“(Correo de Comercio de Buenos Aires)がブエノス市において発刊された。(編集人マヌエル・ベルグラノー)
- 1810年5月25日 ブエノスの市民は、雨降るなかを5月広場の市議会建物の前に集合その時のリーダーはフレンチとベルティの2人の青年であった。大衆のスペイン総督辞任の要求は固い決意と団結によるものであった。スペイン人による議会のメンバーは、全く市民の支持を失ったものと悟り、シスネロの総督を辞めさせる旨を発表した。この日を5月25日革命記念日としている。ベルティは前以って準備していた市議会の第1回議員名簿を旧市議会メンバーに提出した。行政府(革命党)は下記の組織とした(プリメラ・フンタ)。

議	長		C. サアベドラ
書	記	第1	M. モレノ
	"	第2	J. J. パソ
委	員		ベルグラノー
			J. J. カステリ
			M. D. アスクエナガ
			M. アルベルデイ(神父)

D. マテウ (スペイン人)

J. ラレア (スペイン人)

- 1810年6月7日 マリアノ・モレノにより革命党の機関紙が発行された。
- 1810年9月7日 図書館の充実をはかる。現在の国立図書館の前身である。
- 1810年 プリメラ・フンタは革命軍を組織し、国内の安定とスペイン王党軍掃蕩を期し、パラグアイ、ボリビアに進撃させた。英国軍を壊滅させた指揮者のリニエルスは当時コルドバの州統領となっていた。リニエルスは、スペイン王党に荷担しており、革命軍の進撃を阻止する為迎撃したが敗北、革命軍の捕虜となり銃殺された。
- 1810年11月7日 アントニオ・ゴンザレス・バルカルセ將軍を司令官とした革命軍、(ボリビア向けの遠征軍)は、スイパッチャにて王党軍と戦いこれを撃破し、更に進撃し、1811年6月20日ボリビアにて王党軍の為に敗北をし、トゥクマンに退却した。
- 1810年12月9日 一方パラグアイ向け遠征軍の司令官は、マヌエル・ベルグラノー將軍であった。將軍は1000名の將兵を率い、カンピチュエロにて王党軍と遭遇これに勝利を得て、アスンシオンに向った。途中パラグアイの総督ベラスコの軍隊(6000名の將兵)と戦ったが、敗北シタクアリー河まで退却、そこでも王党軍によって打ち破られたが、政治的に休戦協定を締結した、この協定を協議中パラグアイ出身のカバニヤス將軍に、ベルグラノー將軍は革命の意義を説得、これが効を奏し、1811年5月15日ベラスコは総督を辞めさせられパラグアイは独立をした。
- 1810年12月18日 革命府を大きく組織替え行った。
- 1811年3月2日 サン・ニコラスにて、革命軍と王党軍が初めての船による河戦が行われたが、勝敗は不詳。
- 1810年から1811年は戦にあけくれ、しかも敗戦という痛手もあって、荒廃にひんする状態となった。
- 1811年9月23日 荒廃の危機に対し、民衆は革命府の行政に改善を要求、政府はその要請にこたえ、3名の執政官により3頭政治を行う改革をした。執政官にはJ. J. パツ、F. チクラナ、M. D. サラテアがその任についた。
- 1812年2月27日 ベルグラノー將軍は、ロサリオに砲壘を築き、青色と白色による旗をかゝげ、自由の象徴とした(現在の亜国々旗である)。
- 1812年3月9日 スペインに留学していた、ホセ・デ・サン・マルティン、カルロス・デ・アルベアール、マテイアス・サビオラが亜国に戻ってきた。彼等はスペインにおいて亜国が、スペインの行政から解放されたことを知った。サン・マルティンは政府から騎兵隊の創設を委され、その組織、訓練を行うことゝなった。隊員を厳選最強の軍隊にすべく計画をすゝめていった。
- 1812年9月24日 ベルグラノー將軍の率いる1800人の將兵と、王党軍3000將兵がトゥクマンにおいて戦い、これを駆逐更に退却する王党軍を1813年2月20日サルタに

追い詰め、スペインの司令官であるトリスタン将軍は降伏捕虜2000名と多くの武器弾薬等をろ獲した。

- 1812年10月8日 3頭政治の不手際に、サン・マルティンと同航し、亜国に戻ったアルベアルとモンテ・ネグロは民衆を動員政府に対する反乱を起こした。サン・マルティンはこれを支持し、騎兵隊を率い行政府に進撃、3人の執政官の辞任を要求、執政官は辞任した。
- 1813年1月31日 第2次執政官として、J.J.パン(再任)R.ペーニャ、アルバレス・フンテの3名が就任、民衆代表者会議を召集し、その議長として、アルベアルが就任した。  
この会議において、次のことが決議された。

1. 奴隷の廃止、黒人の売買の禁止、これはスペイン政府が亜国に将兵や技術者を派遣するにあたって、奴隷を派遣者の身分に従って与えたものである。従って奴隷に対し比較的寛大であり、黒人の祭日や休祭日には自由にさせていた。タンゴの発生も、オリジナルは黒人の音楽と言われ、カンドンベからタンゴにアレンジされたものとも言われている。

1813年1月31日以降生れの黒人の自由を認めた。ただ現在亜国に黒人(又は黒人系統)が住んでいないのは、その後黒人特有の伝染病にて死亡したり、或いは気候に合わなかった為か、自由解放ということもあって、ブラジル方面に移動していったものと思われる。

2. 貴族等身分の尊称を廃止。
  3. 外国人の出入国を認め、商行為の自由を認める。
  4. 5月25日を国祭日とする。
  5. 国章と国歌を制定する。
  6. 貨幣の王像を除き、議会の印章にかえる(亜国の初めての貨幣である)
- 1813年2月3日 王党軍は11隻の艦隊を以ってパラナ河を北上250人の将兵を、サン・ロレンソに上陸、こゝで待ちうけていたサン・マルティン指揮の騎兵隊120人と合戦これを撃退した。この戦の時、サン・マルティンは危く戦死するところであったが、部下のファン・バウティスタ・カブラル軍曹が、敵の槍の身代りとなった為あやうく命が助かった。

現在カンボ・デ・マージョ(亜国陸軍要地)の中にある。下士官学校のサルヘト・カブラルは、その名を命名したものである(且って海上自衛隊員の大歓迎会が行われた会場でもある)

以上をみると、当時のスペインは、同じスペイン人の子である革命党軍(最も大半はクリオージョではあったが)何とか駆逐して、スペインの植民地に復帰させるべく、力を入れていたように感じられる。

- 1813年5月11日 初めて亜国々歌が制定された(現在の国歌である)
- 1813年5月13日 国歌について、国の紋章が制定された。(現在の国章である)

国章は、太陽と、月桂樹、帽子を支える2つの手の握手、太陽は新生、月桂樹は栄光、握手は団結、帽子は自由と共和を表わすという。

- 1814年~1815年 ヘルバンオ・A・ボサーダスが亜国初めての最高執政官に任命される。
- 1815年1月10日 カルロス・アルベアル新たに最高執政官に任ぜられる。

従って、ボサードスは、何等かの理由によって

- 1815年1月16日 1813年1月の民衆代表者会議を閉鎖。
- 1815年7月29日 プエルレドン将軍が最高執政官に任命される。
- 1815年8月1日 サン・マルティン将軍が、アンデス遠征軍の総司令官に任命される。  
サン・マルティン将軍は、コルドバにおいて静養中であつたが、王党軍を掃討する為にはペルーのリマにあるスペイン総督府を壊滅させねばと考えていた。その為、メンドサのブルメリジョにおいて、強固な軍隊を組織し訓練した。又リマに進撃する為には、アンデス山脈を越え、チリーに入り、海陸両用で、リマを攻撃する計画をたてた。メンドーサ、サン・ファン、サン・ルイス方面の住民も軍需物資提供等大いにこれに協力した。
- 1816年7月9日 これまで、各地方にて自治制が強く、統一されていなかつた。亜国においては、原住民（インディオ特にアラウカーノ族）の抵抗があつたが、この時点で、王党軍も一応平定されていた為、連邦統一の機運にあつた。その機運のなかで、トウクマン議会の要請によって、各地方の代表者が、1816年3月24日 トウクマンにて合流し、連邦制が討議された。  
1816年7月9日 サン・ファン出身のフランソスコ・ナルシソ・デ・ラブリダが議長に選ばれ、（当時30才の若さ）副議長にマリアノ・ホエド（サルタ出身34才）書記長には、ファン・ホセ・バツ（ブエノス・アイレス58才）によって、リオ・デ・ラ・プラタ連邦国として、独立を内外に宣言した。現在この日は、国際日となっている。
- 1816年7月15日 コルドバにおいて、サン・マルティン将軍は、最高執政官のプエルレドン将軍と会見、リマの王党軍掃討の了解と支援をとりつけた。当時北方において、クリオージョ出身のマルティン・グエメスを指揮者として、王党軍の防衛にあたっており、亜国の東南に対する侵入を防いでいた。
- 1817年1月17日 1月は夏であり、山脈越えには絶好の機会であつた。この時期を利用し、サン・マルティン将軍は、4000人の将兵と、1500人の市民兵を率い、これを3隊に分け進軍した。この3隊の司令官は、ラス・エラス、チリ出身のオヒギンス・ソレルであつた。
- 1817年2月12日 アンデス山脈越えをした。サン・マルティン軍は、チャカブコにおいて王党軍と遭遇、これを撃破し、14日にサンチャゴ（現在のチリー国の首都）に兵をすゝめた。サンチャゴにおいて、チリーの最高執政官として、サン・マルティン将軍が推薦されたが、これを断り、オヒギンス将軍を推し、オヒギンスが初代最高執政官として就任。こゝで約1年軍を整備、更に強固なものとした。
- 1818年4月5日 マイブーに陣をとっていた王党軍を撃破し、チリーから王党軍を追放した。
- 1818年6月9日 リオ・デ・ラ・プラタ連邦国内ではロンドウが新に最高執政官に任命された。
- 1819年4月22日 連邦制による憲法が制定された。

- 1820年2月1日 連邦主義のロンドウ最高執政官の軍と地方分権主義者（フェデラル派）の軍と衝突。
- 1820年8月 亜国軍とチリー軍は、バルパライソ港を艦隊を編成、出発。
- 1820年9月8日 ベルーのビスコの近くに上陸、王党軍と戦い、約1ヶ年近くの戦いを経て、遂にこれを屈服せしめ、1821年7月9日リマに兵を進めた。同年7月28日ベルーの独立を内外に宣言、サン・マルティンは、国父として推戴された。この間亜国においては。
- 1820年6月20日 ベルグラノー将軍が死去した。現在この日を国旗制定記念日としている。
- 1821年8月12日 ブエノス・アイレス大学創設。
- 1822年7月26日 北方の革命軍の英雄、シモン・ボリーバル将軍と、サン・マルティン将軍は、クワジャキルにて会見、会見の内容は発表されておらず、未だに種々憶測がなされている。
- 1822年9月20日 サン・マルティン将軍は、ベルー議会を召集、一切の要職を辞任、同日リマを出発ヨーロッパに向った。亜国では、サン・マルティン将軍を受入れようとはしなかった。約5ヶ年、亜国を留守にしていたことは、当時の状況としては、止むを得なかったものであろうか？
- 1826年1月3日 ブラジル軍（ポルトガル系人）は、ウルグワイ国と亜国に宣戦を布告した。亜、ウ両軍は1826年2月20日イトウサインコにて、ブラジル軍を迎撃、退去せしめた。
- 1826年2月7日 国会において、初代亜国大統領として、ベルナルディノ・リバダビアが任命された。（ブラジルとの戦争の最中である）
- 1826年6月 ブラジル艦隊と戦争、現在のブエノス州最南端のカルメン・デ・パタコニアと、リオ・ネグロ州の州都ビエドマの間を流れるネグロ河を、さかのぼってきた、ブラジル艦隊を流の干潮を利用し、亜国軍が兩岸より打って出て、全波に近い戦果をあげた。
- 1826年6月26日 ラ・プラタ河口において、ブラジルの艦隊とギジェルモ・ブラウン（アイランド生れ）提督の率いる艦隊との間に激しい戦いが行われ、ブラジル艦隊を撃退、1827年2月9日には、ラプラタ河上流において、ブラジル艦隊を撃退せしめた。ブラウンは1857年3月3日死去。
- 1826年12月24日 国会において「アルゼンティン共和国」の名称を制定した。
- 1827年2月20日 カルロス・M・デ・アルベアル将軍の率いる亜国軍は、イトウサインコにおいて、ブラジル軍と戦い勝利を得た。
- 1827年6月27日 ブラジル軍との戦争において輝かしい勝利を得ていたのであるが、フェデラル派（地方分権主義）の巻き返して、連邦派であるリバダビアは辞任せざるを得なかった。議会は、ピセンテ・ロツベスを臨時大統領に任命された。その後、連邦派は政権から逐次追放されていった。



- 1827年8月12日 ブエノス・アイレス州の統領として、フェデラル派である。マヌエル・ドレーゴ大佐が任命された。
- 1828年8月27日 ドレーゴは、ブラジルと平和条約を締結、ウルグアイ国の独立を認めた。
- 1828年12月 ラバジェ將軍（連邦派）はドレーゴに反旗をひるがえした。ドレーゴは逃亡したが、ナバラにおいて捕えられ銃殺された。フェデラル派である。ロサス將軍の軍隊は、ラベジェ將軍の率いる軍隊と交戦、ラバジェは敗北の上逃亡、ピセンテ・ロベスの率いる軍隊も、マルケス橋の戦いに敗れたパスも、コルドバで捕えられてからは、ロサスが率いる、フェデラル派が総ての実権を掌握した。
- この時代は、内外の戦いで民衆は極度困窮の状態に落ち入っていた。特に地方はなお一層ひどかった。これに乗じ、アラウカーノ族は、民衆を攻撃、殺りくしていった。これをマロンと称した。
- 1829年12月8日 ロサス將軍は、ブエノス州統領に就任した。議会は殆んどフェデラル派によって占められていた為、ロサスに極端な権限を与えた。ロサスは思ふ儘に、反対する者、特に連邦派には容赦のない弾圧を加えた。
- 1832年 ロサスの任期が切れ辞任その後バルカルセが就任（フェデラル派）
- 1833年1月3日 英国軍がマルビーナス諸島（フォークランド諸島）を占領
- 1833年3月3日 ロサスは、アラウカーノ族討伐の軍隊を組織、南下し、パンパで縦横に活躍し、大なる戦果を上げた。ロサスは南に遠征中、腹臣に命じ、バルカルセの政権に革命を起こさせた。バルカルセは、フェデラル派であったが穏健で、善政に努力していたが、ロサスの好むところとならなかった。議会は、ファン・ピアモンテをバルカルセの後継者としたが、これも、ロサスの陰謀によって失脚せしめられた。
- 1835年3月7日 ロサスは再び統領に就任し全政権を掌握した。
- 1840年 モンテビデオに逃亡していたラバジェ將軍は、ロサス打倒の為、軍隊を組織、マルティン・ガルシャ島-エントレ・リオス州サンタ・フェを経て、コルドバに入ったが、ケブラッチヨ・エラドでロサスのオリベ將軍の率いる軍に敗れ、トウクマンに逃げのびた。パスも又1841年コリエンテスでロサス打倒軍を組織したが幹部の意見衝突で、その為パスはモンテビデオに亡命せざるを得なかった。この時代の地方の統領は、殆んどロサスに屈服していたが、フアクンド・キロガはロサスに従っていなかった。ロサスは刺客をおくってコルドバのブランカ・ジャコにてキロガを暗殺させた。エテリリオ州の統領であったフスト・ホセ・ウルキッサは、ブラジル軍とコリエンテの軍と連合し5000人の將兵で当時モンテビデオを封鎖していた。ロサスのオリベ軍を攻撃し破った。
- 1851年10月8日 オリベ軍と停戦協定を結ぶウルキッサは、その後エントレ・リオス州に本営を置き、ブラジル軍ウルグアイ軍と連合、約3万人の軍を組織した。ロサスは22万の軍をカセロスにすゝめウルキッサ軍と戦つた。激戦の末ウルキッサ軍は勝利を得た。

ロサスは英国公使館を経て英国に亡命84才で死去した。

- 1852年5月31日 サンニコラス(ブエノス州)に全国の統領を召集、次の協定を行った。
  - ① 国家を連邦制にする。
  - ② 憲法を制定する会議を召集する。
  - ③ ウルキッサを連邦の執制官とする。
- 1853年5月1日 サンタ・フェにてアルゼンティン憲法制定される。
- 1854年3月5日 選挙によって、ウルキッサが新憲法のもと大統領に就任、ウルキッサは、農牧者の振興、教育、商業貿易、鉄道、河川の開発等多くの業績を残した。1860年迄大統領の職にあったが、その後エントレ・リオスに隠せいで1870年暗殺された。
- 1856年8月21日 コリエンテス市において、初めて郵便切手が発行された。
- 1856年9月8日 サンタ・フェ州に国の初めての農業植民地が建設された(ラ・エスペランサ)
- 1857年8月30日 現在のブエノス市内、プラサ・ラバジェからフロresta迄の旅客列車が開通した。
- 1860年9月25日 ウルキッサに代ったデルキ大統領によって、亜国連邦を共和国に名称を変えた。
- 1862年10月12日 ミトレ将軍が大統領に就任。
- 1865年5月3日 バラグアイ軍と、亜国、ブラジル、ウルグアイ軍との間で戦争が始った。この戦争は、約5ケ年間続いたが、バラグアイが敗北した。この為バラグアイの人口が、22万まで激減したと言われる。(又若い男が殆んど戦死したとも言われている)
- 1866年7月10日 亜国農牧協会が発足。
- 1868年10月12日 サルミエント将軍が大統領に就任、サルミエントは教育の父と呼ばれた程、教育に力を入れた。師範学校、陸軍学校、海軍学校、天文台等を創設、又鉄道の開発、艦船の建設等を行った。
- 1869年9月29日 亜国において初めての国勢調査が行われた。全国の人口約200万人、ブエノス市の人口177,789人
- 1869年9月29日 民法が制定された。
- 1870年3月1日 バラグアイとの戦争終結。
- 1870年6月22日 陸軍士官学校開校。
- 1871年10月24日 コルドバに、初めての天文台が建設され展示された。
- 1872年。初めてベルギーに小麦が輸出
  - ホセ・エルナンデスによって、「エル・ガウチヨ、マルティンフィエロ」が著わされ発刊された。今なお有名である。ヨーロッパから移住者導入
- 1872年10月5日 海軍士官学校開校。

- 1874年 大学の充実がはかられた。
- 1874年10月12日 アベジャネタが大統領に就任。
- 1876年 移民法制定。
- 1877年 ベリット・F・モレノによって、ラ・プラタ市に自然博物館が創設された。
- 1877年 初めて、印刷用製紙工場が建設された。
- 1879年 気象台を設置。
- 1879年4月6日 フリオ・ロカ將軍によって、亜国中央部、南部のアラウカーノ族を殆んど平定。
- 1880年9月20日 ブエノス・アイレスを連邦首都として制定。
- 1880年12月12日 ロカ將軍が大統領に就任、ロカ大統領は、鉄道線を延長その為程済が大いに発展した、又チリー国との国境線をアンデス山脈の最頂点とすることをチリーと協定を結ぶ。又電話線の架設、戸籍役場の創設、ブエノス市に54の学校の建設、又ブエノスの市長トルクアト・デ・アルベアルは市の整備を行った。
- 1881年1月 教育審議会設立。
- 1881年12月18日 亜国最南端(テイラ・デル・フェゴ)まで地勢確認された。
- 1882年11月19日 ブエノス・アイレス州の州都として、ラ・プラタ市が制定される。
- 1883年 冷凍冷蔵施設が建設された。
- 1884年6月26日 国令において、義務教育制とし、小中高は無料とした。
- 1886年 英国の商船に乗組んだ牧野金蔵がブエノスに上陸コルドバで永住。
- 1886年10月12日 DR.セルマンが大統領に就任。
- 1890年7月 革命が起きたが鎮圧される。DR.セルマン辞任、副大統領のDR.ペリグリニが昇格。
- 1891年10月16日 国立銀行創設(Banco Nacion Argentina)
- 1892年10月12日 大統領にDR.サンエス・ベニヤ副大統領にDR.ウリブルが就任。
- 1893年 革命が起きたが鎮圧。
- 1894年10月12日 サンエス・ベニヤ辞任、副大統領のウリブルが大統領に昇格。
- 1895年 ブラジルと国境協定(ミシオネス州との境界)
- 1895年7月16日 国立美術館創設。
- 1898年3月15日 国家建設綱領改正。
- 1898年10月12日 再びロカ將軍大統領に就任。
- 1901年 兵役を義務づける法令制定。
- 1902年 駐亜日本公使任命。
- 1903年 日進、春日の軍艦を日本に譲渡。
- 1903年11月6日 ナウエル・アビー(バリローチエ)の国立公園建設に対し、フランシスコ・P.モレノは膨大な自己所有地を提供。

- 1904年 大学の充実。日本との外交を結ぶ。
- 1904年6月11日 アウトモビルクラブ創設。
- 1904年10月12日 正副大統領にDR.キンタナ、DR.フィゲロア・アルコルタが就任
- 1905年カンパーナに石油貯蔵設備創設、駐日亜国公使館開設。
- 1906年3月12日 キンタナ大統領死去、副大統領のフィゲロアが大統領に就任。
- 1906年 鉄道を国有とする。
- 1907年12月13日 コモドロ・リバダビヤに油田設備創設、その拡張をはかる。
- 1908年5月25日 コロン劇場開場。
- 1908年 石油公団(Y.P.F)の拡張。  
1908年 コルドバにセメント工場創設。
- 1910年10月12日 DR.サンエス・ベニヤが大統領に就任。副大統領として、DR.デ・ラ・ブラサ就任、サンエス・ベニヤは選挙法を改正、秘密投票と義務制を施行(1912年)
- 1912年8月9日 航空士官学校開校。
- 1914年8月 サンエス・ベニヤ死去、デ・ラ・ブラサが大統領に昇格。
- 1914年～18年 第1次世界大戦。
- 1916年～22年 サンエス・ベニヤの選挙法が施行され、イポリト・イリゴージェンが大統領に選出され就任。
- 1922年～28年 イリゴージェンの後継者としてDR.アルベアルが大統領に選出され就任。
- 1924年 オリンピック パリ大会に初出場ボロ(金)3段及び及びボクシング。
- 1925年10月5日 ブエノス市において、パン・アメリカン道路建設の国際会議が行われた。この日を亜国の「道路の日」として記念している。
- 1926年 リカルド・ギラルデによって、ドン・セグド・ソンプラが著わされ、発刊された。
- 1927年10月10日 コルドバに軍の航空製作工場が創設される。
- 1928年 H.イリゴージェン再度大統領に就任。
- 1930年9月6日 ウリブル将軍が革命を起し、イリゴージェンを追放、ウリブル将軍が大統領に就任。
- 1932年2月20日 A.P.フスト大統領に就任。(1938年2月任期満了で辞任)
- 1932年 道路法が施行される。
- 1936年 カルロス・サアベドラ・ラマが亜国初めてのノーベル賞(平和賞)を受ける。  
(パラグワイとの戦争終結調停の功による)
- 1938年2月 DR.R.M.オルティス 大統領に就任、DR.カスティージョ副大統領に就任、オルティス重病辞任後、カスティージョ副大統領が昇格。
- 1939年～45年 第二次世界大戦。
- 1943年6月4日 A.ラウソン将軍、P.ラミレス将軍、P.ラミレス将軍、E.フアレ

ル将軍による革命が起る。カスティジョ政権が倒れ、3人の将軍が、それぞれ大統領を歴任。

- 1944年 日独に宣戦を布告。
- 1945年10月11日 フワイに高圧の製鉄所が建設された。
- 1946年6月4日 J.ペロン将軍が、大統領として、DR.キハノが副大統領として選出され、それぞれ就任。ペロン将軍は憲法を改正し、正副大統領の再選を可能ならしめた。
- 1947年 DR.ベルナルド・A・オーウサイが、2人目のノーベル賞(医学部門-生理学)を受ける。
- 1948年 リオ・トルピオ(サン・ルイス州)にて亜国にて初めての石炭産出を開始する。
- 1950年 原子力委員会が設置される。
- 1952年2月 大統領にペロン将軍再選される、副大統領として、A.テイサイレ 提督が就任。
- 1955年9月16日 ロナルディ将軍が、コルドバにおいて革命を起し成功、大統領に就任したが同年辞任、P.E. アランフル将軍大統領として、副大統領にF.ロハス提督が就任。ペロン将軍が発布した憲法を改正1853年憲法を施行。
- 1958年2月3日 DR.A.フロンディンが大統領としてDR.A.ゴメスが副大統領として選出され1958年5月1日にそれぞれ就任。
- 1962年 軍部による革命が起きDR.J.M.ギードが大統領に就任。
- 1963年 再び総選挙によって、DR.イリヤ、DR.ベレッテが正副大統領に選出され就任。
- 1966年6月 オンガニョ将軍によって革命が起され、イリヤ政権は倒壊、オンガニョ将軍が大統領に就任、その後、ラヌーセ将軍により、オンガニョ将軍は追放されラヌーセ将軍が大統領に就任。
- 1969年9月20日 ブエノス州バルカルセに宇宙中継所(ビヤ・サテリテ)が設置された。
- 1970年 DR.ルイス、F.レロイルが亜国3人目のノーベル賞(化学)を受賞。
- 1973年3月25日 総選挙が行われ、DR.E.カンボラが選出され、5月25日大統領に就任。
- ペロン将軍夫妻が、亡命先のスペインより帰亜、その為カンボラ辞任。
- 1973年9月23日 再び総選挙、ペロン将軍が圧倒的な得票を得て、大統領に選出され、大統領に就任した。ペロン将軍は副大統領にペロン夫人を推挙し、決定した。  
就任式は1973年10月12日。
- 1974年7月1日 ペロン将軍死去、それに伴って、ペロン夫人が大統領に昇格。
- 1976年3月24日 ビデラ将軍によって革命が起され、ペロン政権倒壊。
- 1976年3月29日 ビデラ将軍大統領に就任。国の行政は、3軍の長官による軍事評議会によって決定されることになった。

- 1978年 サッカーの世界選手権大会開催国が初の選手権獲得、国民は熱狂。
- 1980年 エスキベルが国4人目のノーベル賞(平和賞)を受賞。
- 1981年3月 ビオラ将軍(陸軍長官)に政権を移譲。
- 1981年12月 ガリティエリ将軍(陸軍長官)によって、ビオラ大統領辞任させられる。  
ガリティエリ将軍大統領に就任。
- 1982年4月2日 マルビーナス諸島(フォークランド諸島)に進攻、英国の総督を追放、  
主権を奪回した。
- 1982年6月14日 英国の猛反撃により、国軍は降伏。
- 1982年6月 ガルティエリ大統領辞任。
- 1982年7月 陸軍部内より推挙され、ビンヨネ将軍大統領に就任。
- 1984年3月 総選挙を行うと言明。

## 10. 国の国花

名前 : セイボ

形 : 高さ 10m~13m位 直径 70cm位 根は浅く、花房状に多く咲き、  
花の房の長さが40cm~60cm位になる。香りばな、花の色は紅色。

制定 : 1942年12月23日 法令によって決定された。



## 11. 街 路 樹

ブエノス・アイレス市をはじめ、地方都市町村のどこに行っても、街路樹が植えてあり、道路のセンターからセンターまで100 mであり、歩道が両側10 mづつとってある。又街道（Ruta）の両側に植林されているところもある。ミンオネス州の北部、メンドサ州の西部、リオ・ネグロ州及びネウケン州 フェゴ島（レンガ—Lengaという自然林）には、自然林が繁茂しているが、他の州では殆んど自然林が見られず植林によるものが大半である。

街路樹には次のようなものがある。

1. ハカランダ（紫の花をつけるものが殆んど）
2. プラタノ（プラタナス）
3. パライソ（構壇）害虫を防ぐと言われる。
4. 柳
5. ユーカリ（防風林にもなる）
6. ポブラ（防風林、かんがい用水路の護岸用、雑材等）

その他、亜熱帯、温帯、寒帯の各都市町村等は、それぞれ独特の街路樹を植えている。

又桑、パロ・ボラチョ、ラバチヨ、アルガ・ローボ、パシヨナリア等もある。

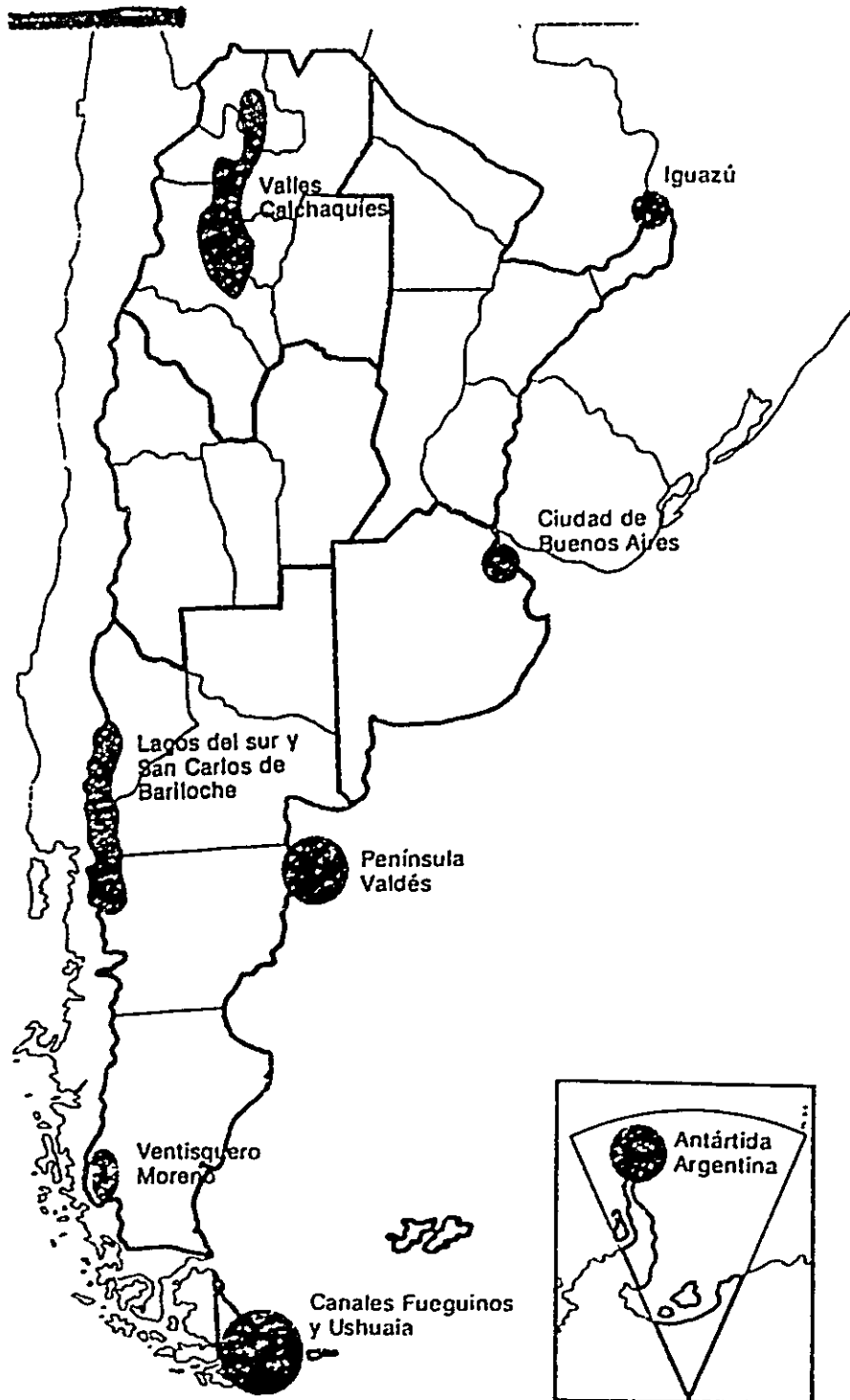
亜国では、草科に属していると言われるオンブーも有名である。

### ◎ 主な観光地

1. Lagos del Sury, San Carlos de Bariloche 1771 Km（ブエノス市から）風光明媚で、南米のスイスと称される。冬はスキーに適する。
2. Valles Calchaques（Salta）山の色彩が幻想的、アイマラ族、ケチュア族も多く、インカの風俗も見られる。
3. Iguazu（Cataratas）……大ばく布、原始林の自然公園（1622 Km）
4. Perito Moreno（Calafate）……大氷河と湖（2750 Km）
5. Peninsula Valdes（Pto・Madryn）……アザラン、オットセイ等海水浴場もある。（1775 Km）
6. Canales Fueguinos（Ushuaia）……レンガという自然林南極に近く、自由港でもある。自然の風景が良い。たらばがにもとれる。（3218 Km）
7. Antartida Argentina（Base Marambio）  
マラムビオ南極基地（4150 Km）

その他、多くの観光地が存在する。1億4千万年前のシダ類の大きな化石のあるところもある。

又、ブエノスから400 Km南に、マル・デル・プラタがあり、避暑地、カジノ（国営とばく場）海水浴場、釣場等がある。





## 12. 日本から亜国へ

1. 亜国への移住又は旅行手続きを終ったらコースを選ぶことになる。亜国へのコースは次のようなものがある。
  - 1) 国際協力事業団が行っている移住者の送出国コース。  
パリグ航空会社による直行便  
成田～ロスアンゼルス(北米)～リオ・デ・ジャネイロ(ブラジル)、ここで、別のパリグ航空機に乗換え、ブエノス・アイレス、エセイサ空港に到着
  - 2) 1)のコースは、成田～ロス・アンジェルズ迄日本航空を利用、ロスにてパリグに乗換える場合もある。
  - 3) 現在毎週1回(将来は2回になる見込み)出ている、日本航空による成田～サンパウロを利用、サンパウロからブエノス迄のコース。
  - 4) 成田～アンカレッジ～ニューヨーク～ブエノス・アイレスのコース。
  - 5) カナダ大平洋航空による、成田～バンクーバー(カナダ)～リマ(ペルー)～サンチャゴ(チリー)～ブエノス・アイレスのコース。
  - 6) その他、ハワイ、サン・フランシスコ経由、マイアミ～パナマ経由等、色々あるが、各航空会社や旅行社に相談されると良い。
2. ブエノス・アイレス、エセイサ空港到着前に機内にて乗務員より渡された入国カードに所要事項を記入しておく。
3. 到着後、航空会社の社員の誘導により最初亜国移民局の移民官による入国審査を受ける。  
移民官に提出する書類は、
  - 1) 移住者の場合、旅券(パスポート)、入国カード、駐日亜国領事から手交された書類(封筒の儘提出)移民官は、それによって、永住(Entrada Permanente)の丸いゴム印を押してくれるのでこれを必ず確認すること。
  - 2) 1時滞在者(3ヶ月以上6ヶ月又は1年間滞在の場合)の場合、1)同様であるが、丸い印には、1時滞在(Temporario)と記されている。
  - 3) 旅行者の場合は旅券と入国カードのみ提出、丸い印には、旅行者(Turista)と記され、3mesと移民官が記入する。これは、日、亜の査証協定によるもので、日本出発前にも、駐日亜国領事の査証取付を必要としない。
  - 4) 航空機乗換える為の通過旅行者の場合航空機出口に待機している航空会社の社員に通過旅行者カード(Transito)を貰い、指定するサロンにて搭乗機を待つことになる。時間がある為、空港ロビー又は空港外に出る場合、3)と同様になる。
  - 5) 検査は現在特定国以外は行われていない。従って注射証明等は必要としない。
4. 移民官の審査が終ると、手荷物及び機内格納の荷物の税関検査が行われます。格納荷物はバゲッジコンベアーに乗せられてくるので、自分の荷物確認し引取る。税関構内にジュラルミン製の

手押車が用意されるのでそれを利用し、検査台に荷物運搬し税関吏に旅券を提出、検査を受ける。

検査台は8台横列となっている。税金がかけられなければ、税関構内出口へ出る。手押車は空港から出るまで利用出来る。出迎え人があれば税関構内出口に待っている。又別送荷物がある場合検査を受ける際、税関吏に口頭申告する。税関はその旨、旅券に記入するので、確認すること。

税金が、かけられた場合、税関吏によって税金の徴集書が作成され、それによって係官に支払うこととなる。構内に国立銀行(Banco Nacion)の出張所があるので、ドルを亜貨(ペソ)に両替し税金を納入することになる。

## 5 通関について

1) 通過旅行者は空港外に出なければ通関の必要はない。

2) 移住者、旅行者は南大西洋紛争により経済的大打撃を受けており、現在それを再建する為、成年者1人につき米貨300ドル以上の物品に対しては、総て課税の対象とされている。未成年者の場合米貨150ドルまで、但し、旅行用具、着替え、自分の使用品(カメラ、タイプライター等々)、無税物品(ウイスキー3本、煙草2カートン、香水等々)等は評価されない。紛争以前は、成年者1人につき米貨1500ドル評価以上のものが課税の対象とされたが、同物品の数が多くなければ、殆んど課税の対象とはならなかった。関税については、しばしば変更されるので、日本出発前予め調査しておいた方が良い。

## 6 空港より到着く先まで

1) 出迎人があれば、出迎人にまかせれば良い、殆んどが車で出迎えに来ている。

2) 出迎人がない場合

① 税関を出て、なぐめ左側突当りに案内所がある。そこでは、ブエノス市内の中型バスの切符を売っており、指示されたバスに乗って、ブエノス市内中心街迄出ることになる。ハイヤーも頼むことが出来る。

② 空港構外にタクシーもある。

③ 又、ブエノス市内迄の定期バスを利用出来るが、バス発着迄、アルゼンチン航空外の飛行会社の場合、バスの発着所まで、若干の道のりがあるので、荷物が重い場合、大変である。それに、直行でない為、可成りの時間を要する(約2時間以上)。

ブエノス市内迄は有料高速道路を利用すれば、約30分位で中心街に到着する。

## 7 ホテル

ホテルに着くと、車のところにボーイがやってくる(中の下以下のホテルはボーイがいない場合もある)ボーイは、荷物をホテルのロビーまで運搬するのでこの場合チップを払う。

1) 先づフロントにおいて、ホテルの予約があったかどうか、又予約していない場合部屋があるかどうか、一泊の料金は、いくらか等々種々の交渉成立の後、宿泊カードが手渡され、所要事項を記入する。

2) ホテル カード (例)

APELLIDO:(性) YAMADA	NOMBRE(名前): 太郎
ESTADO CIVIL:(結婚している場合CASADO、(独身の場合)	SOLTERA 女性 SOLTERO 男性
PROFESION(職業):(例)COMERCIANTE 商業	
FECHA DE NACIMIENTO(生年月日):(例) 15/10/1960	
LUGAR DE NACIMIENTO(出生地): KANAGAWA JAPON	
NACIONALIDAD(国籍): JAPONESA	
DIRECCION PERMANENTE(住所): SHIBUYA-KU, TOKYO, JAPON	
LLEGA DE: TOKYO, JAPON 又はSAN PAULO 等	
PASSAPORTE NO.(旅券番号): M E 1234567	
EXTENDIO EN (旅券発行官庁): MUNINCIPAL TOKYO JAPON	
FIRMA DE CLIENTE (署名): Taro Yamada	

3) ホテルにて留意すべきこと

- ① カード記入が終ると部屋の鍵を渡される。鍵には部屋の番号が付されている(例125、1階の25号室 1025 10階の25号室)又鍵は、ボーイに渡され、ボーイが部屋まで案内し、荷物も運搬する。矢張りチップを渡す。ドアボーイ、エレベーターボーイにはチップは不要。
- ② ボーイが立ち去る前に部屋を確認する。バスタオル等々も、
- ③ エレベーターでは帽子をとること、婦人が居れば、婦人優先で、先に入れ、後から出る。勿論禁煙である。
- ④ チェックアウトの時間、ホテルによって若干の違いがあるが、10時、11時、12時の3通り位である。前以ってカウンターにおいて聞いておくこと、この時間を越えると、1日分の宿泊料が追加される場合がある。1~2時間位越える場合前以ってカウンターに言っておくと追加宿泊料が徴集されることはない。
- ⑤ 廊下は街路と心得えること、従って、下着姿や、スリッパ等は厳に慎むこと。
- ⑥ ボーイ、部屋係、掃除人等の従業員に対し、尊大な且つ馬鹿にした態度をとらないこと。
- ⑦ 1泊毎に、ベッドの脇机にチップを置く。
- ⑧ 洗濯物があれば、ドアに掛けてあるビニールの袋に入れておく、殆んど、背広等の服以外は翌日の朝出来上っている。
- ⑨ 暖冷房が、自分で調節が出来ない場合、カウンターに申入れること。
- ⑩ 殆んど朝食はついていないので、ホテルの食堂を使用するか、或いは外ですることになる。中には朝食つきのものであるので、前以って確認しておくこと。朝食といっても軽食であり、殆んどが、ミルクコーヒー、クロワッサン、ジュース位である。(これはコンプレットと注文する)
- ⑪ ブエノス市のホテルの水道水は、殆んど問題ないが、それでも用心の為、アグワ・ミネナ

ル(ミネラル・ウォーター)を取り寄せると良い。これには炭酸(ガス)の入ったものと、入っていないものがある。ガス入りをコン・ガス、ガス無しのをシン・ガスと言う。

- ⑫ 水道栓の上に、F.又はC.の印がある。Fは普通の水道水(フリヤ)、Cは湯である(カリエンテ)。
- ⑬ 中流以上のホテルのカウンターは、英語を話すことの出来る従業員がいる。
- ⑭ カウンターでは、貴重品、電信(テレックス等)、長距離電話(この場合相手側に電話料を支払わせることは出来ない仕組みになっている。国内、国外-日本、米国等々)、絵はがき、市内案内のハイヤー又は観光バス、両替(但し、市中より割安)等々取扱っている。
- ⑮ 盗難には留意すること、ホテルに預けない限り、ホテルにかけ合っても絶対に責任はとらない。
- ⑯ 写真は、むやみに撮らないこと。撮りたいものがあれば予め了解を得ること。又パトロールの警官や、軍所属の建物や場所等も撮らない方が無難である。

その他いろいろあるが、外国旅行上の一般常識をまもることである。

## 8. 別送荷物引取りについて

1) エヤカーゴの場合、送り状と旅券を持参の上、まザブエノス市にある航空会社に行って確認証を取りつける。その上で、エセイサ国際空港の保税倉庫に行って税関吏に、送り状、旅券、確認証を提出、労務員によって運搬された荷物を検査台にて税関吏の検査を受け、手続料を支払い(税がかけられれば税金も同様)荷物を引取ることになる。

2) 船便の場合、荷物の引取りには、発送されてから、最低2ヶ月乃至2ヶ月半位かかる。荷物の引取る方法は次の通り。

① 大阪三井船泊又は日本郵船に行って船荷証券と旅券を提示、確認証(Confirmacion)を貰うこと、何か不明な点があれば社員(日本語を話す社員がいる)に聞くこと。

住 所 ○大阪三井船泊 AV. Corrientes 311, 7-p 311-5643

○日本郵船 AV. Corrientes 327, 3-p 311-6551

なお、大阪三井船泊の場合Sud Ocean社が下請けしているので最初Sud Ocean社に行くこと、同社は、同住所の6階に事務所がある。

② 以上確認証を受領の上、ブエノス港内にある構内運送会社に行って、船から保税倉庫迄の運送料及び手数料等を支払う。

住 所 AV. Antartida Argentina

ブエノス港正面入口から入ってすぐ左側に事務所がある。

③ 次に、税関(保税倉庫)に行って税関吏の検査を受けて荷物を引取ることになる。

○住 所 Puerto Nuevo Darcena A

Estacion Maritima Aduana

○持参書類 ①旅券 ②船荷証券 ③船会社の確認証 ④荷物運搬の支払い受領証以上、4種類

④ 税関に検査を受けるまで

- イ 保税倉庫内にある税関事務所の窓口で、4種類の書類を提出。
- ロ 税関吏は、それによって台帳と照合の上、税関検査の書類を作成する。
- ハ その後、検査官と労働者が指定される。
- ニ 書類によって、労働者は、荷物をより分け、本人の荷物を検査台に運び、荷物を開く。
- ホ 税関吏の検査を受ける。検査終了後労働者は荷物を元通りにする。
- ヘ 課税するものがある場合、税関吏は、課税の書類、及び手続き料、保税倉庫料等の書類を作成、この書類を持って評価会計事務所に行き、その書類を提出、事務所はその書類によって、査定額を算出され、その支払いを行う。その支払った証明書類を、税関吏に提出、出関することになる。税関吏は又、港外に出る許可証を渡して呉れる。荷物は保税倉庫外まで、労働者が運搬してくれる。この場合、適当なチップを労働者に渡すのが習慣となっている。又気をきかせて貰う為、予めチップを渡しておく方が良い、税関吏との交渉は本人次第である。

- ⑤ 港外に荷物を運搬する場合、若し、友人等の車がなければ、保税倉庫の出口に港外運搬用のピックアップ、又はトラックが待機しているので、それに頼めば良い、但し料金は前以って定めておくこと。定められた料金以外にとるようなことはしない。又 Villa Longa という運送専門の会社の出店もある。

9. 永住者及び一時滞在者について

1) 到着後行わねばならないこと

- イ) 在亜日本大使館領事部に在留届の提出、詳細については、「在亜日本大使館領事部関係事務」の項 頁参照のこと。

ロ) 永住査証のある人の場合。

- a) 移民局の出先に行って、外人登録を行い登録証を取得すること。これは永住者にとって必ず行う義務がある。
- b) 移民局の出先は、ブエノス市の場合、2ヶ所あるが、殆んどが、現在 Cangallo 666 で受付けている。その他各州都に存在している。
- c) 登録申請時期：エセイサ国際空港の移民局から、永住者（ブエノス市及び他の州に移住する人の全員）の1件書類が、ブエノス市 Cangallo 666 の移民局出先に送られ台帳等に記載されるまでの間は、約1ヶ月位要するので、その後移民局の出先に出頭すれば良い。各州の場合、2～3ヶ月後各州都の移民局出先に1件書類が送付される。なお、各州に永住する人でも、ブエノス市で登録手続きが出来る。

d) 必要書類

- ① 移民局の申請用紙に所要事項記載する。
- ② 旅券及びフォートコピー
- ③ 在日亜国領事の発行した入国カード（指紋されているカード）

④ 必要に応じ（例えば結婚している場合等）戸籍謄本、出生証明証の翻訳文、戸籍謄本、出生証明証の翻訳は、市町村より発給された書類を外務省の認証、駐日亜国領事の認証、亜国外務省の認証を経て、公証翻訳人によって翻訳されたものが正式に認められる。日本にて翻訳されても、駐日亜国領事、亜国外務省の認証を必要とする。

ハ) 結婚している場合は、各住所を所管している Registro de Civil（戸籍役場）に届出をすること。必要書類は、移民局に外人登録と同様な書類である。日本の旅券には、結婚については記載されていないので、戸籍謄本等結婚を証明する書類が必要であり、それが翻訳され、それぞれ認証されていることである。

ニ) 永住者が日本に帰国、或は隣接国外に旅行する場合、連邦警察署から発給される。セドラ（亜国永住身分証明証）及び旅行証明証（Certificado de Viaje - 無犯罪証明書）が必要となる。これがないと航空切符等購入することが出来ない。連邦警察の本署はブエノス市支署は、各州都に存在している。セドラ取得は、外人登録証、必要に応じ戸籍謄本、出生証明等が必要の場合がある。

ホ) 一時滞在査証の場合

一時滞在の査証には、6ヶ月、1年等の期限が付されているが、

① 期限内は移民局に出頭する必要はない。

② 査証期限をどうしても延長する必要が生じた場合、その期限の切れる前後に移民局に出頭し延期する理由、証明書等を付して申告すること、比較的容易に延期の許可が与えられる。

(註) 旅行者の場合、日亜の査証協定により駐日亜国領事部査証の申請をする必要がなく、エセイサ国際空港等で、移民官が、自動的に、3ヶ月滞在の査証を与えて呉れる。その期間に亜国に永住を決めた場合、その査証の期限の切れる前後に移民局に出頭し、延期の申告するのは、一時滞行者と同様である。延期の許可が下りた場合その日より就労も可能である。従来は、6ヶ月次は1年更に1年、従って約2ヶ年9ヶ月の延期を経、その間無犯罪であり、職業従事証明があれば、必要書類を添えて永住の許可申請を行えば、永住許可を与えられている。但し、局令が時々変更があるので、確実とは言えない、必要書類は、旅券、戸籍謄本、出生証明、前に住んでいた国の無犯罪証明等である。当然翻訳文が必要である。

又住んでいる所轄警察発給の居住証明を必要とすることがある。

10. 婚姻、出生、死亡等の場合、所住区を管轄している。役所（Registro Civil）に必ず届出ること。

1) 婚姻の場合、前以って、役所において結婚宣誓の日を申し込んでおく（セドラ又は旅券等を持参）、当日は証人2名を伴って、簡易裁判官の前で、宣誓を行う、後日結婚手帳が手交される。それには子供出生の時の記載があり、これが子供の将来の基本となる。

2) 出生の場合、医師又は助産婦の出生証明書と結婚手帳を持参の上、役所に届出る。子供の名前は、国で定めた名前から選ばねばならない。従って日本名をもって届出することは出来ない。

- 3) 死亡の場合、専門の葬儀屋に依頼すれば、一切の手続き、及び土葬、火葬（フエノス市のチャカリタ墓地、唯一の火葬場が存在する）役所の届出等まで行ってくれる。役所への届出は、本人のセドラ、結婚していれば、結婚手帳、及び医師の死亡診断書、事故であれば、判事の証明証等を添付することとなる。葬儀屋の値段には各種あり、最も安く上げることも出来る。

## 13. 在亜日本大使館領事部関係事務

### 1. 在留届

旅券法の規定によって、亜国に永住又は3ヶ月以上滞在する人は、必ず領事部に、6ヶ月以内の戸籍謄本、又は抄本を添え、旅券を持参の上、在留届を提出することになっている。在留届の用紙は、領事部にある。又近隣国等から転住した人は、亜国永住権証（Cedula de Identidad 又は外人登録証）を持参せねばならない。領事々務は在留登録カードを基準として行うので、この届を怠っていた場合は、緊急事態発生、不測の事件発生、各種調査等々について迅速かつ適切な事務処理が出来ないことになる。移転の場合も前記理由により住所移転届を提出することになっている。

### 2. 帰国届

在留届を提出している人、及び亜国で出生し日本国籍を留保している人で一時又は永久に日本へ帰国する人は、帰国届を提出することになっている。用紙は領事部にある。なお、一時的に日本へ帰国し、亜国へ再渡航した場合、改めて「在留届」を提出することになる。

近年帰国する人も目立っているが、旅行社では、別に帰国届提出の有無と関係なく簡単に航空切符を売ってくれることもあり、航空機で簡単に帰えられるので、帰国届を提出する人は、極めて少いようである。又永住で来亜しながら、帰国届も未提出で間もなく帰国する人等もあり、日本人の実態を把握するのに困難を来しているようでもある。

### 3. 戸籍・国籍手続

日本人の出生、婚姻、死亡、国籍喪失、国籍離脱、養子縁組、養子離縁、離婚等々の身分の変動は、日本居住している場合、本籍地などに届出なければならないと同様に、亜国に居住している場合でも、日本の法律に従って、領事部に届出ることになっている。この届出を怠った場合、本籍地の戸籍に所要の記載がなされず、領事々務処理上、又旅券関係事務に困難な問題が生ずるので、身分の変動があった場合、必ず領事部に届出ることが肝要である。亜国の法律によって処理された事項が、領事部に通報されることはない。

### 4. 出生届

日本は父系主義であるので親の国籍をそのまま受けつぐことになっている。

- 1) 父母がともに日本国籍。

2) 父が日本籍 母が外国籍の子供

3) 父が外国籍 母が日本籍の子供

以上は日本国籍を取得することが出来る

亜国は日本と異り、出生地主義を採用しているので、親の国籍に関係なく、亜国で出生した子供は、自動的に亜国々籍となる。若し出生子の親が、子供の日本国籍を留保したい場合、生れた日を含めて14日以内(法定届出期間)に、父又は母が「日本国籍を留保する」旨の意志表示された出生届を領事部に提出すれば、日本と亜国の二重国籍保有者となることが出来る。

父母の資に帰すべく理由がなく、法定期間内に届出ることが出来なかった場合6ヶ月以内であれば、遅延理由書を添えて届出することも例外的に残されている。

「仕事が忙しい」「法律を知らなかった」「父が出張中又は病気」等々の理由で遅延した場合、届出は受理されない。又日本の戸籍に入籍されていない夫妻の場合の出生届も受理されない。

出生届書については次の通り

1) 届 書

規定の届書用紙に所要事項を記入の上2通提出(届書用紙は領事部にある)

2) 届 出 人

原則として日本国籍を有する父、止むを得ざる事情ある場合は母

3) 添 付 書 類

医師、助産婦、亜国戸籍役場(Oficina de Registro Civil)発給の出生証明書

(Certificado de Nacimiento)2通(但し、1通はfoto copiaです)。

4) 出生子の漢字名は当用漢字及び人名漢92字に限られている。

5) 届書には出生子の出生日時、場所、立合医師名等を記入することになっている。

6) 提 示 書 類

夫妻の旅券(但し配偶者が二重国籍の場合は身分証明書)

7) 隣国等で在外公館に婚姻届を提出された夫婦で、亜国に転住後出生届を領事部に提出する場合、妻の旅券が未だ旧性の場合、夫妻の旅券以外に6ヶ月以内の戸籍謄本を提示する。

5. 婚 姻 届

亜国において、夫妻共亜国に在住している場合は、亜国法律に基き、結婚をしなければ婚姻は認められない。日本において、夫妻共日本国籍の場合は、戸籍法に基き、当該役場に婚姻届出を行うことによって婚姻が有効に成立する。この場合婚姻後の戸籍謄本を取寄せ、領事部に提示し、身分に変動が生じた旨届出ること。領事部では在留登録カードの整理に是非必要としている。

両親が日本人、或は父が日本人で、亜国(又は外国)で生れた方(所謂2、3世)で父が在外公館に出生届を行い、日本国籍を留保している方(所謂二重国籍者)は、領事部では日本国籍者として取扱うことになるので2、3世の方は二重国籍者であるか否かを本籍地の役場で調査されること。

1) 届 書 領事部にある規定の用紙に所要事項を記入の上、正副3通を提出する。



( 但し、配偶者が外国籍の場合は正副 2 通 )

ロ) 届出人：夫妻兩名

ハ) 添付書類

- ① 届出人夫妻の戸籍抄本各 2 通、但し配偶者が外国籍の場合は夫は戸籍抄本 2 通、妻は出生証明書 ( Partido de Nascimento ) 1 通、なお戸籍抄本は発行日より起算して 6 ヶ月以内のもの。
- ② 亜国戸籍役場発給の婚姻証明書 ( Certificado de Matrimonio ) 3 通 ( 内 1 通はフォトコピーです ) 但し配偶者が外国籍の場合は 2 通但し 1 通はフォトコピーです。

ニ) 提示書類

- ① 婚姻手帳 ( Libreta de Matrimonio ) これは領事部にて戸籍役場の婚姻登録台帳に記入した戸籍吏の氏名を記録する為
- ② 夫妻の旅券 ( 但し配偶者が外国籍又は二重国籍者である場合、身分証明書 )

## 6. 死 亡 届

イ 届書 ( 用紙は領事部にある ) 正副 2 通

ロ 届出人 同居の親族、同居者等

ハ 添付書類

- ① 戸籍役場又は立合医師発給の死亡証明書 ( Certifecado de defuncion ) 2 通 ( 内 1 通はフォトコピーです )
- ② 旅券法の規定により死亡者の旅券は死亡した日より無効となるので、死亡届を提出する際領事部に返納する。

ニ 届書には病名、死亡の日時、場所、立合医師の住所氏名等を記入することになっている。又病院で死亡した場合も病院の名称、所在 ( 街名、番地等 ) も記入することになっている。

( 註 ) 死亡届を提出がなされていない為、いつまでも戸籍上生きていることになっている場合もある。特に妻が外国籍の場合は、こういう手続きを知らない為、死亡届を提出しないのが多い。

## 7. 国籍喪失届

日本国籍者で自己の希望により、外国の国籍を取得 ( 帰化 ) しながら、日本国籍の喪失届の提出をしない場合、いぜんとして日本の戸籍から除籍されていないと考えている人がいるが、日本の国籍法により、外国の国籍を取得した日にさかのぼって自動的に日本国籍を喪失することが定められている。又日本人女姓が外国人男姓と結婚しても、その国の国籍を取得しなければ、日本国籍を失うことはなく、又日本人男姓が外国人女姓と結婚、その女姓が日本に帰化しない限り、日本国籍になることは出来ない。

( 註 ) 永住権は国籍ではない。

日本国籍者が外国に帰化した場合の国籍喪失届は次の通り

イ 届書および届出人

領事部規定の用紙に記入の上、正副 2 通を帰化者の父母又は近親者から届出る。

帰化した本人が、この届出を行うことは出来ない。

ロ 添付書類

① 亜国官憲（裁判所）より、亜国に帰化したことを証する書類2通（内1通は photocopy にて可）同証明書の中に、帰化した日が、記入されていなければ無効。

② 同証明書の和訳2通（内1通は photocopy にて可）

ハ 旅券の返納 外国へ帰化した者の日本旅券は領事部に返納のこと。

8. 国籍証明書発給に必要な添付書類

イ 現在所持の旅券

ロ 戸籍謄本又は抄本1通（但し発行日より6ヶ月以内のもの）

ハ 写真2枚（サイズは規定されていないが、小さいのは避けること。白地無帽、正面、上半身）

ニ 二重国籍証明書申請は、上記添付書類（写真は5cm×5cm）の他、亜国で出生した人は、警視庁（亜国連邦警察）より、旅券を取得し、同旅券の1～5頁までを photocopy し、申請時に提出すること、但し、領事部に出生届を提出している人は、戸籍謄本（又は抄本）を提出する必要はない。又パラグアイ国やボリビア国等で出生した人が、二重国籍証明書の発給申請する場合、それぞれの国の旅券を取得し、その photocopy と戸籍謄本又は抄本を提示する。

9. その他の証明手続き

国籍証明の他、在留証明、個人の署名、捺印、印鑑、遺骨等の証明は直接領事の面前で行うことになっているので、直接申請人が出頭しなければならない。

10. 旅券関係事務について

1) 渡航先の追加

現在所持している旅券、往復用、一般現行旅券（数次旅券は除く）に渡航先として記載されていない国（又は地域）に渡航しようとする場合は、領事部において一般旅券渡航先追加申請し、渡航しようとする国名を旅券に記載せねばならない。この手続を行わないで渡航すれば、旅券法の罰則の対象となる。渡航先追加申請を行う場合、本人自身が旅券携行の上領事部に出頭する。未成年者の場合、法定代理人の出頭を要する。

添付書類

イ 往復切符（但し、日本へ帰国する場合は、日本までの通し切符）

ロ 渡航費用の支払能力を立証する書類（出張命令書等）

2) 旅券の記載事項に変更が生じたとき婚姻により本籍、姓の変更、本籍地の転籍、養子継縁により復籍等旅券に記載されている事項に変更が生じた時は、本籍地より戸籍謄本又は抄本（発行してから6ヶ月以内のもの）を取寄せ、それと共に、一般旅券訂正申請書に記入、訂正申請を行うこと。なお記載事項に変更が生じたからといって、自分で訂正或いは記入すると旅券の改ざん行為となって刑法にふれることになる。

3) 旅券の再発給

旅券を紛失したり、焼失したりした場合、直ちに領事部に届出で、その指示に従うこと。

旅券を紛失（焼失）した場合、領事部において、再発給申請を受けつけてから、当該旅券を発給した官庁に対し、旅券発給の事実を照会し、回答を受けることになるので、かなりの日数を要することになる。従って旅券の紛失（焼失）の場合を考慮し、別に旅券の番号、発行年月日、発行官庁等を控えておくが良い。

旅券再発給に必要な書類

- イ 一般旅券再発給申請書（領事部に規定の用紙がある） 1通
- ロ 写真2枚（5cm×5cm 正面、白地、無帽、上半身）
- ハ 旅券紛失届（用紙は領事部） 1通
- ニ 亜国警察署発給の旅券紛失届受理書（又は消防署よりの罹火災証明書）
- ホ 身分を立証する証明書  
亜国の場合 セドラ又は外国人登録証、又は運転免許証等の何れかを提示、そのフォト・コピーを提出
- ヘ 普通旅券の紛失（又は焼失）の場合、又は本籍地等が不詳の場合は戸籍謄本（又は抄本）1通を添えること。
- ト 旅券の査証欄の余白がなくなった場合、或いは著るしく少ない場合は、当該旅券を添付の上、再発給手続きを行うこととなる。

#### 4) 旅券の種類

- ① 一般旅券（永住者の場合、殆んどこの旅券である。日本に帰国した場合、到着した日より無効となり、発効官庁に返却せねばならない）
- ② 数次旅券（5ヶ年間有効、この期間日本との往復は自由で旅券の再発行は必要としない。永住先国で期限が切れた場合、その旅券は無効となるので領事部に届出て、再発給をしてもらうこと）
- ③ 公用旅券（説明省略）
- ④ 外交旅券（説明省略）

## 14. 運 転 免 許 証

### 1. 免許証の種類

- 1) Particular: 一般乗用車
- 2) Carga: 一般乗用車 大中トラック、ピックアップ、タンク車等
- 3) Profesional: 上記の車種その他、タクシー、バス（近距離、遠距離）
- 4) モートシクレッタ（オートバイ）
- 5) 国際免許証

## 2. 免許証を取得する為には（ブエノス市の場合）。

### 1) 必要書類

- a 外人登録証又はセドラ
- b 居住証明証（所轄警察署にて発行、この場合、外人登録証又はセドラ持参の上、警察に申請すれば、24時間以内に証明証を警察官が届けるがその際、居住しているか、どうかを確認される。
- c 自動車（実地試験を受ける際、使用する車）の所有証明証、又他から借りた場合、そのアウトリザション（貸したことの証明証、この証明書は、公証人が作成する）自動車の運転教習所（市内数ヶ所あり）にて運転を練習した場合、試験に教習所の車を使用出来るので、そこからアウトリザション（別に公証人を必要としない）で良い。

2) 以上の書類を、本人携行の上ブエノス市交通局（Direccion de Transporte）に出頭し、免許証申請用紙に所要事項を記載し、それと共に係官に提出、それによって試験日が同日決定される。又その日は身体検査も行われる。身体検査は、指及び両腕等の簡単な屈伸運動と眼の検査だけである。

（註）① 市交通局の住所 Estados Unidos 1228, Buenos Aires

② オートバイの場合は申請のみで可、従って省略

### 3) 試験

指定された、日時と試験場に行き、交通局より手交された受験カードを試験官に示し、順番に試験を受けることになる。試験は実地運転と、口頭試問（交通法規、市内の通り名前、例えば、現在地点を示し、そこから、広場又は病院、駅等に行くには、どこの通りに行くか等々）とがあり、それに合格すれば、同日仮免許証を与えられ、その指定された日時に交通局に行けば、正式の免許証を手交される。又試験は、カテゴリーに従って若干むずかしくなる。

（18才未満は受験資格なし。但し、親の承認があれば、受験出来る場合もある）

4) ブエノスの免許証は、亜国のどこの州のプレート番号の車でも運転出来るが、各州の都市で発行された免許証は、その州の車のみしか運転出来ない。然し警察官によっては見逃して呉れる場合もあり、特別の理由があれば問題ない。これは、各州の都市の免許証取得が、容易である為であるとのこと。

5) 免許証を取得する場合、カテゴリーに従った料金を交通局に支払うことになる。

6) 免許証の期限は、原則として次の通り

- |                        |     |
|------------------------|-----|
| イ Paltecular           | 10年 |
| ロ Carga 及び Profesional | 5年  |

但し、年齢が65才以上になると、その期限が短縮される。

7) 期限が切れる前に交通局に出頭し、更新手続きを行うことになる。その際簡単な身体検査が行われるだけである。

8) 国際免許証の取得について

(1) アウトモビル・クラブの出先に行って所要手続きを行えば、容易に取得出来る。

(2) 必要書類

イ) 外人登録証又はセドラ

ロ) 免許証

ハ) 写真 4 cm × 4 cm

ニ) 申請用紙(アウトモビル・クラブにある)に所要事項を記入したもの。

(3) 日本から国際免許証を携行した場合も、同じくアウトモビル・クラブに出頭し、それに基づいて、亜国の免許証を作ることになる。但し、原則的に有効期限は1ケ年である。自動車と共に旅行している場合はその必要がない。

永住者の場合は、一時的に国際免許証が通用する場合もあるが、亜国にて正式の免許証を取る必要がある。

註 アウトモビル・クラブの出先の住所

AV. Belgrano と AV. Entre Rios の角 Buenos Aires

9) 交通違反について、別に嚴重ということはないが、警察官が違反金通知書を作成、市当局に送付するか、又は本人に手交する。その通知書を以って交通違反事務所に行って支払うことになる。又違反について警察官と交渉することも出来る。違反したからといって、免許証にその事犯を記載されることもない。又昼、晩の食事には、ブドー酒がつきものである為、事故さえなければ飲酒運転について、余り問題とならない(1時うるさい時もあった)

10) 事故について

人身事故、或いは衝突によって血が流れた場合は、刑事事件として取扱われるが、他は民事によって解決される。それも、双方の保険会社の規定、或いは保険会社の顧問辯護士が解決にあたる。車輛保険は義務づけられている(但し、相手側に対する保障についてのみ)

## 15. 仕事

1. 旅行者…仕事をして収入を得ることは出来ない。使用者は処罰される(罰金を課せられるか又は逮捕される)。但し、3ヶ月の査証が切れて、移民局より査証の延長が認められると、仕事をすることが出来る証明も与えられる。
2. 一時滞在者…査証期限内は仕事が出来収入を得ることが出来る。
3. 永住者…亜国人と同様な待遇で、差別されることはない。又労働手帖のようなものはない。労働契約書を取交わす場合もあるが、殆んどは契約書を取交わしていない。但し、労働者は総て労働契約法(国法)によって保護されている。3ヶ月間は試用期間であり、この期間を過ぎた場合使用者の都合によって辞めさせる場合、労働者に対し、法令による損害賠償金(Indemnización)

を支払わねばならない。公務員、準公務員、漁船の船長、機関長或いは、パイロット等の仕事につく場合、亜国に帰化せねばならない。又生鮮食品（魚類、肉類、野菜、果物、レストラン等）を扱う仕事については、指定された保健所で健康診断、血液検査等を行い、その保健手帖を持っていなくてはならない。

4. 法律によって定められた労働条件の概略（法律第11,544号）

- 1) 1日8時間以上、1週48時間以上労働することは出来ない。労働者の合意を得ての時間外労働については、1時間につき1日の賃金の50%を割増ししなければならない。休日の労働に対しては100%の割増し。
- 2) 昼間労働は、6時から21時迄、夜間労働は21時～7時、但し1日の労働時間は7時間を超えてはならない。
- 3) 非衛生的場所における労働は1日6時間、1週36時間を超えてはならない。
- 4) 法律第11,544号は、農業労働者、牧畜業労働者、家事使用人には適用されない。農業労働者、牧畜業労働者は、法令28,169号 家事使用人は法令12,265号の適用を受ける。
- 5) 日曜日に労働をさせた場合、すべて労働者の選択により、週日に代替休日をあたえなければならない。
- 6) 10月1日から3月30日まで夏期、4月1日から9月30日まで冬期と呼ぶ。
- 7) 使用者は、すべて各労働者の氏名、職種、労働時間、交替時間、食事時間、超過勤務の代償としてあたえる休日および休憩時間の詳細を記載した表を見やすい場所に掲示しなければならない。
- 8) 休暇の期間
  - ① 年間265日以上5年以下の場合、年間12日、265日以下の場合12日を就働期間率によって1日以上～11日迄を定めることが出来る
  - ② 雇用期間5年以上10年以下の場合15日間。
  - ③ 雇用期間10年以上20年以下の場合20日間。
  - ④ 雇用期間20年以上30日間。
- 9) 農業労働の時間は、日の出から日の入りまでであり、午前、午後、各15分の休憩（お茶の時間）、昼は、冬2時間、夏3時間（地方の州によっては4時間のところもある）
- 10) 最低賃金が法令によって定められる、事業主は、それを基準として、給料を定める。
- 11) 給料から、定められた年金（フビラジョン）及び社会保険料の掛金を政府に納入しなければならない。

## 16. 邦人関係小史

- 1589年 フランシスコ・ハボン日本が、コルドバ市の奴隷市場に売り出された記録があるが、果して日本人かどうか、どういう人物かも分からない。
- 1869年 薩摩藩の前田十郎左衛門と伊予藩の伊月一郎、が英国の練習艦リバプール号に乗り込み、世界一周の途次、ブエノス港に立寄っている。これはブラジルの邦人史の中に記録されているというから、日本人としては、最初に亜国の土をふんだものとしても良いのではないか。
- 1886年 英国商船に乗組んでいた、牧野金蔵が、ブエノス港に上陸、その儘コルドバ市に住みつき、鉄道の機関手の職を得て、30数年間勤務、その後年金生活に入り、1929年死去した。この間、後から来た日本人の面倒をよくみたとのことであり、現在子息も健在である。最初から移住しようと思っただけではなかったのであらうが、事実は移住したのであるから、日本人として最初の移住者と言えるであらう、従って1986年は日本人移住100年ということになる。
- 1897年2月3日 駐米全権公使星亨（後の東京市議会議長）と亜国駐米公使マルティン・ガルンヤとの間に、友好、通商、航海に関する相互協定が調印され、1901年9月18日から正式に発効、これが日、亜の正式の外交のはじまりである。
- 1900年 亜国は練習艦サルミエント号を日本に派遣、その艦のボーイとして、ブエノスに来たのが樫葉資雄である。
- 1902年4月30日 日本政府は、ブラジル公使、大越盛徳を、亜国公使の兼任を命ずる。
- 1903年12月28日 亜国政府はイタリアにおいて建造中のモレノ、リバトビアの軍艦2隻を日本政府の要請にもとずき、譲渡、これが日進、春日であり、日露戦争において大いに活躍した。この為もあり、軍艦三笠の艦上において、外国人観戦武官として、艦隊長官 東郷平八郎の傍にいたのが、亜国のガルンヤ提督である。
- 1905年 丸井三次郎、古川大弁、農商務省の実習生として来亜、後、商事会社を設立、又丸井は、ブエノス・アイレス週報を経営、最初の邦字紙である。又同年、安田喜十郎、山崎彦三郎が来亜、共営で雑貨店（店名一新日本）を経営、滝波文平が同じく雑貨店「東郷」を経営、したのが、日本人最初の商業経営である。
- 1900年～1909年迄、海外実習生、貿易業者以外には、船乗りからの脱船者、ブラジル、ペルーからの転住者等約300名位の日本人が在亜していた。

1900年	4名
1905年	15名
- 1907年 佐伯亥九二、来亜と同時に竹細工店を経営信用を得た。
- 1909年 在チリ一国公使、日置 益亜国公使兼任となる。
- 1910年1月1日 伊藤清蔵農学博士来亜、その後ブエノス市西南約400Kmの地点、ポリアル市附近に1400haの牧場を経営、そのうち820haに年3200頭、牛200頭、馬100頭を飼育、他にとうもろこし、小麦の作付を行った。

日系人の牧場の草分であり、夫人は亜国人、子供はなかった。

- 1910年1月10日 東京商船出身の鈴木芳造、来亜現在約1200 ha の牧場にて牛500～600頭飼育、牛50～60頭による搾乳、その他小麦、とうもろこしの作付を行っており、邦人唯一の牧場経営者である。但し、現在93才になっており、殆んど長男が経営をしている（写真ページ参照）。又同年上海の東亜同文書院出身の杉本重三郎が来亜。
- 1910年3月15日 陸軍大学出身の小松慶也（牧場経営）盛岡商農出身の石川倉次郎（そ菜園経営）、藤田克也、寺岡農学校出身の岩住玄伍、保坂斉造、林甚次郎、外語（現在の外大）出身の塩川伊四郎等が来亜。
- 1910年5月25日 亜国建国100年祭に、日本の軍艦、生駒が日本政府より派遣され、ブエノス港に入港、大歓迎を受ける。この頃のブエノス市日系人社会は、商店これらに関係する者、15名、カフェー店にて就働している者18名（全国で27名）

警察柔道教師	1名（緒方義雄）
市立植物園芸家	2名
ロサリオ市は柔道教師	1名
コルドバ市 機関士（牧野金蔵）	1名
職員	1名
ブエノス市近郊 牧場経営者（伊藤清蔵、平島恒三郎）	2名

その他、ブラジル転住者、数10名等が記録されている。
- 1912年 初め頃、小谷初太郎、中村ツタ、ブエノスにて、初めて洗濯店（クリーニング店）を経営、これが日系人の洗濯店の草分けである。
- 1912年7月 山中助次郎、伊東信介、知念順次、安田徳次の4人共同で、カフェー「ミカド」を経営、これも又日系人、カフェー店の草分けである。1912年8月にも、福原 深、武田敏実の共営で、カフェー店を出したが双方とも永続きはしなかった。
- 1912年度の在亜日系人は約350名位、その頃の職業は、金持ちの庭園に住込んで働く者、公園、植物園、果樹園、そ菜園、農場、牧場、作物の収穫、工場、商店、カフェー店、コックの助手、洗濯店、ペンキ塗、港湾、左官、家庭奉公、大工、運転手（後タクシーの運転手が多くなっていく）等々で、殆んど無経験といってよく、言語習慣で、辛酸をなめたといってよい。
- 1912年12月 日系人約60名の賛同によって、同胞大会が行われ、大正会と名づけられた。
- 1913年 ベルーから亜国に転住した、石井円太郎は、石井診療所を開き邦人の診療にあたった。
- 1913年1月 石川倉次郎、鈴木芳造、渡辺宮雄、岩住玄伍が、ブエノス市南方18kmのアドロゲというところに14 ha の土地を借り、そ菜栽培をはじめた。これも日系人、そ菜園の草分けといえる。その約2年半前の1910年8月に、ブエノス市の郊外に25 ha を借り、吉田浜吉、斉藤錠太、小田秀雄の3名が共同にて、そ菜栽培を行ったが2ケ年半で転業した。
- 1914年 和森太郎は、下宿兼旅館、愛媛屋を経営



- 1914年12月 蒲地長之助、貝原儀七、貝原熊蔵の3名にて、サンタ・フェ市で、カフェー店を経営、その後の邦人のカフェー店、発展の基礎となった。
- 1915年4月 ブエノス・アイレス週報が謄写版ずりで発行、邦字紙のはじまりである。経営者、丸井三次郎、出資者、角田利太郎。
- 1915年度 在留邦人 約1000名
- 1915年 片山誠意、来亜と同時に洋服店を開店、その後、1980年まで1軒の邦人洋服店があったが、店主死亡により、現在邦人の洋服店は皆無となった。津曲諦二は、便利舎を開き、新移住者の為に便利をはかった。
- 1916年8月 在亜日本人会青年会結成
- 1916年 南四郎、料理店「紀の国屋」を経営、日本料理のはしりて、軍艦長屋とも言われた、又同年、田中乙吉、森川与十郎、共営の、たるま亭、その後「ことぶき亭」なども存在した。
- 1916年代は 日亜貿易も盛んとなり、日本から多くの会社の進出をみた。
- 1917年 富崎 勇が雑貨店（アルマセン）を経営、他に3軒の雑貨店の開店をみた。
- 1917年 園芸研究会結成、その後1919年3月在亜農業研究会に改め月1回、亜国の農業を発行。
- 1917年8月 在亜日本人会青年会が「在亜日本人会」と改称、10月31日（大正天皇生誕の日）に発会、式を行う。
- 1917年末 大阪商船、日本郵船の定期航路が開設。
- 1918年5月 横浜正金銀行が、ブエノス市に出張所を設ける。
  - ＊ 7月10日 駐亜公使館が開設、初代理公使 山崎次郎（後第4代公使に就任）
  - 12月 初代の全権公使として、中村 鏡が着任。
- 1918年～20年 は益々日亜貿易盛んとなる。
- 1919年4月 高市 茂、芝原耕平、斎藤力太の共営で、ブエノス市内にて花卉観賞園を開園これが邦人花卉業の創始者である。
- 1920年 片井格次郎は来亜と同時に、歯科医を開業。
  - ＊ 有水藤太郎による雑貨店（バザール）を経営「バザール東京」その他に2名共営による「エル日本」があった。
  - ＊ 杉田作造による 杉田 柳 細工所
- 1920年 庖厨組合（コック戦）の結成
- 1920年 在亜日本人労働組合結成
- 1920年 在亜日本写友会結成
- 1920年5月 日本野球団の組織
- 1920年6月 在亜日本人運転手協会設立
- 1920年代の 日系人 約1800名
- 1921年～22年 亜国経済界は不況となった、この為、多くの日本の商社が引揚げていった。

- 1921年10月 北海道出身の畑山徳治、ミソオネス州、サンタ・アナに25 ha の原始林を購入、紅茶、マテ茶の栽培、植林等を開始、これが、日系人の原始林農業のはじめである。その後多くの日系人が入植し、現在も繁栄している。(写真ページ参照)。
- 1921年9月 賀集九平、田中数好、共営で花卉観賞園を開園、1929年3月24日 賀集九平、エスコバルの土地を借地、花卉栽培を開始、邦人の花栽培の創始となった(現在夫妻共健在である)。
- 1923年8月30日 在亜日本そ菜同業組合設立
- 1924年 レティーロ駅前広場にて、花卉の露天市場が自然と発生
- 1924年5月25日 水野 勉によって「亜爾然」時報発行される(謄写版刷)
- 1925年12月30日 在亜日本人会、社団法人として認可される。 会員数 1194名
- 1925年度の日系人総数 2383名
- 1926年11月11日 杉本重三郎を社長として「週刊ブエノス・アイレス」を創刊(謄写版刷)
- 1927年2月21日 日本語講習会発足(ブエノス日語圏の前身生徒数36名)
- 1927年 山元 深は、アベジャネータ市において陶磁器加工場を設立(邦人の陶業の創始者)
- 1929年2月 在亜日本人会館(旧会館)が完成
- 1929年7月2日 在亜日本人染物洗濯同業組合設立(当時の日本人のクリーニング店80店)
- 1930年 この年は、政変が相次ぎ、経済状況不安定であった。
- 1930年 チャコ州にて綿作の農園を経営していた日系人は、1会社13園あったが、蝗の大襲来と、価格の暴落により、会社も解散状況となり、個人も他の方面に移っていた。1924年から始めて、わずか6年位の経営であった。
- 1930年代の日系人の花卉経営者 48園、カフェー店経営者 約100店、クリーニング店 約100店、マテ茶栽培園(原始林農業) 約20園、牧場経営者 2。
- 1930年 日系人総数 4029名
- 1932年9月30日 レティーロ中央花卉市場が設立(邦人からは、代表2名が参画した)
- 1933年10月1日 在亜日本人花卉園芸同業組合発足
- 1933年 日系人総数 5398名
- 1934年11月3日 南部メンドサにて南部青年会を結成
- 1934年4月 新村安彦を社長として「日亜時事」が発行(初めての活字印刷)前の「亜国時事」は1924年6月廃刊
- 1935年3月 第1回外務省農商実習生5名(農業3商業2)来亜
- 1935年 亜国の景気好転により、再び日本からの商社(6社)の進出をみる。現在4社が健在である。
- 1935年5月25日 サンタ・フェ日会創立
- 1936年1月 新宅、岡部によって「ラ・プラタ新報」発行され、1938年4月南亜日報と改

め戦後は、その延長として現在の「亜国日報」となった。「亜爾然丁時報」の後身が、現在のら、ぶらた報知でもある。

- 1937年10月10日 現在のブエノス日語学院が、亜国政府文化教育省より正式認可を受け公認校となる。
- 1938年 南部青年会がメンドサ日本人会と改名、1950年 南部メンドサ日本人会と再び改名、今日に至っている。
- 1938年10月1日 移民法の改正に伴い、日本人の移住者減少する。
- 1939年 日系人総数 6898名
  - 内 ① 洗濯業経営者 350 (従業員 700名)
  - ② カフェー店経営者 80 (従業員 600名)
  - ③ 花 栽培業者 132
- 1939年7月3日 在亜日本人そ菜同業組合を改組、有限責任銀河畔園芸協同組合に改組(後閉鎖)
- 1940年 日系人総数 7095名
- 1940年 日本では皇紀2600年に当り、その祝典に、亜国邦人代表として、賀集九平訪日する
- 1940年 そ菜園経営者 250
- 1940年3月15日 日亜通商協定が調定され、日亜の貿易が軌道に乗る。これで又日本からの商社が更に進出した。又地場の商社も増加した。
- 1944年1月 対日断行
- 1945年4月 亜国、日本に対して宣戦布告
- 1945年8月15日 終 戦
  - 終 戦 在亜日系人は、日本に救済物資を相当量送っている
- 1947年 亜国政府より個人呼寄せの許可が出る。但し在亜邦人の配偶者、及び三等親以内の者、又、日系二世で、訪日中や日本で勉強中に戦争に会い帰国出来ない者に対し、大統領令(ペロン大統領の時)を以って、亜国政府が旅費の支給をし、帰亜せしめた。ただ一年の徴兵の義務を負わせた。
- 1948年 沖縄から、亜国邦人の呼寄せで、33名が自費渡航した。これが戦後の移住の始まりである。当時の沖縄は、米国軍民政府の管理下に琉球政府があり、日本政府は国交を回復していない為もあり、渡航は、在香港オランダ総領事館が、琉球政府に対し、亜国政府の査証を代行事務していたので、亜国への移住者は船が、香港に立寄った際、オランダ領事館で査証を受けた。
- 1949年5月 ロサリオ日本人会発足1950年9月社団法人認可1951年会館購入
- 1949年11月 コルドバ州、日本人会と改名新たに発足(1932年6月コルドバ日本人会発足)1954年4月10日 社団法人として認可
- 1949年 花卉産業組合の市場敷地を購入 1956年 市場の建設完了

- 1949年6月 在アルゼンティン日本商工会議所発足
- 1949年 戦後初めての、日本から経済使節団来亜
- 1949年9月19日 日系人約1200名が大統領庁を訪問、ペロン大統領と会見する。
- 1950年4月 日本水泳選手団（遊佐監督、古橋、橋爪、村山、浜口の諸選手）
- 1951年3月 在外事務所員来亜（高木広一、片岡幸三郎、谷新太郎、森井敬三、
- 1951年5月25日 沖繩連合会発足
- 1952年4月 国交回復
- 1953年 ペロン大統領、在亜日本人会館（旧館）訪問
- 1954年 岡崎外務大臣来亜
- 1954年 戦後の邦人移住が始る。この年は193名の自費渡航者があった。
- 1954年7月30日 亜国拓植協同組合発足 1955年10月組合法人認可 1956年10月ミシオネス州ガルアペーに219haの原始林地を購入、組合実習農場とした（現在1部分譲他はジェルバ（マテ茶）園及び植林）、1957年1月 移民局より400家族の移住者導入を許可された（計画移住者として初めて）。
- 1954年度 パラグワイ移住者（コルメナ移住地）通過受入数111名、55年度670名、56年度735名、57年度849名等72年度迄パラグワイ移住者は、ブエノスを通過していた。1973年度以降は航空機による移住となった為、通過移住者は皆無となった。1954年度から1972年度の船による亜国移住は約5000名
- 1954年2月22日 日本において海外協会連合会発足
- 1955年9月23日 日本海外移住振興株式会社設立  
※ 上記両組織は、日系社会に大きな影響を与えた
- 1955年度は、雇用費等の個人呼寄せ移住が開始された。
- 1956年5月3日 亜国洗染協同消費組合発足10数年業務を継続したが、後解散同様となった。
- 1957年5月31日 戦後の外務省実習生 8名着亜。1962年1月15日着亜迄の実習生は33名以後花卉そ菜単独青年となった。最初の着亜は1962年9月15日（9名）
- 1957年7月31日 海外移住振興会社は、ガルアペー移住地地を購入3110ha
- 1957年10月19日 安東定夫氏経営の亜南物産豊原拓植地（メンドサ州）の入植者2世帯15名到着以後1963年5月迄計6世帯35名、単身4名の入植者をみた。
- 1959年4月 海外協会連合会アルゼンティン支部開設
- 1959年4月18日 ガルアペー移住者4家族21名、着亜、以後1971年10月迄89家族、529名の入植者をみた。
- 1959年5月22日 海外移住振興会社はアンデス移住地を購入1312ha
- 1959年7月28日 岸首相ほか随員8名来亜（首相の来亜は初めて）
- 1960年6月24日 海外移住振興会社ブエノス・アイレス支店設置

- 1960年 日本語教育連合会発足
- 1961年10月12日 在亜日本人会、新館に移転、落成祝賀会を行った（海外協会連合会の補助金も出て、その為移住者宿泊所も併設された）。
- 1961年12月 フロンデシイ大統領、日本を訪問（フランシスコ・カナロタンゴ楽団も同行、新宿コマ劇場で公演好評を得た）
- 1961年12月20日 亜国と移住協定調印（1963年5月17日発効された）及び動物衛生協定の調印、海運業所得に対する課税の相互免除に関する交換文書も行われた。
- 1962年1月1日 旅券査証の相互免除に関する交換文書
- 1963年5月22日 亜国政府経営ウルキッサ植民地の入植者7家族18名着亜、1965年4月16日まで計12家族35名の入植者があった。
- 1963年7月15日 海外協会連合会と海外移住振興会社が統合され、海外移住事業団として発足、従って海外移住事業団ブエノス・アイレス支部が発足。
- 1964年1月11日 アンデス移住地入植者1家族5名着亜、以後1966年4月19日迄、16家族43名の入植者をみた。（写真ページ参照）。
- 1966年8月 推名外務大臣来亜
- 1966年12月9日 移住事業団にて、エスベランサ小移住地購入、単独雇用農青年の独立の機会を与え、このような小移住地を現在迄10ヶ所に設定（ネウケン州に果樹の小移住地もある）この他に現在中移住地を造成中（ブエノス市北方約142kmの地点で1区画約15ha）
- 1969年1月31日 在亜日系企業振興会発足、1982年8月20日 亜国経済の不況により解散。
- 1973年7月15日 航空機による移住が開始され、1家族3名单身5名着亜（以前技術移住者2名が会社の要望で航空機で来亜した。（写真ページ参照））。
- 1974年8月1日 海外移住事業団、海外技術協力事業団等が統合、国際協力事業団発足。
- 1974年8月 ニッカイ共済会（医療等）発足。
- 1975年6月 ラ・プラタ河流域諸国経済使節団来亜。
- 1976年9月6日 航空、海運等所得に対する課税の相互免除。
- 1976年10月 マルティネス・デ・オス経済大臣訪日。
- 1977年4月 ベゾーネ企画大臣訪日。
- 1977年6月 澄田日本輸出入銀行総裁来亜。
- 1977年5月 小坂前外務大臣来亜。
- 1977年11月 永野ミッシェン来亜（第5回日亜経済合同委員会）
- 1978年1月 オヘダ連邦警察長官訪日。  
      〃      デイス中銀総裁訪日。
- 1978年8月 鈴木善幸農林大臣及び桜内建設大臣来亜。  
      11月 ゲバラ海洋庁長官訪日。

- 1979年1月 三木元首相来亜。  
4月 クレイン経済企画庁長官及びカチャトーレ・プエノス市長訪日。  
5月 クグレイル・コルフオ(コドラド河流域開発公団)総裁訪日。  
6月 エスラーダ商業貿易庁長官訪日。  
8月 園田外務大臣来亜。
- 1979年12月 日亜福祉センター(老人関係)発足。
- 1980年6月 日亜文化協定成立。
- 1981年8月 日亜技術協力協定成立。
- 1982年3月 マデロ原子力開発長官訪日。  
4月 亜国はマルビーナス諸島において英国と紛争、日系人も兵士にとられた。

## 17. 移 住

1. 亜国憲法第17条「連邦政府は、ヨーロッパ人の移民を奨励しなければならない、また、土地を耕作し、産業を向上し、芸術および科学を導入し、指導する目的をもって到来する外国人のアルゼンチンへの入国は、これを制限し、あるいは、いかなる租税を賦課してもならない」とされており、憲法制定の1853年以来常に移住を奨励してきた。

その以後1900初期まで、多くのヨーロッパ移住者があり、1940年代には亜国の人口、1300万人に達した(1810年頃の人口は約30万人)第2次大戦以後の1947年～59年には、イタリア人移民約30万、スペイン移民16万人、その他の国の移住者を合せると、約70万人の移住者があったが、それをピークとして次第に激減していった。

### 2. 日本人の移住

#### 1) 戦 前

明治、大正末期迄の移住者は約1300人位であったが、昭和初期から第2次大戦直前迄(昭和16年末迄)に約4000人の移住者があり、在留邦人の数は約5300人となり、(内沖縄県人は約2800人)亜国生れの、二世を入れた日系人全体は約7000人であった。

#### 2) 戦 後

第二次大戦後移住が再開された1948年以後1982年3月迄約5900人(内沖縄県人3800人)が日本から直接移住した。又隣国パラグアイ、ボリビア、ブラジル等からの転住者(1965年頃以降から)が約1200名、自由渡航者等を入れると推定、計8000名が永住者として亜国へ入国した。

#### 3) 日系人口(1979年10月在亜日本国大使館調)

永住者(日本人)            15343人

日系人(2～3世)	15861人
長期滞在者	587人
計	31,791人

#### 4) 地域分布

ブエノス・アイレス市	9,870人
ブエノス・アイレス州	15,392人
コルドバ州	1,256人
ミシオネス州	1,182人
サンタ・フェ州	969人
メンドサ州	431人
その他の州	2,691人
計	31,791人

#### 5) 職業分布(経営者、従業員、その家族を含む)

(1) 花卉栽培	1,462戸	5,698人
(2) 果樹野菜等	473戸	2,184人
(3) 牧畜養蜂等	89戸	408人
(4) 製造業		
木工、家具、陶器、製紙、修理、		
食品、繊維等の軽工業、	308戸	1,011人
(5) 洗染業	3,205戸	13,428人
(6) 物品、販売、飲食店等	507戸	1,644人
(7) 運輸その他	376戸	1,172人
(8) 自由業		
サラリーマン、医師、弁護士		
公務員、教育、年金受給者他	2,375戸	6,246人
合計	8,795戸	31,791人

以上の日系人の半数は2～3世であり、戦前の移住者は既に高令化している。戦時中は移住が中断されたこともあって、移住者の年令に断層が生じた。現在の経済活動は、殆んど戦後の移住者に移りつゝある。全体の70%以上が沖縄県出身者によって占められている。

又、戦前、戦後の移住者で、大使館に帰国届を出さずに帰国した人、亜国人と結婚し日系社会から離れた人、死亡届の提出がない等により、全体の数は、もっと下廻るものとみられる。近年移住者の激減とあいまって、日系人社会が先細りしつつある。然しながら、2～3世は亜国社会の中で、医師、技師、弁護士、公務員、国家会計士、教師、銀行、会計等で、多方面で活躍している。

## 6) 移住協定

1961年12月 フロンデシ大統領が訪日、移住協定に調印、1963年5月17日、同協定が発効した。この協定は、両国政府の合意に基く計画移住の実現はみていない（但し、ガルアベー移住地及びアンデス移住地は、準計画移住地としての合意を得ている）然しながら、この協定の締結により、日本人の移住が容易となり、移住者の地位が安定したとも言える。

7) 移住取扱い機関は、邦人関係史で記しているので詳略するが、日本政府機関（現国際協力事業団）が設定した移住地は次の通りである。

移住地名	所在	購入年月	総面積	作物	ロッテ数
① ガルアベー	ミシオネス州	1957年 7月	3110 ha	温州みかん、植林100 桃、マンデロカ煙草	
② アンデス	メンドサ州	1959年 5月	1312 ha	ぶどう、すもも、いち ご、トマト、アルファル ファ	71
③ エスベランサ (小移住地)	ブエノス州	1966年12月	37 ha	花卉	11
④ アルマフエルテ (小移住地)	"	1968年 3月	38 ha	"	15
⑤ ローマ・ベルデ (小移住地)	"	1968年12月	42 ha	"	14
⑥ マルコス・パス (小移住地)	"	1970年 3月	40 ha	"	14
⑦ 第1エル・パット (小移住地)	"	1971年 7月	37 ha	"	14
⑧ セラージャ (小移住地)	"	1972年 3月	30 ha	"	10
⑨ チャニヤル (小移住地)	ネウケン州	1973年 2月	76 ha	りんご、いちご、トマト ピーマン	7
⑩ ラ・ブラタ (小移住地)	ブエノス州	1975年 9月	120	花卉	49
⑪ グレウ (小移住地)	"	1977年 8月	75	"	24
⑫ 第2エル・パット (小移住地)	"	1980年12月	37	"	12
⑬ バダデーロ (中移住地)	"	1982年 3月	406	果樹、野菜、花卉	26

バダデーロ中移住地以外は殆んど満植状態で、移住者は、それぞれ営農に励んでおり、将来益々期待されている。

その他の移住事業として

- ① 移住者の受入れあっせん指導援護。
- ② 移住者への営農指導普及（グレウ移住地にある、事業団の園芸センターの運営を含む）  
— 写真ページ参照）
- ③ 移住者子弟への日本語教育の普及と助成。



④ 融資業務

等々も行っている、これには民間移住団体である。亜国拓殖協同組合が協力している。

又、国際協力事業団は、亜国に対する技術協力の事業として、亜国人の研修員の日本派遣、専門家及び各調査団の受入れ、供与機材の受入れ、帰国研修員団体の育成等も行っている。

18. 各州の出先の所在地

1. ブエノス州 (Casa de la Provincia de Buenos Aires)			
	AV. Callao	235	40-9909
2. カタマルカ州	AV. Cordoba	2080	46-6891
3. チャコ州	AV. Callao	322	45-0961
4. チュブ州	Paraguay	876	32-2340
5. ラ・リオハ州	AV. Callo	755	41-4524
6. メンドサ州	AV. Callo	445	40-0835
7. サン・ファン州	Maipu	99	34-2609
8. サンチャゴ・デル・エステロ州	Florida	274	49-4475
9. トウクマン州	B. Mitre	836	40-2214
10. コルドバ州	AV. Callao		49-2596
11. コリエンテス州	San Martin	333	394-7432
12. フオルモサ州	Birigoy	188	38-5021
13. フフイ州	AV. Santa Fe	967	393-3174
14. ラ・バンバ州	Suipacha	346	35-4963
15. サンタ・クルス州	AV. Mayo	35	30-0269
16. リオネグロ州	Tucuman	1920	49-5616
17. サンタ・フェ州	AV. Mayo	358	32-0394
18. ネウケン州	Cangallo	685	46-9265
19. エントレ・リオス州	Cangallo	451	4 piso 45-6117
20. サルタ州	Maipu	633	392-8074
21. サン・ルイス州	Birigoy	224	38-8694
22. ミシオネス州	AV. Santa Fe	989	393-1615
23. ティラ・デル・フェゴ	Cangallo	935	35-6818
			32-5611
24. 観光局	Suipacha	1111	20-21 32-5621

これらの出先では、州の産業の紹介、観光案内等のパンフレット又地図等も用意されている。  
州の事情を聞くのに便利である。

## 19. 各国領事部

(住所 電話 受付時間帯)

1.	ボリビア	25 de Mayo	611		31-7365		900
							1400
2.	ブラジル	Paraguay	480	2Piso	31-3757		1315
					8368		1800
3.	カナダ	Suipacha	1111	25Piso	32-9081		900
					9088		1130
4.	コロンビア	Viamonte	1636	5Piso	40-2436		900
							1130
5.	韓国	Cnel. Diaz	2860		83-2736	900	1500
					5498	1300	1800
6.	チリ	San Martin	439	9Piso	394-6582		800
					6371		1600
8.	ドミニカ	Maipu	844	5-A	392-2381		1600
							1800
9.	エクワドル	AV. Quintana	585	10Piso	42-6408		
10.	スペイン	Guido	1760		41-0078		900
							1400
11.	米国	AV. Colombia	4300		774-8811		900
					9911		1130
12.	フランス	AV. Santa Fe	846	4Piso	32-2425		900
					1100		1200
13.	英国	Luis Agote	2412		824-7071	930	1430
					7079	1200	1630
14.	イタリア	M.T. de Alvear	1149		393-9149		830
					9449		1200
15.	メキシコ	Paraguay	577	2Piso	32-3103		900
					2683		1400
16.	パラグアイ	Maipu	464	3Piso	393-6536		930
							1330
17.	ペルー	AV. Corrientes	330	2Piso	31-3374		900
							1330
18.	ウルグアイ	AV. Corrientes	545	6Piso	394-4129		1000
					3534		1600
19.	ベネズエラ	Esmeralda	909	4-A	32-2786		900
							1300

## 20. 主な機関及び団体

(住所 電話番号)

1.	日本国大使館	AV. Paseo Colon	275	9-10-11Piso	30-6181
	領事部	" " "	"		30-5645
	文化部	Paraguay	1122		45-6953
					6945

2.	国際協力事業団	DR. Ricardo Rojas	401		312-8344 312-8926 311-0514
3.	在亜日本人会	AV. Independencia	732		26-8182 23-9904
4.	ニッケイ共済会	" "	"		"
5.	在亜日本商工会議所	Libertad	836	2-38	42-1104
6.	亜国拓植協同組合	Venezuela	2130		941-1675 942-6766
7.	日亜福祉センター	"			"
8.	JETRO	Lavalle	1125	6-14	35-0684 1707
9.	ニッパル園芸協同組合	AV. Corrientes	4062		86-6806
10.	日本輸出入銀行	AV. Corrientes	456	12Piso	45-3784
11.	日系企業振興協会	Mexico	890		30-4985
12.	日本語教育連合会	AV. Corrientes	2330		48-6305
13.	日本人学校	La Pampa	3250		783-1919
14.	東京銀行	AV. Corrientes	420		392-7087 7277 393-8097 8248
15.	日本航空	AV. Cordoba	858		392-7213 7198
16.	大阪三井船舶	AV. Corrientes	311		31-4583 32-4836
17.	日本郵船	AV. Corrientes	327	3-D	31-6551 8171
18.	亜国日報	Mexico	2044		48-9551
19.	らぶらた報知	Uspallata	981		28-8716

## 21. 県人会

(住所 電話等)

註 (1) ( )内は代表者氏名

(2) 住所は殆んどが仮事務所、代表者又は会長宅となっている。

(3) Prov. Bs. Aires … ブエノス・アイレス州他はブエノス・アイレス市

- 北海道人会(加藤一郎) AV. Independencia 732 26-8182
- 青森県人会(岩間岩男) AV. San Martin y Laprida, Don Torcuato, Gral. Sarmiento, Prov. Bs. Aires
- 秋田 (山尾敏夫) Valentin Gomez 2759 86-2599
- 岩手 (鈴木幸夫) C. C. NO61, Escobar, Prov. Bs. Aires
- 宮城 (遠藤稔夫) Call4, Los Porvorines, Gral. Sarmiento, Prov. Bs. Aires
- 山形 (佐藤三郎) C. C. No4, Matheu, Prov. Bs. Aires

7.	福島	(七海 貢)	AV. Corrientes	4062	86-6806
8.	茨城	(小池七郎)	C. C. N°10 Escobar, Prov. Bs. Aires		
9.	栃木	(秋沢尙文)	Ministro Brin	491 90-8	27-5248
10.	群馬	(松永公平)	Colonia J. J. de Urquiza, Merchor Romero, Partido de La Plata, Prov. Bs. Aires		
11.	埼玉	(宿谷準一)	C. C. N°15, Jose C. Paz, Prov. Bs. Aires		
12.	東京都人会		Suipacha	755	392-6950
13.	千葉県人会	(和田 乾)	Ministro Brin	491	27-5248
14.	神奈川	(平岡宗彦)	DR. Ricardo Rojas	401	312-8926 311-0514
15.	山梨	(河西 稔)	Arenales	3429 9	824-6167
16.	静岡	(大畑弘行)	Somellera	5471 1	601-4949
17.	新潟	(関沢二三郎)	Alfaro 421, Acassuzo, Partido San Ishidro, Prov. Bs. Aires		792-5219
18.	富山	(柴 平三)	DR Ricardo Rojas	401	312-8926 311-0514
19.	石川	(井上友子)	Carlos F. Melo 1442, Vte. Lopez, Prov. Bs. Aires		791-9205
20.	福井	(森藤之助)	Ohiggins	4502	701-
21.	長野	(小治 治)	Bella Flor, I. P. Noquez, Prov. Bs. Aires		
22.	岐阜	(小木曾嘉三)	Cervantes	1684	
23.	愛知	(村瀬慎爾)	Moreno	1628	45-0386
24.	滋賀	(早藤八三郎)	Zuviria 4784, Jose C. Paz, Partido Gral. Sarmiento, Prov. Bs. Aires		
25.	三重	(田中嘉雄)	C. C. N°28, Longchamps, Partido Alte. Brown, Prov. Bs. Aires		
26.	和歌山	(岡 譲)	Gral. Artigas	5332	572-0345
27.	兵庫	(山田ホルヘ)	Azucuenta	1811 30A	824-2430
28.	なにかわ会	(大阪-島本重一)	Azara 1651 Banfield, Partido Lomas de Zamora, Prov. Bs. Aires		
29.	岡山	(和田脩吉)	Mexico	890	30-4985
30.	鳥取	(坪倉広加)	Colonia J. J. de Urquiza Merchor Romero, Partido de La Plata, Prov. Bs. Aires		
31.	広島	(沖田 悟)	Nazca	2639	
32.	島根	(中田 幸)	Bermudez 2930, Olivos, Partido Vicente Lopez, Prov. Bs. Aires		797-9622
33.	香川	(細川忠義)	Ruta 9 Km 51, Escobar, Prov. Bs. Aires		

34. 徳島 (田中庄八) Agüero 4454, Villa Dominico, Avellaneda, Prov. Bs. Aires
35. 高知 (中谷泰依) Urquiza 174, Florencio Valera, Prov. Bs. Aires
36. 愛媛 (徳田行雄) Constitucion y Bulnes, Jose C. Paz, Partido Gral. Sarmiento, Prov. Bs. Aires
37. 福岡 (松下 優) Santos Dumont 1920 5 - C 771-8204
38. 大分 (稲尾太郎) Suipacha 453, Villa Bonich, Partido de San Martin, Prov. Bs. Aires
39. 熊本 (入江正治) Agüero 5253, San Miguel, Partido Gral. Sarmiento, Prov. Bs. Aires 657-3664
40. 宮崎 (緒方清明) San Juan y Edison, San Miguel, Partido Gral. Sarmiento, Prov. Bs. Aires
41. 鹿児島 (田代稲十郎) Chascomus 5638 68-5567
42. 沖縄県人連合会 事務所 Argerich 68 612-5840

## 22. 日系人医師

1. 日会共済会 (全 般) AV. Independencia 732 26-8182
2. 新里エルサ (婦人科) Bahia Blanca 1780 566-5379
3. 新垣ロベルト (歯 科) Cerrito 46 30-E 37-7937
4. 玉城アルベルト (心 臓) Arenales 981 30 393-5376  
393-4015
5. 仲曾根俊夫 (心 臓) Galaguaychu 645 69-4811
6. 新垣ローサ (婦人科) AV. del Trabajo 4759 69-8069
7. 山内エミリオ (婦人科) Cangallo 1547 P. B. Dto. 5 35-9440
8. 新里フーリオ (内科一般) Montevideo 979 10 44-8935
9. 古庄マーベル (小児科) " 44-1484
10. 安谷屋美枝子 (歯 科) Cuenca 2465 53-2151
11. OMAJA (Organizacion Medica Argentina Japonesa) 全般 Tucuman 950  
392-1689
12. 羽柴ラウル (外科・火傷) Eduardo Acevedo 297 812-7719
13. 外間ホルヘ (リウマチ、整形) AV. San Martin 1732
14. 外間フーリオ Caseros 750-9320  
ブエノスにもサナトリオあり。

## 23. ホ テ ル

1.	Sheraton	San Martin	1 2 2 5	3 1-6 3 1 1
2.	Praza	Florida	1 0 0 5	3 1-5 0 1 1
3.	Panamericano	Carlos Pellegrini	5 2 5	3 9 3-6 1 1 1
4.	Arvear Palece	AV. Alvear	1 8 9 1	4 1-4 0 3 1
5.	Bauen	Callao	3 5 0	3 9 3-2 0 1 0
6.	Libertador	AV. Cordoba	6 8 0	3 9 2-3 0 5 2
7.	Crarige	Tucuman	5 3 5	3 9 3-4 3 0 1
8.	Crillon	AV. Santa Fe	7 9 6	3 1-0 4 3 2 4 4 8 4
9.	City	Bolivar	1 6 0	3 4-6 4 8 1
10.	Lancaster	AV. Cordoba	4 0 5	3 1 1-3 0 2 1
11.	Wilton Palace	AV. Callao	1 1 6 2	4 1-1 8 1 8
12.	Savoy	AV. Callao	1 8 1	4 0-0 1 5 1
13.	Nogaro	J. A. Roca	6 5 2	3 3-0 0 9 9
14.	Presidente	Cerrito	8 5 0	4 9-7 6 7 1
15.	Impala	Libertad	1 2 1 5	4 2-5 1 0 7
16.	Castelar	AV. Mayo	1 1 5 2	3 7-5 0 0 1
17.	Dora	Maipu	9 6 3	3 2-7 3 9 1
18.	Gran Hotel Buenos Aires M.T. de Alvear		7 6 7	3 2-3 0 0 1
19.	Oxford	Chacabuco	7 1 3	3 4-8 5 9 5

## 24. レ ス ト ラ ン

1)	Chacra	(肉料理)	AV. Cordoba	9 4 1	3 9 2-1 4 0 9
2)	La Cabana	( " )	Entre Rios	4 3 6	
3)	La Estancia	( " )	Lavalle	9 4 1	
4)	Colonial	( " )	M.T. de Alvear	1 2 0 2	
5)	La Tranquera	( " )	AV. Figuera Alcorta	6 4 6 4	
6)	La Carreta	( " )	AV. Lib. Gral. San Martin	6 9 0 2	
7)	Fogon Martin Fierro	( " )	AV. Figueroa Alcorta y Basavilbaso		
8)	El Ceibal	( " )	Las Heras	2 2 6 5	
9)	El Mangrullo	( " )	Autopista Tte. Gral. Ricchieri		

エセイサ国際空港 1.5 Km手前

- |                                   |         |                           |        |            |
|-----------------------------------|---------|---------------------------|--------|------------|
| 10) Nino                          | (肉料理)   | AV. Gral. San. Martin     | 1295   | Vte. Lopez |
| 11) Hoyo 19                       | ( # )   | AV. Callao                | 1631   |            |
| 12) Imparcial                     | (スペイン)  | H.Yrigoyen y Salta        |        |            |
| 13) Anahuac Calli                 | (メキシコ)  | Guatemala                 | 5168   |            |
| 14) El Caldero                    | (スペイン)  | Garrite                   | 3972   |            |
| 15) Automovil Club                | (国際)    | AV. Lib. Gral. San Martin | 1850   |            |
| 16) Au Bec.Fin                    | (フランス)  | Arenales                  | 1223   |            |
| 17) Buckings (ロシア、カピヤ、エビ等)        |         | Bme. Cruz                 | 1435,  | Vte. Lopez |
| 18) Paprika                       | (ハンガリー) | M.T. de Alvear            | 1372   |            |
| 19) London Grill                  | (英国)    | Reconquista               | 455    |            |
| 20) Alexandra                     | (英国)    | San Martin                | 774    |            |
| 21) La Porta d'Oro                | (イタリア)  | Carlos Pellegrini         | 1520   |            |
| 22) Zi Teresa                     | (イタリア)  | Las Heras                 | 2939   |            |
| 23) Cantina Israeli (イスラエル-中近東)   |         | Angel Gallardo            | 543    |            |
| 24) Casa Libanesa (リビアー-中近東)      |         | Junin                     | 1460   |            |
| 25) Le Bistro (ヨーロッパ風)            |         | Demaria y Sinclair        |        |            |
| 26) Perigord (フランス)               |         | AV. Lib. Gral. San Martin | 15350. |            |
|                                   |         | San Ishidro               |        |            |
| 27) Las Zueco Blanco (ヨーロッパ風)     |         | Cerrito                   | 1060   |            |
| 28) A.B.C (ドイツ)                   |         | Lavalle                   | 545    |            |
| 29) Tres Coronas (スカンジナビア)        |         | AV. Indendencia           | 371    |            |
| 30) La Fondue (フランス)              |         | AV. Gral. San Martin      | 4534   |            |
| 31) El Recho de San Telmo (コロニヤ風) |         | Carlos Calvo              | 242    |            |
| 32) Mauna Loa (ハワイ)               |         | Medrano                   | 1071   |            |
| 33) Meson Espano (スペイン)           |         | AV. Caseros               | 1750   |            |
| 34) La Ruleta Rusa (ロシア)          |         | La Pampa                  | 1595   |            |
| 35) Casello Vecchio (イタリア魚)       |         | Pedro Mendoza             | 1455   |            |
| 36) Asador (垂国)                   |         | Reconquista               | 1132   |            |
| 37) La Autentica Banderita (垂国)   |         | Moreno                    | 1127   |            |
| 38) Fenix (スペイン)                  |         | Sarmiento                 | 1743   |            |
| 39) EL Tiburon (国際魚)              |         | AV. Pedro Mendoza         | 1561   |            |
| 40) Frankfurt (ドイツ)               |         | Piedras                   | 375    |            |
| 41) La Raya (垂国)                  |         | Pavon                     | 3062   |            |
| 42) Pippo (イタリア、スパゲッテ)            |         | Parana                    | 356    |            |

※ アエロバルケ空港近くの、ラプラタ河沿ひに(コスタネーラ)焼肉料理店が並んでいる。

## 25. 日本食、中華、レストラン

### 1. 日本食

1) 日会食堂	AV. Independencia	732	26-8149
2) 故郷(ふるさと)	Mexico	1424	38-1259
3) すえひろ	Alsina	1692	45-7656
4) 北山	B. Mitre	2210	46-8784
5) 富士よし	Gallo	872	88-8787 86-9869
6) すきやき	San Lorenzo	304	
7) みかど	Conera	898	781-4254
8) みさき	AV. San Juan	751	26-9713
9) おゆき	Colon 985, Burzaco		
10) ロサリオ日会	Iriondo 1035, Rosario		38-0739

### 2. 中華料理

1) 勝利楼(Gran Victoria)	Suipacha	783	393-7429
2) 吉慶楼(Chin Chin)	Charcas	3342	83-5249
3) グラン・ホンコン	Juncal	2471	85-5715
4) La Cantina China	Maipu	967	32-7391
5) 陶々飯店(Tao Tao)	AV. Cabildo	1418	783-5806
	支店も市内に1軒ある。		
6) アジア	Esmeralda	768	392-0324
7) 東方飯店(Oriente)	Maipu	512	393-8433
8) 龍城(Ciudad de Dragon)	Maipu	333	45-1149
9) 第1飯店	Esmeralda	1048	31-8687
10) 国賓	AV. Olazabal	3612	782-3884 784-5182
11) 泰山飯店(Tai Shan)	AV. Corrientes	4180	
12) 同享飯店(Tong Shan)	AV. Corrientes	3562	86-8751
13) 金山飯店(King Shan)	El Cano	3000	
14) 統一大飯店	M.T. de Alvear	1589	44-6220 5157
15) 重慶飯店(Chung King)	AV. Santa Fe	5211	771-0236
16) ロス・チーノス	Paraguay	725	41-4323



17) マデロン広東	AV. Cordoba	945	392-6760
18) チーノ・セントラル	Rivadavia	600	

その他、ブエノス市内に数10軒の中華料理店が存在する。

### 3. 韓国料理

1) Buegoky Chip	Mathen	184	48-2026
2) 迎 資 館	Solis	2071	23-8145
3) 馬 山 食 堂	AV. Libertador	7904	70-5260

### 4. バー、カラオケ等(日系)

1) スナックバー東京	H.Yrigoyen	2081	48-1628
2) し あ わ せ	Junin	1132	86-0437
3) ウィスケリア「太 四」 たまる	Solis	225	

### 5. 亜国料理

純然たる亜国料理は、主に塩で味をつけた簡単なものであるが、スペイン系及びイタリア系が90%を占めている国にでもあるので、両国のオリジナル料理が亜国化したものもある。

主なものは次のようなものがある。

- 1) アサード(焼肉): 骨つき(ろっ骨)付の牛肉、焼肉用牛肉、小羊、山羊(腹割したもの)鶏等を材料として、炭又は薪を燃やした残り火で時間をかけて焼きあげる。味は殆んど塩だけであるが、チュミチューリといって、亜国独特の焼肉用ソースをかける場合もある。又牛又は小牛そのものを、土の中でむし焼きする、アサード・コンクエロというものもある。大きな会合の場合行り。食事の1日前から準備し、ゆっくり時間をかけて、むし上げる。
- 2) バリジャーダ: 牛や羊の肉、甲状腺、腸、腸詰(豚、牛、馬等の肉)、モルシジヤ(血の腸詰)肝臓、腎臓等々を塩だけで、鉄板で焼いたもの。
- 3) ブッチェーロ: 牛の脚のぶつ切り(髓のついたまゝ)雌の鶏のぶつ切りに、ガルバンソ(豆)カボチャ、ジャガイモ、にんじん等を一諸に水炊きにして、食油、塩、レモンをかけただけの料理。
- 4) エンバナダ: 大きなギョーザを油で揚げたもの、中味は、ひき肉、ゆで卵、干ぶどう、オリーブを刻んだもの、とうもろこし等を練り合したものの、この調味料も薄塩味で、干ぶどうの甘味がある。
- 5) アサードにつきものは、エンサラダである。一般的なものは、レチューガ(チサ、又はサラダ菜)だけのもの、又それにトマトと玉ねぎを加えたものに、塩、食油、酢をかけ合わせる。
- 6) ビフテキ: ビフェ・デ・チャーリソ、ビフェ・デ・ローモ、チュラスコ等肉の部分によって呼び方が違うが、これも塩味で焼き上げたもの、それに、プレイ・デ・ババ(燻じゃがいも)ババ・フリータ(ポテトフライ)がつきもの、一枚のビへは、日本人には食べ切れない位厚くて大きいのが普通。

## 27. 劇 場 ( テア ト ロ )

1. コロン劇場 ( 国立 )      Tucuman      1111      35-1430

格式が高く、オペラ、シンフォニー等が常時行われている。又米国のカーネギーホール、イタリアのスカラ座、フランスのオペラ劇場と並び称されている。国賓を大統領が招待することもある。その際は、タキシード、イブニングドレス等で正装することになる。以前は限られた曜日には正装でなければ入場出来ない時もあった。

2. 1) Mpal Gral San Martin ( ブエノス市立 ) AV Corrientes 1530 46-8611

2) Sala Martin Coronado

市の公演や、市民の催しに多く使用される。日系人の催しも行われることがある。

3. Altos de San Telmo      Estado Unidos      343      362-3738

4. Astral      AV. Corrientes      1639      46-5701

5. Del Centro      Sarmiento      1249      35-9763

6. Blanca Podesta      AV Corrientes      1283      35-2592

7. Teatro Coliseo      M.T. de Alvear      1119      393-1242

日系人の催しに使用されることがある。

8. Del Globo      T. de Alvear      1155      393-8351

9. El Nacional      AV. Corrientes      960      35-7800

10. De La Piedad      B. Mitre      1571      84-0542

11. Liceo      Rivadavia y Parana           38-4291

12. Maipo      Esmeralda      443      392-4882

歌謡ショー等があり、日系人に人気あり。

13. Metropolitan      AV. Corrientes      1343      40-0816

14. Nacional Cervantes      Libertad      815      45-4224

日系人の催しに使用されることがある。

15. Odeon      Esmeralda      367      45-3635

16. Regina      AV. Santa Fe      1235      44-5470

17. Tabaris      AV. Corrientes      831      392-8509

18. Theatron      AV. Santa Fe      2450      825-8914

19. Espanor      AV. Mayo      1222

スペイン舞踊等、現在火事の復旧工事中亜国人は、演劇好きが多い。ブエノスの市内には、以上の他に、約40劇場もあり、常時行われている。

## 28. 映画館

ブエノス市内のみにて約120の映画館がある。亜国人は演劇と同様映画好きである。土曜日や、日曜日の娯楽の1つでもある。Lavalle 通りの500番地~900番地には、映画館が密集しており、好みの映画が見られる、又シネラマ及び70mmの映画館も、それぞれ1館ある。又AV. Corrientes 通りの800番、1700番台にも多くの映画館がある。封切館の主なものは次の通りである。

1. Ambassador	Lavalle 777
2. Gaumont (70mm)	Rivadavia 1635
3. Gran Rex	AV. Corrientes 857
4. Libertador	AV. Corrientes 1234
5. Los Angeles	AV. Corrientes 1770 (デズニ-漫画等)
6. Metro	Cerrito 550
7. Opera	AV. Corrientes 860

映画は一般大衆用、子供用、14才及び18才以下入場禁止の映画、自動車用野外映画館も3館ある。又映画館の椅子席に案内する人も居り、それに心付を若干やることが習慣となっている。

映画の合間には、アイスクリームや、菓子類等を、売子が客席を廻って売りにくる。当然町通りで売っているのより若干高い。案内人及び売子は殆んど制服を着用している。これは劇場も同様である。チケットの前売りも行われている。

## 29. タンゴ

1. Cano 14	Talcahuano	579
2. Viejo Almacen	Balcarce	799
3. Cambalache	Libertad	836
4. Karina For Export	AV. Corrientes	636
5. Michelangelo	Balcarce	432
6. El Marques	J. A. Cabrero	3769
7. Cristopher Coffe Show	Cervino	3804
8. El Boom	Arnales	992
9. El Lagar de Don Juan	AV. Maipu	1950
Vte. Lopez, Prov. Bs. Aires		
10. Dragon Rojo	San Jose	19
11. Union Bar	Las Heras	1938

12	Union Bar	AV. Independencia	229	
		フロックローレ(民謡)		
1.	La Querencia	AV. Mayo	870	
2.	Achalay Huasi	Esmeralda	1040	
3.	El Palo Borracho	Junca1	1773	
4.	El Rancho de Ochoa	Carlos Calvo y Catamarca		
5.	La Pena de Fanny	Ecuador	979	
6.	La Pena de Figueroa Reys	AV. Libertador	2216	
		Olivos, Prov. Bs. Aires		
		ジャズ、他		
1.	Pazzo del Poeta	AV. Gral. San Martin	6349	
2.	La Hosteria del Caballero Blanco	M.T. de Alvear	479	
3.	Taberna Regional Espanola	Rivadavia	1180	
4.	SI	Mendoza	2440	
		ミュージカル・ショー		
1.	El Nacional	AV. Corrientes	970	
2.	Teatro Maipo	Esmeralda	443	
3.	King	AV. Cordoba	937	392-0499
4.	ABA PUB CONCERT	Pje El Maestro	41	
5.	Acapulco club	Viamonte	321	
6.	Michelangelo	Balcarce	433	30-6542
7.	BAR 1903	Gorriti y Malabia		71-8712
8.	Barlovento	Gallo	1311	821-8550
9.	Barsur	Estado Unidos y Balcarce		
10.	Blindo Storn	Tres Sargento	431	
11.	Liceo	Rivadavia y Parana		38-4291
12.	Metropolitani	AV. Corrientes	1343	40-0816
13.	Olimpia	Sarmiento	777	40-2678
14.	Opera	AV. Corrientes	860	35-1335
15.	Payro	San Martin	766	35-5922
16.	Popular de la Ciudad	AV. Corrientes	3671	89-6589
17.	Regina	AV. Santa Fe	1235	44-5470
18.	Tabaris	AV. Corrientes	831	392-8509
19.	Thetron	AV. Santa Fe	2450	825-8914

ナイトクラブ

1. Karim	Carlos Pellegrini	1143	
2. Karina	AV. Corrientes	636	40-1708
3. Palladium	Cerrito	1111	
4. Can Can	Pasaje Seaver	1651	
5. Herodoto	AV. Los Incas	4504	
6. La Casa del Cantor	P. Goyena	603	

ストリップショー

1. Burlesque	AV. Corrientes	483	
2. Mucuba	Laprida	1423	
3. Juliette	Neuguen	1099	
4. Paradise	AV. Corrientes	827	
5. Shaila	Talcahuano	360	
6. Romina	Independencia	2923	
7. Tangolerias	San Martin	954	
8. Transnochand	Pasco	218	

30. みやげ品

亜国から日本への、みやげ品として、次のようなものがある。但し細工は日本と比較して格段の見劣りするが、その素ほくさが又喜ばれてもいる。生の肉類や、内加工品類(但し缶詰等は除いて)は、日本に持込むことが禁止されている。

1. 牛、羊、だ鳥、カルビンチョ(河みずみ)ヌートリア、グワナコ、わに皮等の皮製品(コート類、敷皮、財布、手袋、バック類、飾物、セーター、ボンチョ、バンド等々)
2. 石類(オニックス、メノー石、アメジスト等々による加工品)
3. 銀、銅等による細工等
4. 民芸品
5. その他、バリ-ロチエのチョコレート等も喜ばれるものゝ一つである。
6. 店としては

1) ガレリア・セントロ・プエイレドン	AV. Pueyrredon	145	
2) Antique	Paraguay	459	32-0646
3) Regionales Argentina S.R.L.	Sarmiento	810	46-2194
	Suipacha	217	35-6969

4) Frenkels	Florida	1 075	32-4523
	(日本人の売子が応待する)		
5) La Rueda	Paraguay	730	392-0652
6) Etons	Florida	1045	31-4572
	(日本人の売子が応待する)		
7) Kelly	Paraguay	431	311-5712
8) Martin Fierro	AV. Santa Fe	904	
9) Mayorga	Florida	394	
10) Gianni Gucci	Florida	640	
11) Lopez	Marcelo T. de Alvear	640	
12) Carlos Pisk	AV. Santa Fe	774	
13) Maximilian	M.T. de Alvear	676	
14) Berthe	AV. Santa Fe	1227	

註 亜国は殆んど定価が表示してあり、値切りには応じないが、みやげ品店は割引をして呉れるところが多い。

#### 靴 の 店

亜国の靴は、イタリア仕込みであり、良い靴になると形がくずれない。又亜国人は靴を自分に合せ、値段の上下を問わず吟味する習慣がある。靴の店としてに、

1. Guante	Florida	331	男物
2. Delgado	AV. Corrientes	601	"
3. Ostende	Florida	371	女物
4. Norde	Florida	980	"

以上が有名店である。

### 31. 日系旅行業者

1. 宮本旅行社	Libertado	836		393-3234 9899
2. 鈴木トラベル	San Martin	987	3P-B	311-9910
3. ニッケイトラベル	Esmeralda	961	3P-B	32-5808
4. フロリダトラベル	Florida	336	2P-207	46-1941 1933
5. ウィングス	San Martin	617		394-1920 392-9736
6. 王那覇旅行社	Mexico	870		34-8319
7. 大城旅行社	Sarmiento	833	3P-B	35-6332

8.	沖 亜 商 事	Solis	3 2 9	8 6-7 5 8 7 4 5-8 6 3 8
9.	村 岡 ( 旅 行 案 内、ミクロ 1 0 人 乗 )			8 6-2 4 4 3
1 0.	Baupesa ( 両 替 も 行 う )	San Martin	3 6 3	3 9 4-4 1 9 0 4 5 7 4

### 32. 日 本 食 品 取 扱 店 ( 日 系 )

1.	亜 拓 販 売 部	Venezuela	2 1 3 0	9 4 1-1 6 7 5 9 4 2-6 7 6 6
2.	小 林 商 店	9 de Julio 51, Temperley, Bs. As.		2 4 4-8 3 3 8
3.	下 門 昌 秀	Gral. Juan G. Lemos	9 2	8 5 4-2 5 1 0
4.	沖 亜 商 事	Solis	3 2 9	8 6-7 5 8 7 4 5-8 6 3 8
5.	下 門 清 正	Concepcion Arenal	3 8 5 6	8 5 5-2 3 7 7
6.	坂 梨 食 品	Ate. Brown 200, Burzaco, Prov. Bs. As.		2 9 9-0 2 9 5
7.	下 門 基 一	Leiva	4 0 2 9	8 5 4-7 8 1 2
8.	仲 間 製 造 販 売 店	Sarmiento 1 2 6 8, km. 30, Don Torcuato, Gral. Sarmiento, Prov. Bs. Aire		7 4 8-0 6 7 7
9.	安 里 商 会	Tres Arroyo	1 9 4 9	5 9-4 7 5 6

#### 電 気 器 具 及 び 修 理

1.	三 笠 電 気	Manuel Ugarte	2 3 1 1	7 8 4-0 3 1 1
2.	青 木 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク	AV. Cordoba	3 3 8 2	8 9-0 1 7 9
3.	光 電 気	Matheu	1 9	4 8-0 8 8 3
4.	三 共 電 気	AV. Mitre 4010, Avellaneda, Prov. Bs. Aires		2 0 7-4 0 2 0
5.	「 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク 」 松 下	Matheu	1 1 1	
6.	「 ダ ル マ 」 ( 神 原 )	Lavalle	2 8 5 7	8 6-3 3 1 0
7.	比 嘉	M.R. Trelles	1 7 2 9	

### 33. 緊 急、通 報

#### 1) ブエノス市連邦警察 ..... 1 0 1

又ブエノス市は各居住区を50地区に分割し、それぞれ所轄警察署が配置され、急報電話が備えつけられている。

2) 消防署 ……本部 38-2222 23-2222  
 37-2222 47-2222

又、ブエノス市を20区に分割、それぞれ消防署が配置されている。

3) 救急病院 107 34-4001 その他

アルコール中毒用、自殺、血液、火傷等特別な救急に対しても、それぞれ配置されている。

4) 以上は、グラン・ブエノス・アイレス、各州都市町村郡にそれぞれ配置されている。

### 34. コ ラ ム 欄 (スペースがあるところに)

※ ブエノス市の食料の1日の消費量

じゃがいも	2,200,000 kg
鮮魚、いか、えび類	75,000 kg
野菜類	1,500,000 kg
果樹	780,000 kg
牛肉	740,000 kg
豚肉	25,000 kg
牛乳	575,000 ℓ

#### アスタ・マニャナ (Hasta Manana)

南方諸国の殆んどが、日本と比較して悠長である。従って今日の出来なかつたことについて、アスタ・マニャナ即ち明日にということであるが、明日になると、又それが出来ないと、アスタ・マニャナとなり、いつまで、それが続くのかと、気短い日本人には我慢ならないところであるが、これが我慢出来ないと、南米諸国では住めないということになる。訪問しても、「ケ・バ・セル”(Que Va Hacer) といって、両手を広げ、首を横にかたむける。「出来なものは、どうしようもないじゃないか」つまり、らちがあかないのである。セグロ (Seguro) 確かに明日といっても、アスタ・マニャナの場合がある。「又明日」 という軽い別れのあいさつには、日常的に使用される。それに、明日の日があるではないかという哲学的な意味も含んで言う場合もある。

#### ガウチョ

#### (ガウチャダ)

現在は牧場主に使用されている牛飼いのことである。(米国で言えば、習慣等は違いがカーボーイのこと) ガウチョ精神(エスピリット)とは、敵には命をなげ出して向う。弱い者は助けるといふ精神、ガウチャダは、自分の損得にかゝわず、人の困っているのを助けるといふこと。

ガウチョの語源は種々言われているが、ガウチョに対し良く言い説と、全く反対の説がある。



何れにせよ、亜国が、スペインの植民地時代に入ったスペイン人と、主として、アラウカーノ族（インディオ）との間に出来た子供が成人するに従って、野生の牛や馬を殺し、その肉を食し皮は、スペイン人やポルトガル人に売って自由奔放の生活をしていた。売った金で、パンや、塩、マテ茶、酒類を求め、野生の牛や馬を求め、野に伏し、ギターをひき、自由詩を歌いながら、広野を馬で渡り歩いたのである。後年牧場主が柵を過わして牛馬を飼うようになって、その柵を無視して、相変わらず、牛殺しをやっていたので牛泥棒などとも言われた。1匹狼でもあったが、独立戦争の時代トックマンにて初めて集団的行動があり、大いに貢献し、今でも、それがガウチョ精神とも言われている。詳述すれば長くなるので概略とした。

#### アルゼンティン タンゴ

音楽に興味のある人、又亜国に関心ある人は、タンゴと言えば、アルゼンティンといわれている。

タンゴの発生の場所は亜国人は、ブエノス市のボッカであると言ひ、ウルグアイ国では、モンテビデオと言ひが、厳密にすることもないし、いわば不詳である。俗説として、亜国が、スペイン植民地の初期の頃（その頃は、ウルグアイ国の区別もなかった時代—1936年以降）スペイン政府は、スペイン人将兵等に1～2名の黒人奴隸をつけて、スペインの派遣隊を亜国に送り込み、その上陸地点が、ブエノス市のボッカであり、ついで、多くのスペインの商人も又、黒人奴隸を伴って、ボッカに上陸、貿易商業の町を築いていった。スペインの将兵或いは技術者達は、自分で買った奴隸でもなかったもので、比較的奴隸に対して寛大であり、スペインの祭りや休日、或いは黒人達の習慣である休日には、自由に解放した。商人達も、その例にならったのは言うまでもない。その休日に、ラ・プラタ河口のボッカで、黒人特有の哀愁を帯びた歌と踊り（故郷をしのんでの歌であったかも知れない）が集団でよく行われた。これがスペイン人によって、アレンジされ、カンドベ～ミロンガ等であり、後年タンゴにアレンジされていった。このタンゴがドイツ等に移り、コンチエンタルタンゴ（大陸のタンゴ）と言われる。アルゼンティン・タンゴは、独特の軽快なリズムで、ドイツから入ってきたバンドネオンやバイオリン、ピアノ、ギター等は、バンドとして欠かせない。しかし、歌詩は、哀愁を帯び、男が女にふられ傷けられた、或いは、その反対（割合に少いが）とか、友達を失ったとかが多い。特に日本人に有名なのは、ラ・クンバルシータがある。（俗語で仮装行列）1915年頃ウルグアイ人Gerald Hernan Matos Rodriguez が作詩、作曲した。

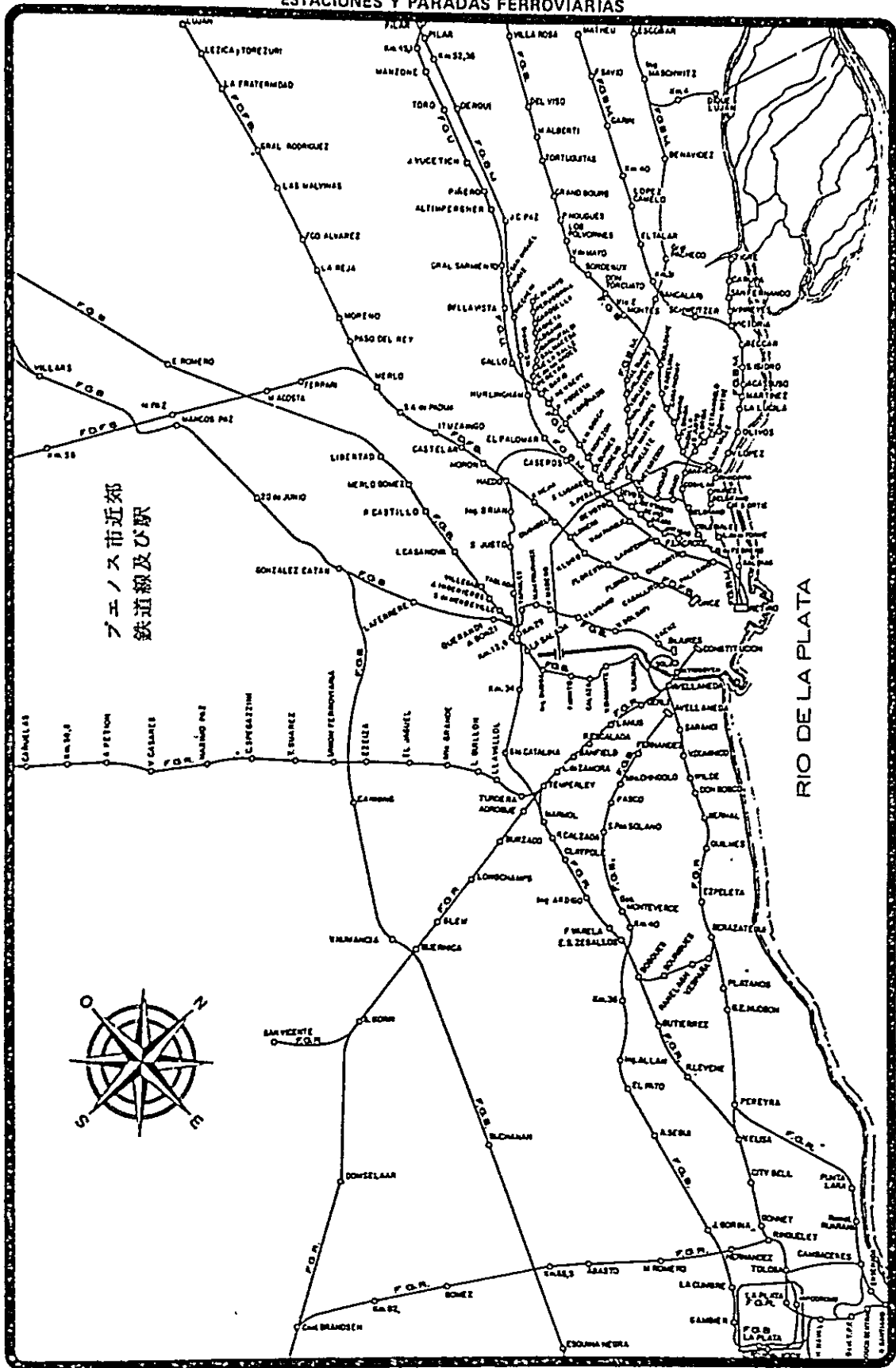
売れない詩人で作曲家であり、楽器店に楽譜を売りつけ、細々と生活しており、脚光を浴びずどこかの隅で死去して仕舞うのである。たまたま楽器店の主人が、ロドリゲスの楽譜を引き出し世に出したのが爆発的人気を得、現在なおひきつがれている。

—インディオの言葉で、カステジャーノ化した言葉（亜国日報 K.T 氏による）—

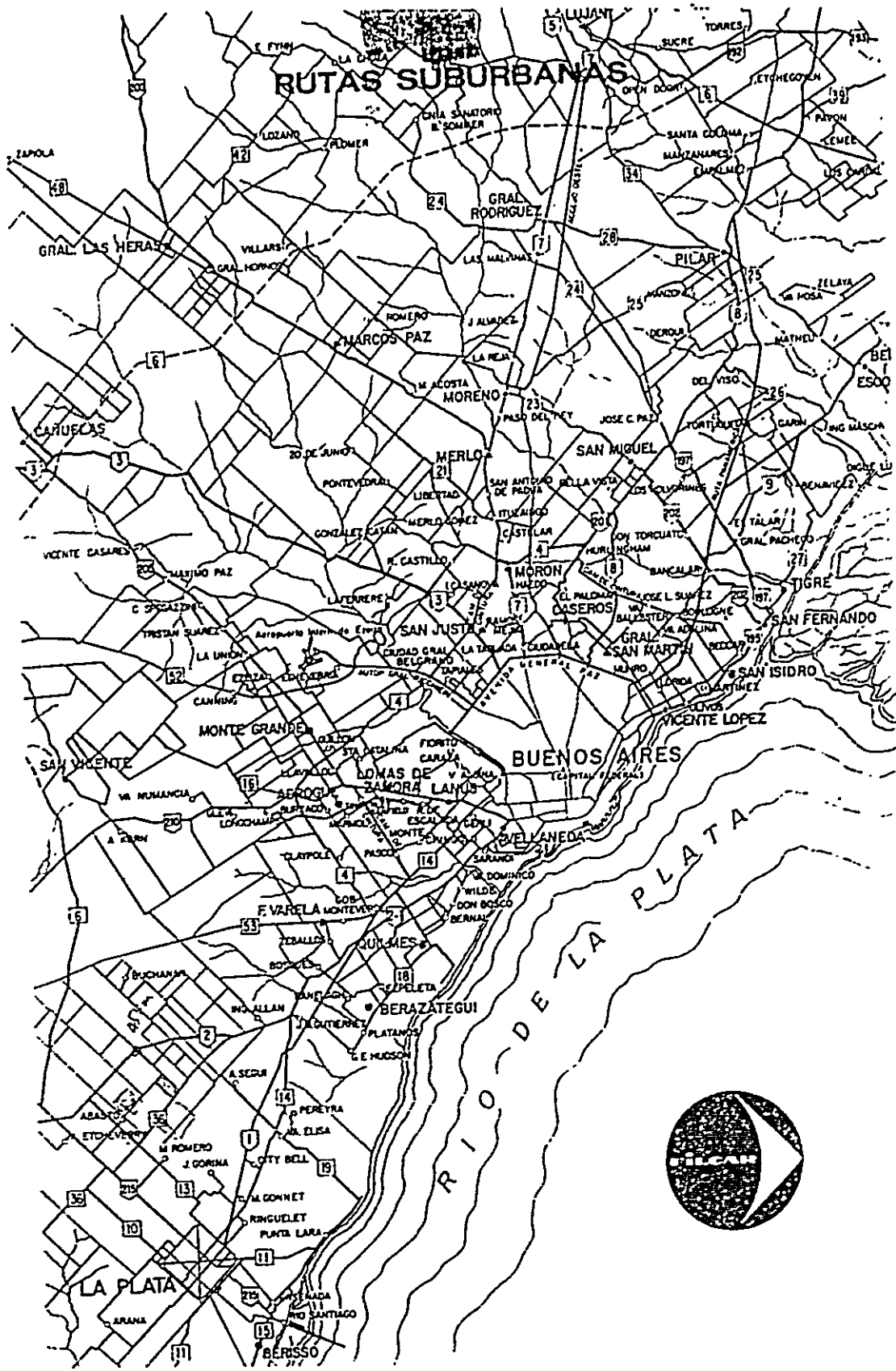
- アドベ…どろを天日で乾わかし、レンガ状とし、建築材料として使用する。地方の州の農夫等の家に多く使用されている。
- コンチャパール…ブエノス市や他の都市では、使用されていないが、地方の方では使われているところもある。サラリーマンの意味。
- カンチャ…競技をするところ（球場…サッカー試合場、練習場、運動場等）

- カラクー…亜国独特の水炊き料理（ブッチェロ）に入れる骨、主として牛の足の骨で骨髓が入っている。
- コカイナ…コカイン
- カルパ…テント
- チャンガ…日銭かせぎのこと
- チューラ…食べてしまいたくなるようなかわいい女の子
- チューロ…いい男
- チョト…インボ、日本人は、よくチョット待って下さい等とよく言うが亜国人には変に感ずる。
- チュツパール…飲料水を飲むこと
- チローラ…硬貨
- チュンパール…犬をけしかける
- チャクラ…小農場
- チュチエリーア…安物、がらくた
- チャンゴ…男の子
- チーナ…インデオの娘
- グアチヨ…孤児
- グア…海鳥のフン
- ミイチまたはミシヨ…ねこ
- ニヤット、ニヤッタ…ハナのひくい男、ハナのひくい女、  
よく日本人が、親愛の上、この言葉でからかわれる
- ビージョ…不良、ごろつき
- ブルベリーヤ…いなかの飲屋
- バンバ…平原
- ブーチヨ…煙草の吸ひがら、現在は巻煙草にも使用している
- ランチヨ…草ぶき、どろ壁の小屋
- トランケーラ…農場や牧場の入口の木で作った門
- ジャッパ…おまけ、又地方では酒の肴、
- ジュージョ…雑草
- 他 パーバ…じやがいも  
    マイス…とうもろこし（飼料用）  
    マンジョカ…いもの一種（でんぶんを多く含んでいる）  
    ポロット…豆  
    ビスカーチャ…小動物の1種  
    サバージョ…かぼちや  
    ブューマ…ひよりの1種  
    サバジット…豆かぼちや  
    パーグレ…川魚の1種  
    コンドル…わし

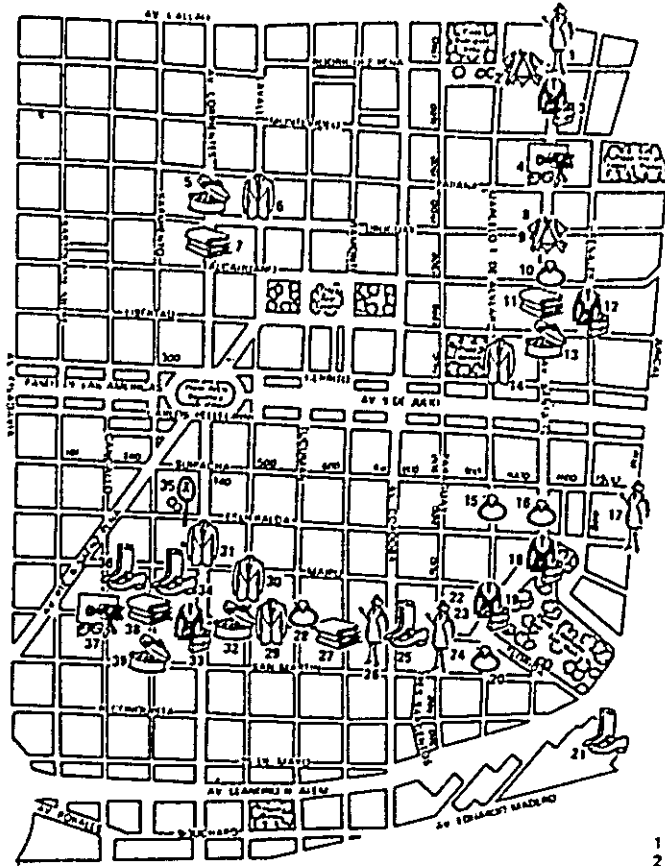
ESTACIONES Y PARADAS FERROVIARIAS



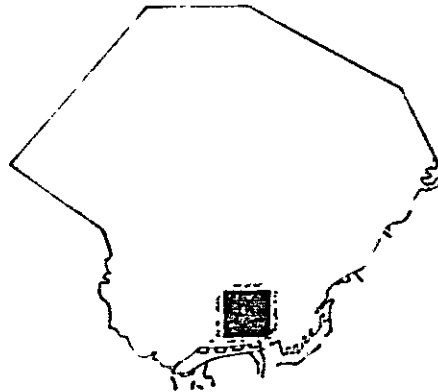
ブエノス市近郊地図



# guía de compras



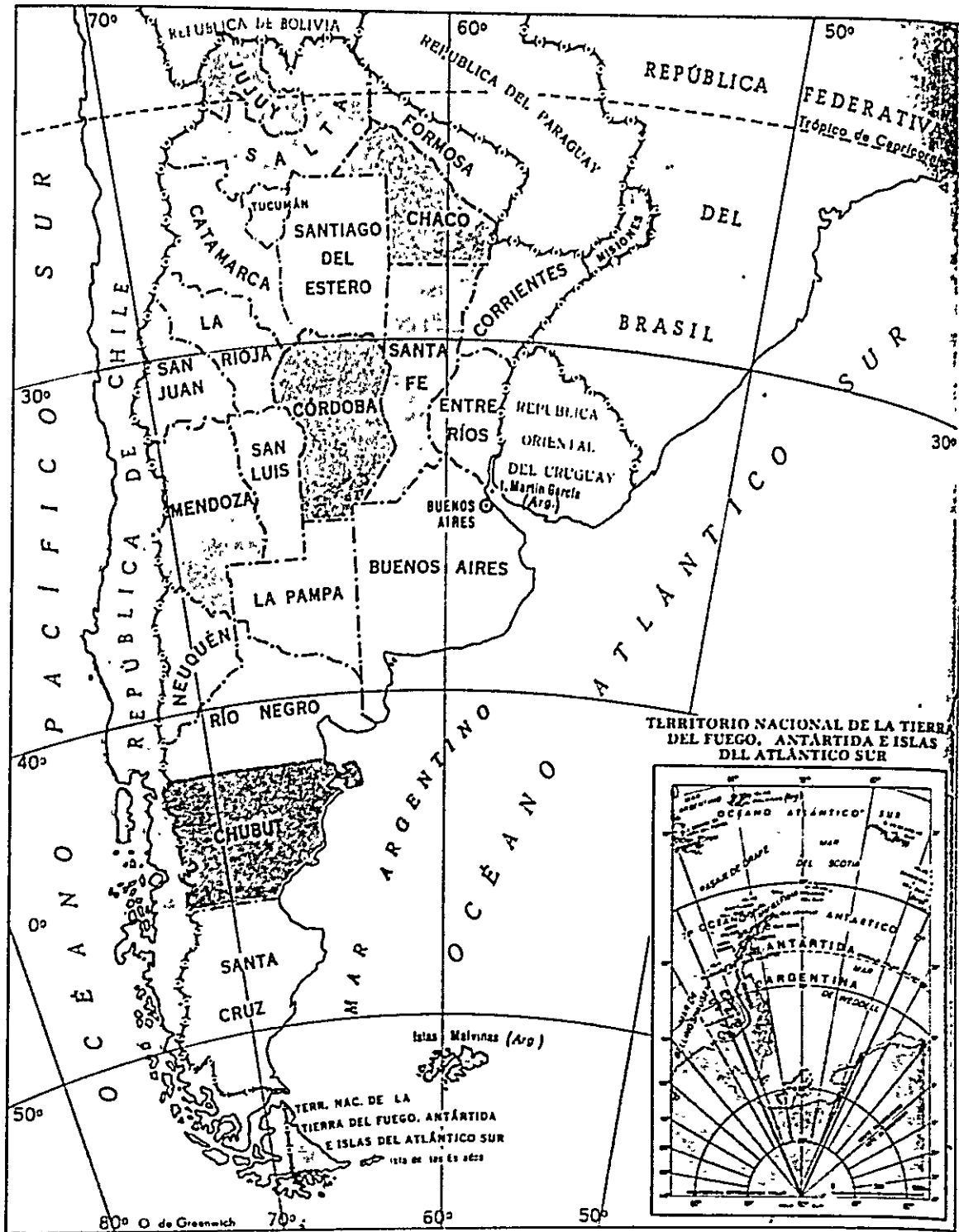
## ブエノス市 ショッピングセンター



- 1 ANA DE CASTRO Santa Fe 1752 2º p
- 2 BELLE DE NUIT Rodriguez Peña 1084
- 3 ROSSI CARUSO Santa Fe 1601
- 4 LUTZ FERRANDO Santa Fe 1561
- 5 LION D'OR Corrientes 1469
- 6 IOTTI Lavalle 1428
- 7 FAUSTO Corrientes 1316
- 8 AZORIN Santa Fe 1345
- 9 POZZI Santa Fe 1374
- 10 BELGRANO Santa Fe 1310
- 11 EDITORIAL KIER Santa Fe 1260
- 12 PETER KENT Arenales 1210
- 13 CORCEGA Santa Fe 1210
- 14 MAISON PIERRE CARDIN M.T. de Alvear 1107
- 15 THE CLOCK HOUSE M.T. de Alvear 819
- 16 ANTONIAZZI CHIAPPE Santa Fe 896
- 17 JAMANDREU Juncal 802 2º p
- 18 CASA PISK Santa Fe 774
- 19 LOPEZ M.T. de Alvear 658
- 20 RICCIARDI M.T. de Alvear 512
- 21 BOTICELLI San Martín 1225 Bs. At. Sheraton Hotel
- 22 EQUINOX Florida 877
- 23 LA SCALA Florida 936
- 24 HARRODS Florida 877
- 25 MC SHOES Florida 718
- 26 MARILU BRAGANCE Florida 774
- 27 ATLANTIDA Florida 643
- 28 ROGER DE LEUY Florida 655
- 29 JAMES SMART Florida y Lavalle
- 30 GONZALEZ Lavalle 641
- 31 CASA SPINETTO Corrientes 770
- 32 MINOTTI Florida 436
- 33 PEDRO MAYORGA Florida 394
- 34 CALZADOS ESE Florida 376
- 35 BARBERA MATOZZI Esmeralda 332
- 36 GUANTE Florida 271
- 37 CASA GRIENSU Florida 240
- 38 EL ATENEO Florida 340
- 39 BOMBONERIAS UHLITZSCH Sarmiento 501

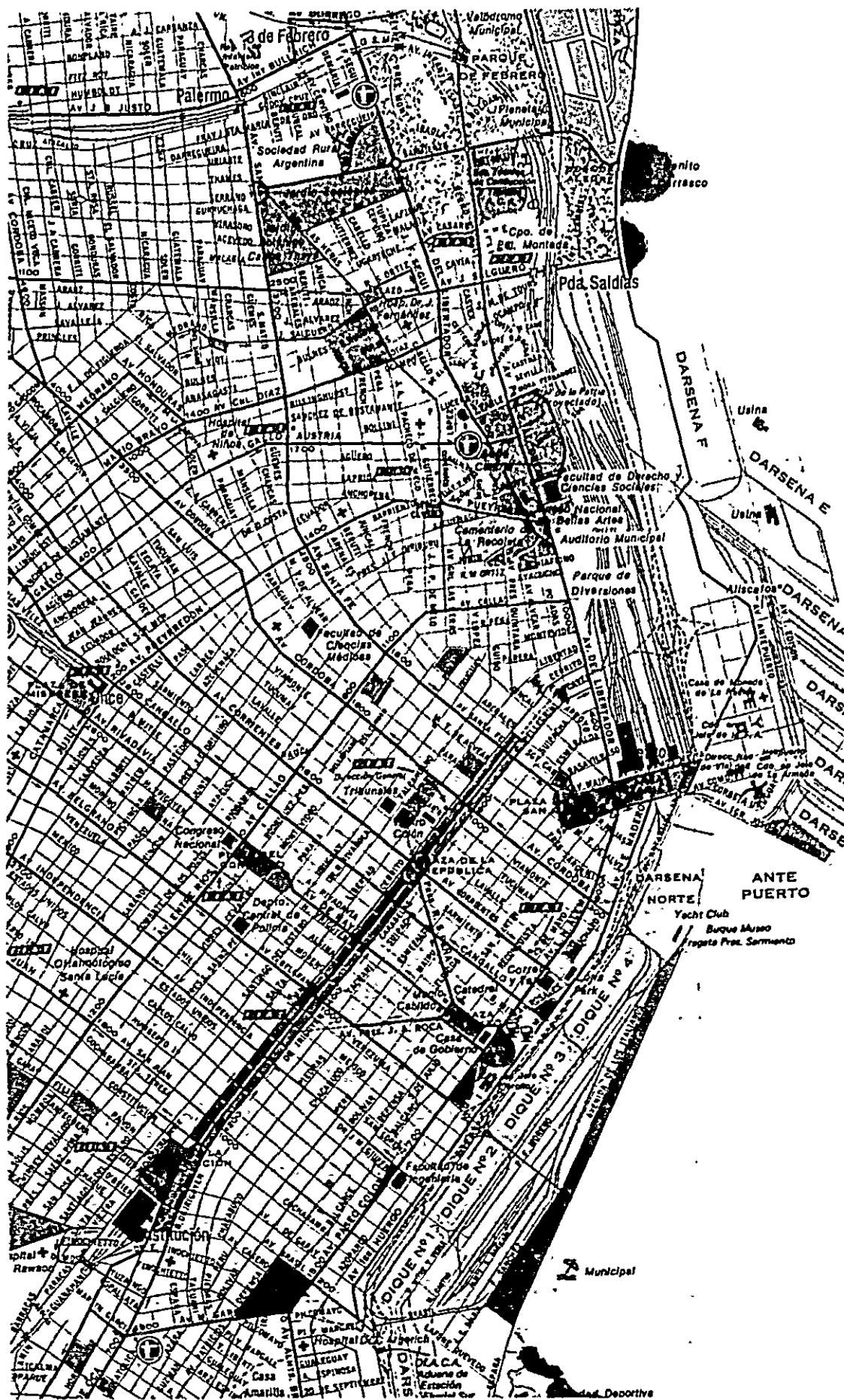


ブエノス市中心街 独立記念塔



アルゼンティン国

ブエノスアイレス市内図

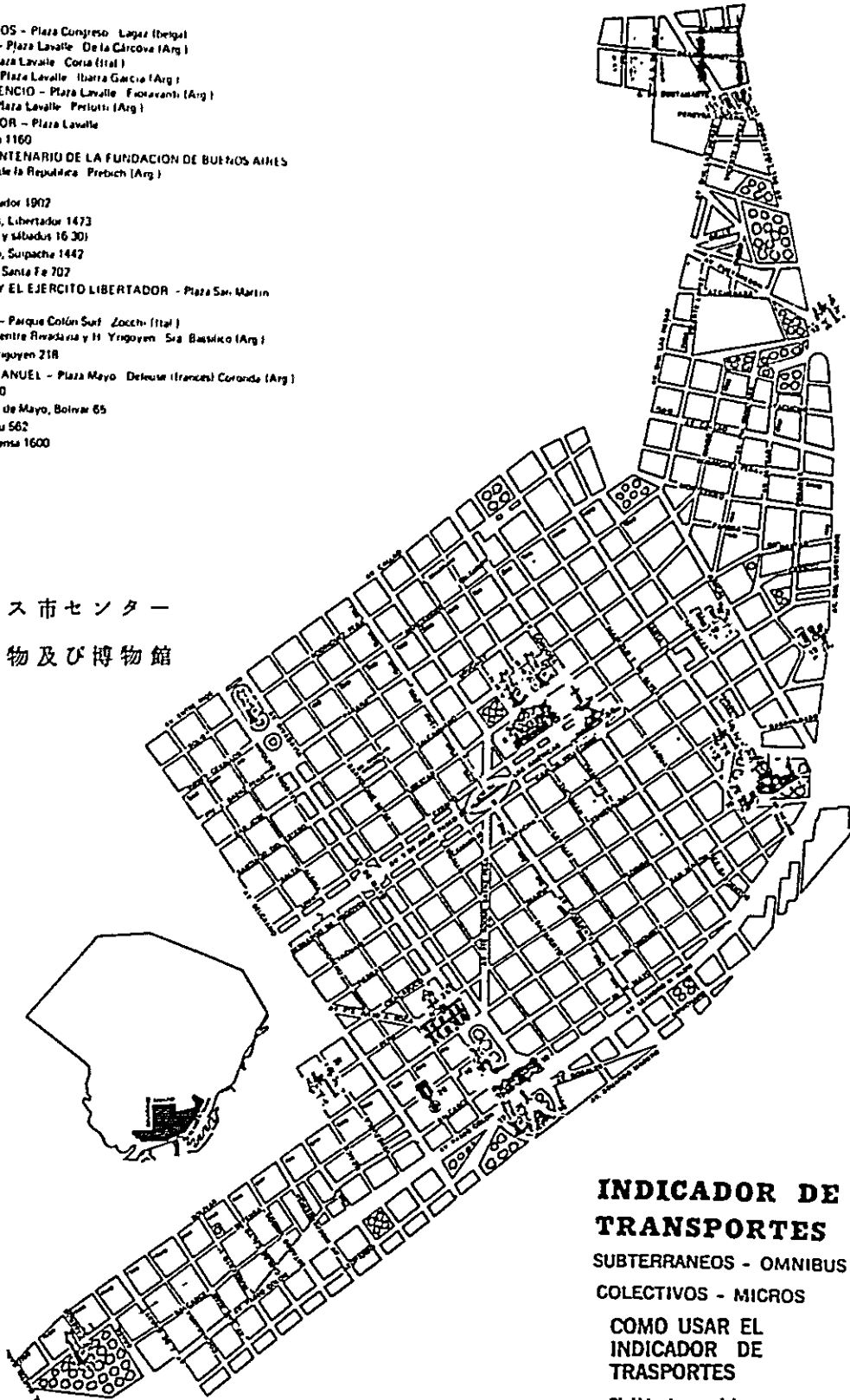




# monumentos y museos

- 1 A LOS DOS CONGRESOS - Plaza Congreso - Lagos (Belg)
- 2 BALLET NACIONAL - Plaza Lavalle - De la Cárcova (Arg)
- 3 LAVALLE JUAN - Plaza Lavalle - Coria (Ital)
- 4 NAJIN ROMULOS - Plaza Lavalle - Ibarra García (Arg)
- 5 PARRAVICINI FLORENCIO - Plaza Lavalle - Fioravanti (Arg)
- 6 PODESTA, JOSE J - Plaza Lavalle - Pretutti (Arg)
- 7 TRAJANO EMPERADOR - Plaza Lavalle
- 8 Teatro Colón - Tucumán 1160
- 9 HOMENAJE AL IV CENTENARIO DE LA FUNDACION DE BUENOS AIRES (OBELISCO) - Plaza de la República - Prebich (Arg)
- 10 Antartico, Cerrito 1248
- 11 Arte Decorativo - Libertador 1907
- 12 Nacional de Bellas Artes, Libertador 1473  
visitas guiadas martes y sábados 16.30)
- 13 Arte Hispanoamericana, Surpacho 1447
- 14 De Armas de la Nación - Santa Fe 707
- 15 GRAL SAN MARTIN Y EL EJERCITO LIBERTADOR - Plaza San Martín  
Eberlein y Daumas
- 16 COLON CRISTOBAL - Parque Colón Surf - Zocchi (Ital)
- 17 COLON - Paseo Colón entre Rivadavia y H Yrigoyen - Sra Basílico (Arg)
- 18 Casa de Gobierno, H Yrigoyen 218
- 19 BELGRAND, GRAL MANUEL - Plaza Mayo - Deleuse (frances) Coronda (Arg)
- 20 Etnográfico, Moreno 350
- 21 Catáida y la Revolución de Mayo, Bolívar 65
- 22 Geología y Minería - Peru 562
- 23 Histórico Nacional - Defensa 1600

ブエノス市センター  
記念建物及び博物館



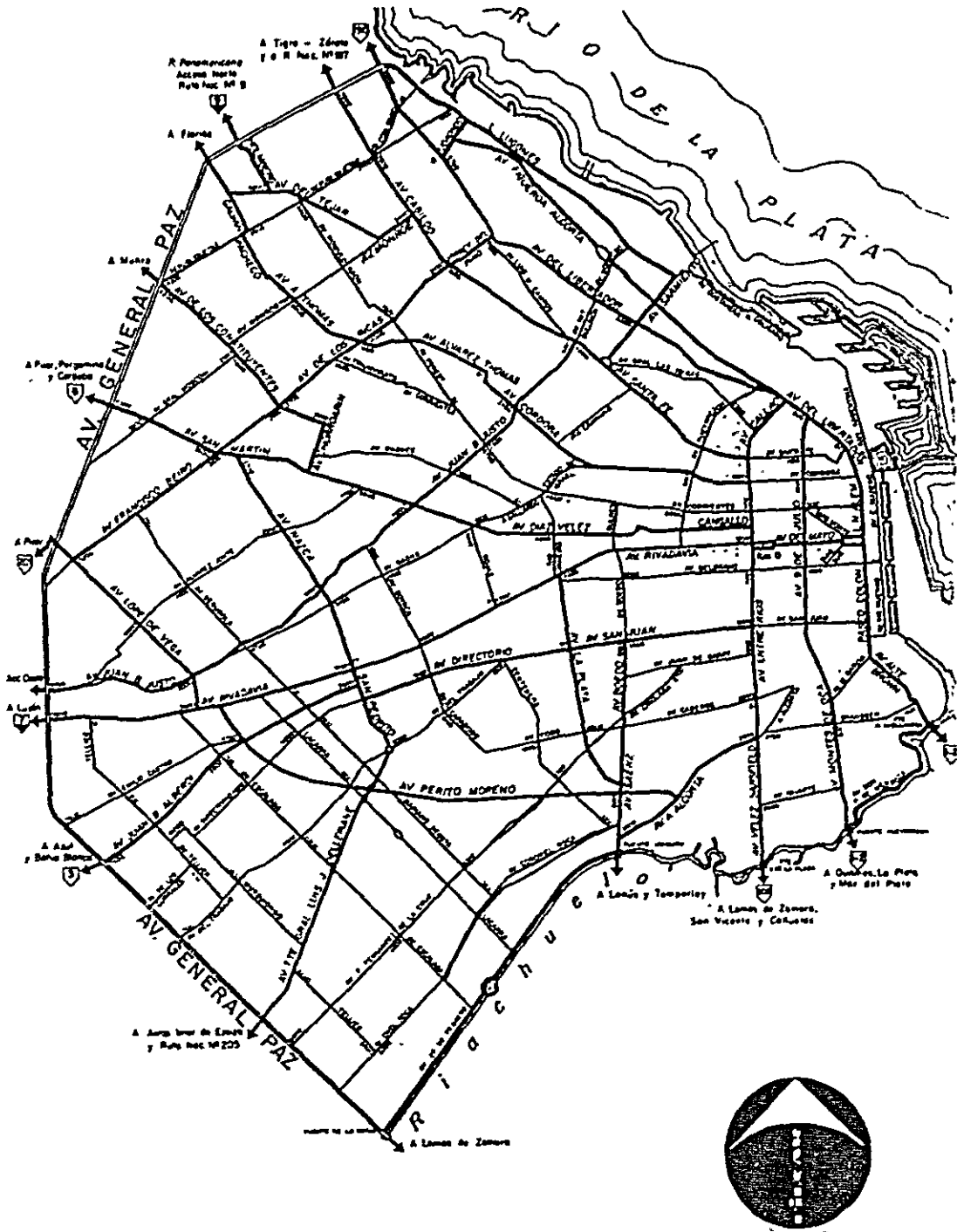
## INDICADOR DE TRANSPORTES

SUBTERRANEOS - OMNIBUS  
COLECTIVOS - MICROS

COMO USAR EL  
INDICADOR DE  
TRASPORTES

Si Ud. desea viajar por  
la Capital, ubique el lugar  
dónde va en la cuadrícula.

RUTAS DE SALIDA DE LA CAPITAL



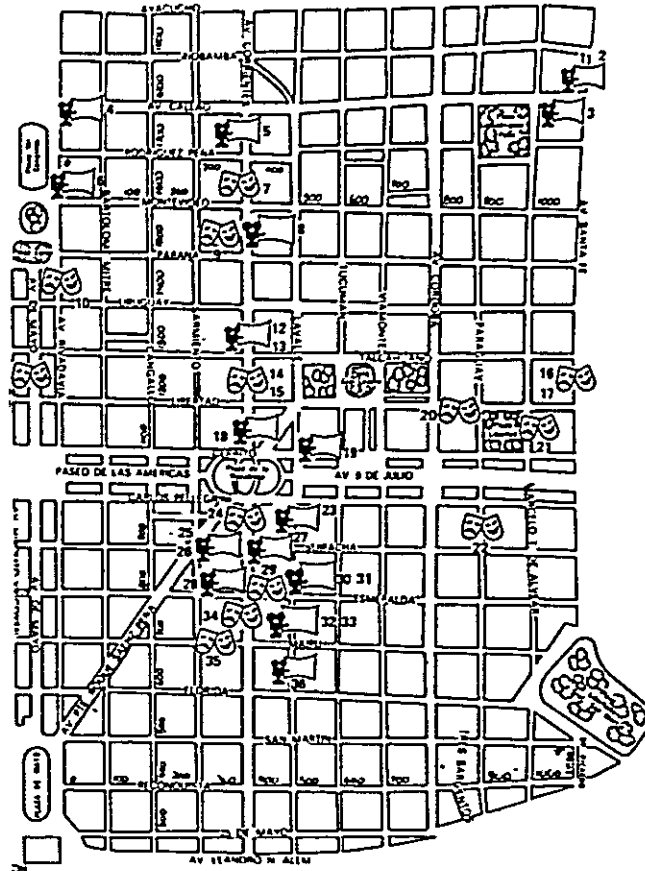
# guía de teatros y cines

- 1 CAPITOL Av Santa Fe 1848
- 2 GRAN SPLENDID Santa Fe 1860
- 3 AMERICA Av Callao 1057
- 4 CALLAO Callao 27
- 5 LOS ANGELES Av Corrientes 1770
- 6 GAUMONT Av Rivadavia 1635
- 7 ASTRAL Corrientes 1639
- 8 PREMIER Av Corrientes 1565
- 9 MUNIC GRAL SAN MARTIN Corrientes 1532
- 10 LICEO Rivadavia 1495

- 12 LIBERTADOR Av Corrientes 1334
- 13 METROPOLITAN Av Corrientes 1343
- 14 BLANCA POSESTA Av Corrientes 1283
- 15 COMICO Av Corrientes 1280
- 16 REGINA Santa Fe 1235
- 17 CASA DEL TEATRO Santa Fe 1273
- 18 BROADWAY Av Corrientes 1155
- 19 METRO Cerrito 570
- 20 NACIONAL CERVANTES Libertad 815
- 21 COLISEO Marcelo T. de Alvear 1155
- 22 ATENEU Paraguay 918
- 23 IGUAZU Lavalle 940
- 24 EL NACIONAL Av Corrientes 960
- 25 GRAN REX Av Corrientes 857
- 26 IDEAL Surpacha 378
- 27 CINEMA 1 Surpacha 460
- 28 OPERA Av Corrientes 860
- 29 MAIPO Esmeralda 443
- 30 SARMIENTO Lavalle 852
- 31 NORMANDIE Lavalle 861
- 32 OCEAN Lavalle 739
- 33 MONUMENTAL Lavalle 780
- 34 ASTROS Av Corrientes 746
- 35 CASINO Maipu 326
- 36 LUXOR Lavalle 669




ブエノス市中心  
街の劇場 映画  
館の場所



**REPUBLICA ARGENTINA**  
**MUNICIPALIDAD DE LA CIUDAD DE BUENOS AIRES**  
**SECRETARIA DE SERVICIOS PUBLICOS**

LICENCIA DE CONDUCTOR N° \_\_\_\_\_ CLASE CARGA \_\_\_\_\_

ESTRUCO  
 21111111  
 201111111111



E. S. S. S. S.

FIRMA DEL TITULAR DEL DOCUMENTO

OTORG. 20 / 1 / 1954 VENCE 20 / 1 / 1954

FECHA DE MAC  
15 / 6 / 1926

PARA CONDUCIR AUTOMOTORES DE CARGA Y AUTOMOVILES

運転免許証 表 カテゴリー CARGA

APROBO EXAMENES FISICO, TEORICO Y PRACTICO

*Jose Luis Fracdaude*

JOSE LOIS FRACDAUDE  
 DIRECTOR  
 DIRECCION DE TRANSPORTES

運転免許証 裏

REPUBLICA ARGENTINA  
POLICIA FEDERAL

Carta de Identidad N.º 5.221.993

DIGITO PULGAR DERECHO




*T. Shibuya*  
FIRMA INTERESADO

セド ラ 表

TAKEMIKO SHIBUYA  
NOMBRE Y APELLIDO

Japón NACIÓN Miyagi-Ken LUGAR 13/6/1926 fecha

casado	ENROLAMIENTO		
ESTADO CIVIL	MATRIC N.º	D M	REG

Original expedido el 21/10/1955

CONTROL 13.065.893

OBSERVACIONES  
julio 11 de 1967



*Juan B. Gaffuri*  
JUAN B. GAFFURI  
DIRECTOR GENERAL  
DIRECTOR DE INVESTIGACIONES

セド ラ 裏

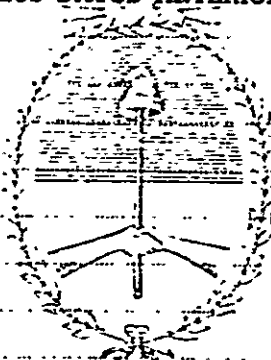
<p>La presentación del documento nacional de identidad, expedido por el Registro Nacional de las Personas, será obligatoria en todas las circunstancias en que sea necesario probar la identidad de las personas comprendidas en esta Ley, sin que pueda ser suplido por ningún otro documento de identidad, cualquiera fuere su naturaleza y origen.</p> <p>Art. 13 - Ley 17.671</p> <p><b>PARA MENORES DE 18 AÑOS</b> ESTE DOCUMENTO DEBE SER ACTUALIZADO DENTRO DE LOS SIETE MESES DE CUMPLIR LOS OCHO AÑOS Y RENOVADO AL CUMPLIR LOS DIECIOCHO AÑOS.</p>	<p>DOCUMENTO NACIONAL DE IDENTIDAD DE:</p> <p>Apellidos (si es mujer, el de soltera) <u>SATO</u></p> <p>Nombres <u>LEZO</u></p> <p>Clase <u>1942</u> N° <u>92.037.530</u></p> <p>Sexo <input checked="" type="checkbox"/> VARÓN <input type="checkbox"/> MUJER (tachar lo que no corresponda)</p> <p>Nacido/a el <u>9</u> de <u>Octubre</u> de 19 <u>42</u> en <u>Kita-karu-baru-gun</u></p> <p>Part. o Depto. <u>Miyata-kun</u></p> <p>Prov. ....</p> <p>Nación <u>JAPÓN</u></p> <p>Doc. del denunciante .....</p> <p>N° de documento <u>1200-100</u></p> <p>Firma denunciante e identificado</p> <p style="text-align: center;">- 1 -</p>
--	---

<p>País de origen <u>JAPÓN</u></p> <p>Nac. adquirida .....</p> <p>Pasaporte o Doc. y N° <u>E. 112771</u></p> <p>Categoría de Ingreso <input checked="" type="checkbox"/> TEMP. <input type="checkbox"/> PERM. (tachar lo que no corresponda)</p> <p>Entró al país el <u>16</u> de <u>Set.</u> de <u>1942</u></p> <p>Fecha de vencimiento .....</p> <p>Fecha radicación <u>7</u> de <u>Set.</u> de <u>1942</u></p> <p>Expediente N° <u>24.1672/41</u></p> <p>Resolución N° .....</p> <p>Este documento sin actualización será válido hasta el ... de ... de 19 ...</p> <p style="text-align: center;">- 2 -</p>	<p>DOMICILIO</p> <p>Calle <u>Colonia Uguiza</u> <u>Melchor Romeros</u> N°</p> <p>Ciudad <u>La Plata</u></p> <p>Part. o Depto. ....</p> <p>Provincia <u>Ps. Aires</u></p> <p>Of. Secc <u>Reg. Nac. de las Personas</u></p> <p>Fecha <u>17/11/1941</u></p> <p>sello</p> <p>Firma Jefe Of. Secc.</p> <p>PRORROGAS DE PERMANENCIA</p> <p>Fecha de vencimiento .....</p> <p>Of. Secc .....</p> <p>Fecha .....</p> <p>sello</p> <p>Firma Jefe Of. Secc.</p> <p style="text-align: center;">- 3 -</p>
--	--

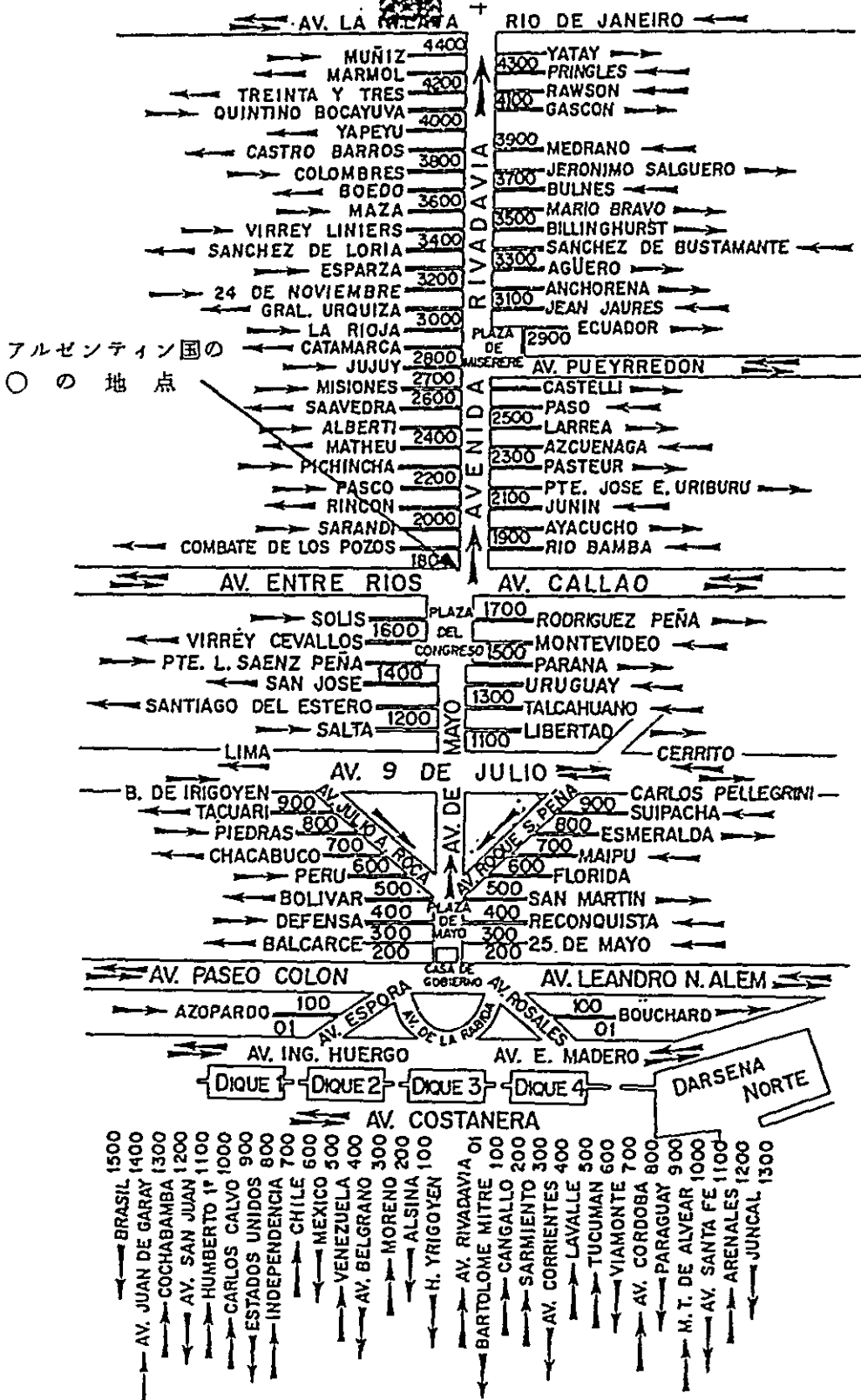
3.

<p><b>ACTUALIZACION</b></p> <p><b>PARA MAYOR DE 3 ANOS</b></p> <p>Of Secc N° _____</p> <p>Fecha _____</p> <p>Firma del identificado/a _____</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>Impresion digito pulgar derecho</p>  </div> </div> <p>sello _____</p> <p>Firma Jefe Of Secc _____</p> <p style="text-align: center;">- 4 -</p>	<p><b>PRORROGAS DE PERMANENCIA</b></p> <p>Fecha de vencimiento    /    /</p> <p>Of Secc _____</p> <p>Fecha _____</p> <p>sello _____</p> <p>Firma Jefe Of Secc _____</p> <hr/> <p>Fecha de vencimiento    /    /</p> <p>Of Secc _____</p> <p>Fecha _____</p> <p>sello _____</p> <p>Firma Jefe Of Secc _____</p> <hr/> <p>Fecha de vencimiento    /    /</p> <p>Of Secc _____</p> <p>Fecha _____</p> <p>sello _____</p> <p>Firma Jefe Of Secc _____</p> <p style="text-align: center;">- 5 -</p>
--	--

4.

<p><b>OTRAS ANOTACIONES</b> <b>QUE MODIFICAN O COMPLEMENTAN</b> <b>LOS DATOS ANTERIORES</b></p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p style="text-align: center;">- 8 -</p>	<p><b>OTRAS ANOTACIONES</b> <b>QUE MODIFICAN O COMPLEMENTAN</b> <b>LOS DATOS ANTERIORES</b></p>  <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p style="text-align: center;">- 9 -</p>
--	---

# SENTIDO DEL TRANSITO, ZONA CENTRO





## 参 考 資 料

- 経済省統計資料
- アルゼンチン国事業関係法律概観  
ラテン アメリカ協会発行
- 南米の日系人 サンパウロ新聞社
- 在アルゼンチン日系人録  
らぶらた報知社編
- らぶらた報知社 亜国日報社発行各新年号
- 海外移住事業十年史
- 日本人アルゼンティン移住史  
(日本人アルゼンティン移住史編集委員会)
- 在亜日本大使館資料
- 国際協力事業団ブエノス・アイレス支部資料

JICA

